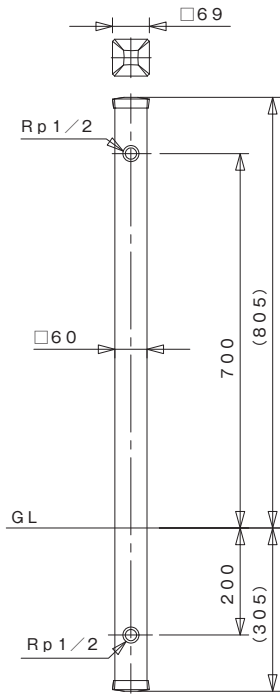
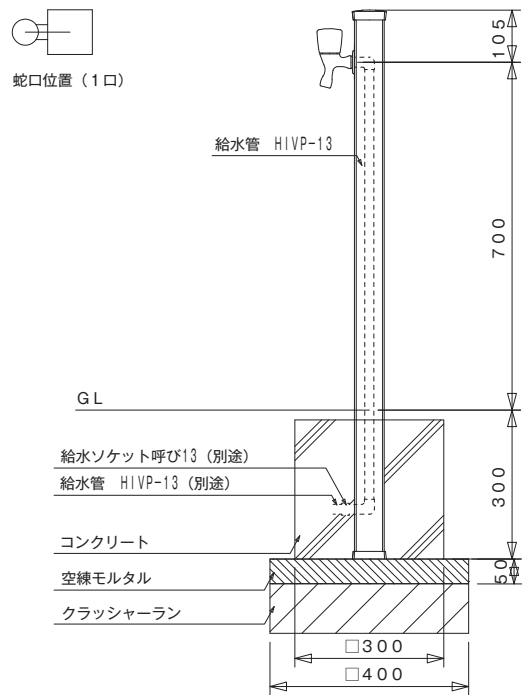


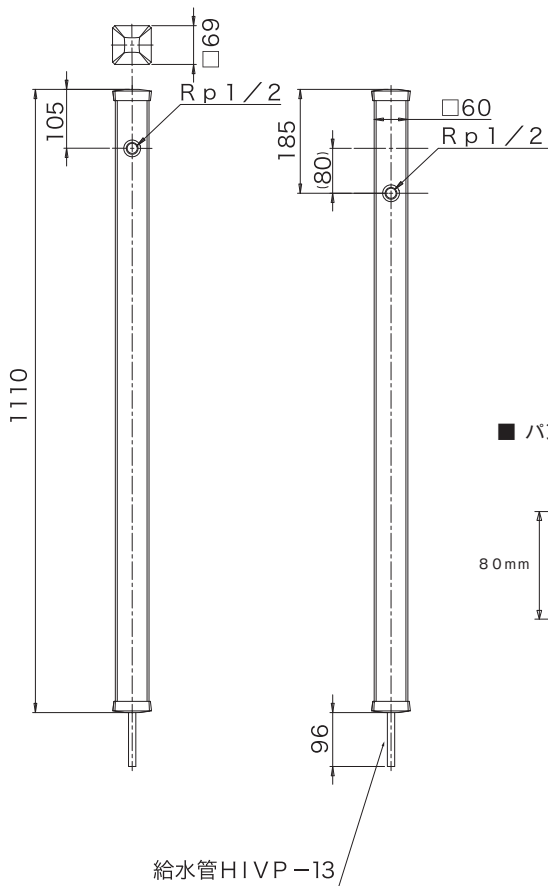
■ 寸法図



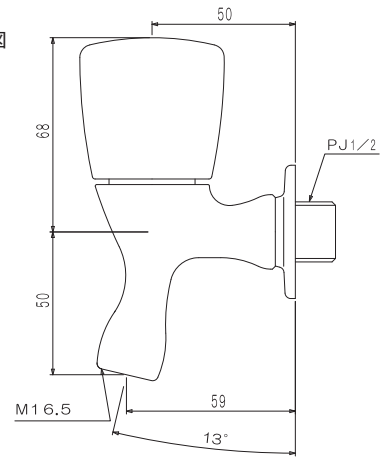
■ 施工断面図



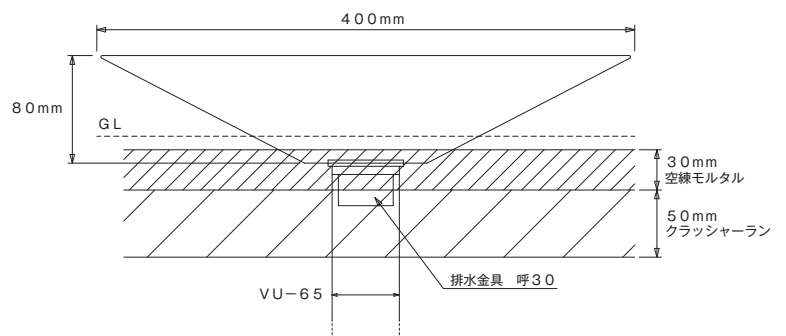
■ 寸法図(ダブル)



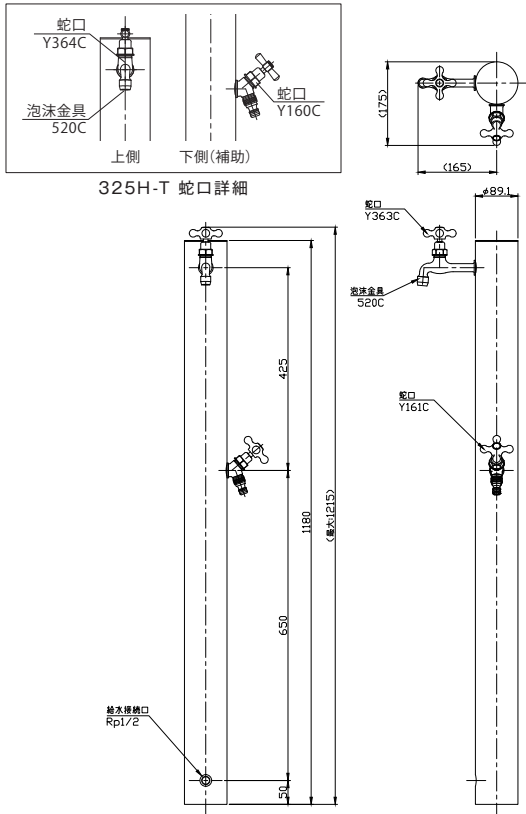
■ 陶器水栓 寸法図



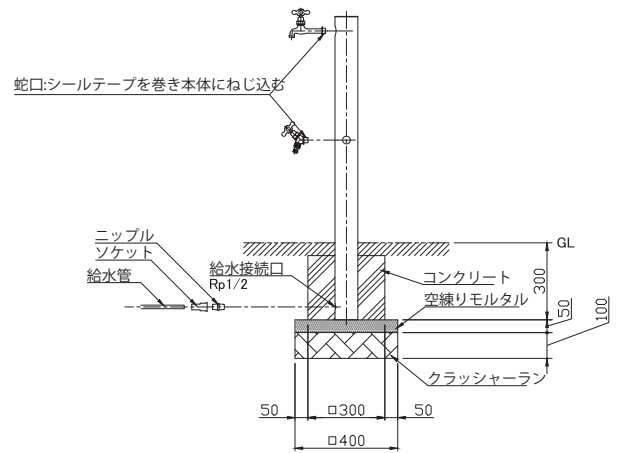
■ バン 施工断面図



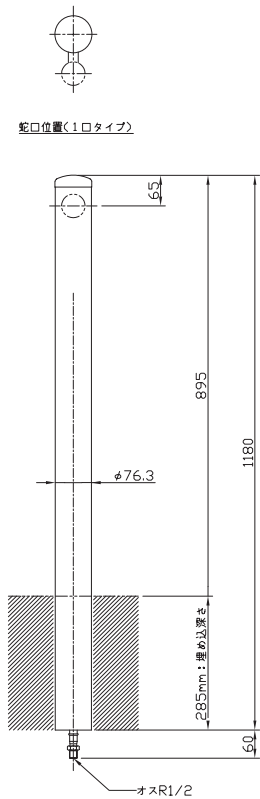
ウォーターポスト 325G-T1/325H-T ※図面は325G-T1です。(蛇口が異なります)



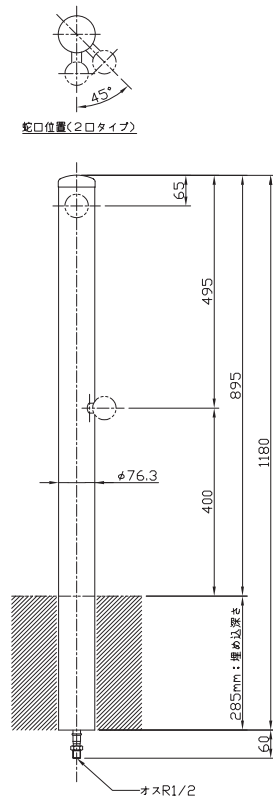
施工断面図



ウォーターボール  
一口水栓柱 351-1/352-1/353-1/355-1

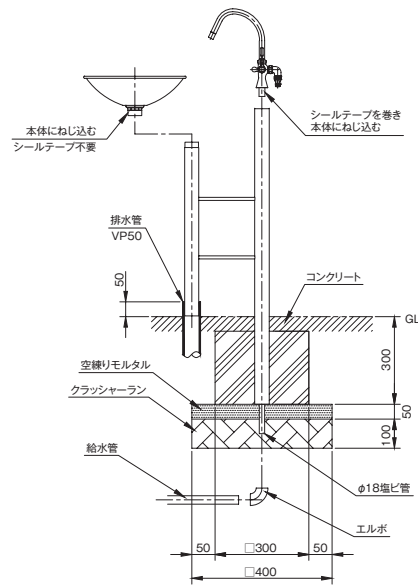
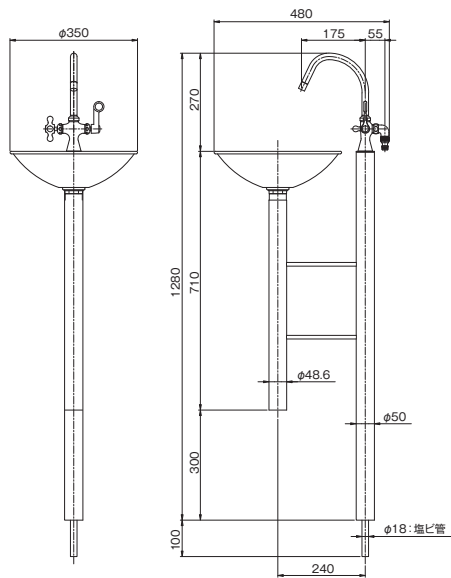


ウォーターボール  
二口水栓柱 351/352/353/355

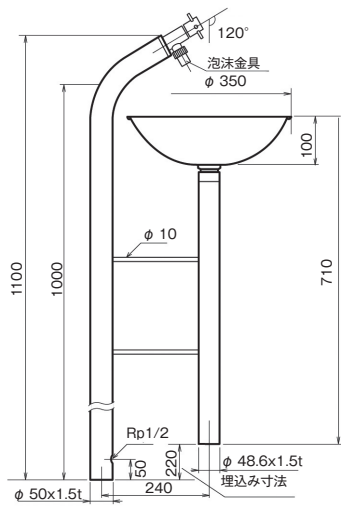


# 水栓柱

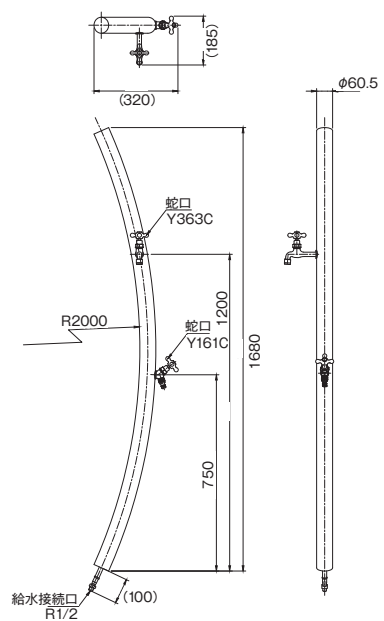
クラウン +2 335G



クラウン+1 346G

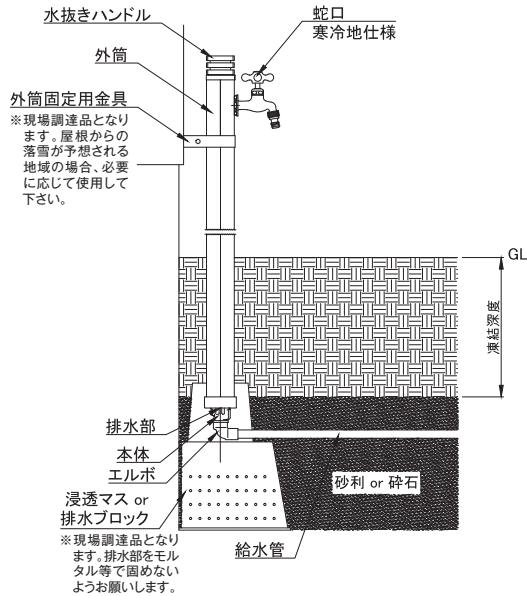


アール400 307G-T

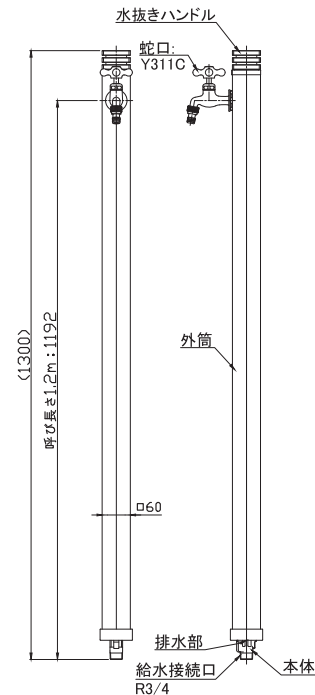


【水抜き機能付き水栓柱】

■ 各部名称



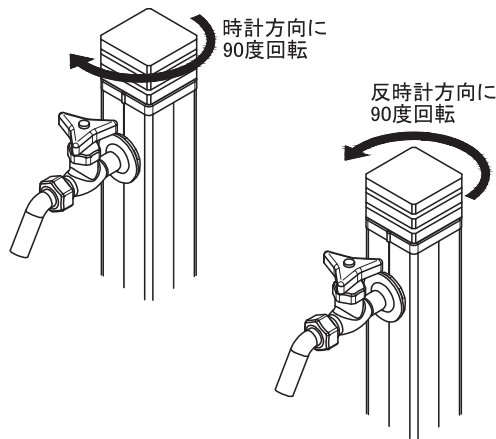
■ 寸法図



■ 水抜き操作 (凍結防止)

① 水抜き操作前に、必ずホースを蛇口から外す。

1. 水抜きハンドルを右に90度(時計方向に90度)回転させて“水抜”を正面にあわせませす。
2. 蛇口を開けます。→水が抜けます。
3. 水抜きが終わったら、蛇口を閉めます。
4. 泡沫金具を蛇口より取外し、水を切って保管下さい。泡沫金具は吐水部が網のため、水の表面張力で吐水部に水が残る、寒冷期間中、泡沫金具を蛇口に付けたままにすると、凍結により割れが生じる恐れがあります。



■ 行っていただきたい事項

1. 冬期間は確実に水抜き操作を行って下さい。凍結が起ると、器具が破損し漏水の恐れがあります。
2. 水抜きハンドルは、「全閉」、「全開」の状態でご使用下さい。
3. 水抜き操作を行う場合は、必ず蛇口からホースを外して下さい。ホースが付いていると、ホース内の水(汚水)が逆流する恐れがあります。
4. 器具保守のため、月に一度程度の割合で操作し、確実に水が抜ける事を確認して下さい。
5. 仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外の使用は、器具の破損や性能劣化等が発生する恐れがあります。
6. 蛇口を交換する場合は、必ず寒冷地仕様(固定コマ)の蛇口を使用下さい。寒冷地仕様以外の蛇口は、水抜きハンドルを開栓しても蛇口から空気が入らず水が抜けないため、凍結・破損・漏水が発生する恐れがあります。
7. 水抜き操作を行った場合でも、蛇口の内部のみが凍る場合があります。このような場合は、蛇口にお湯をかけて解凍することが出来ます。但し、熱湯など非常に高温のお湯をかけますと、蛇口内のパッキンが損傷し、漏水の原因となりますので、60℃以下の温度のお湯で解凍作業を行って下さい。

# 水栓柱

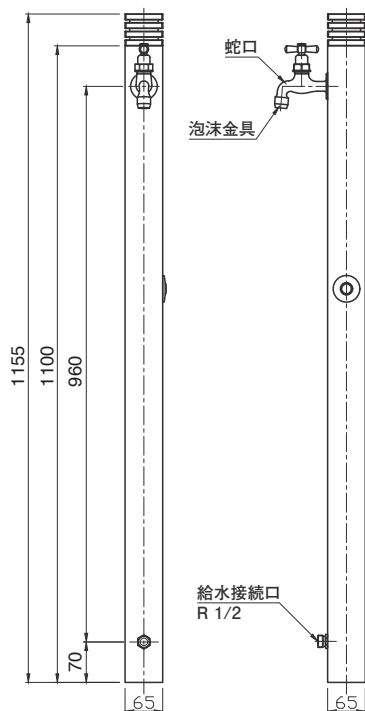
## [ソーリン]

### ■施工

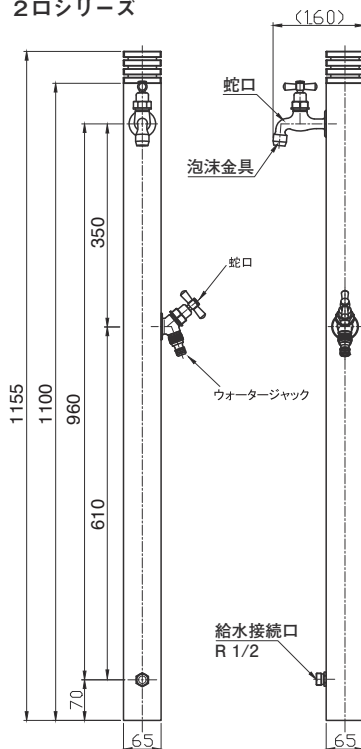
本製品の水道工事、取り付け工事は、指定水道工事店にご依頼下さい。

### ■詳細寸法・製品仕様

#### 1口シリーズ



#### 2口シリーズ



・本体：アルミ製

品番	塗装色/仕上	蛇口/泡沫金具
367B-1	ブラック	蛇口：Y352C ・文字ハンドル ・色：シルバー
367C-1	チョコ	
367DG-1	ダークグリーン	
367W-1	ホワイト	泡沫金具：520C ・色：シルバー
367VR-1	ワインレッド	

- ・内部給水管  
給水耐衝撃性硬質塩化ビニル管
- ・内部給水管断熱  
ウレタン発泡

・本体：アルミ製

品番	塗装色/仕上	蛇口/泡沫金具
368B	ブラック	蛇口：Y352C ・文字ハンドル ・色：シルバー
368C	チョコ	
368DG	ダークグリーン	蛇口：Y162C ・ウォータージャック付 ・色：シルバー
368W	ホワイト	泡沫金具：520C ・色：シルバー
368VR	ワインレッド	

- ・内部給水管  
給水耐衝撃性硬質塩化ビニル管
- ・内部給水管断熱  
ウレタン発泡

### ■納入品一覧

#### 1口タイプ




品番	本体	蛇口		泡沫金具	
		Y352C	520C	520C	520C
367B-1	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
367C-1	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
367DG-1	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
367W-1	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
367VR-1	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ

#### 2口タイプ

品番	本体	蛇口			泡沫金具	
		Y352C	Y162C	520C	520C	520C
368B	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	
368C	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	
368DG	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	
368W	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	
368VR	1セット	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	


■安全上のご注意

ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容です。必ず守って下さい。  
お守りいただく内容の種類を、次の絵表示に区分し説明しています。


-  注意事項：気を付けていただきたい事項を表します。
-  禁止事項：行ってはならない事項を表します。
-  指示事項：行っていただきたい事項を表します。

■本製品の適応水質と温度

・本製品は常温の水道水用です。温水や、水道水以外の水質の水は使用しないで下さい。

 ■ご注意いただきたい事項

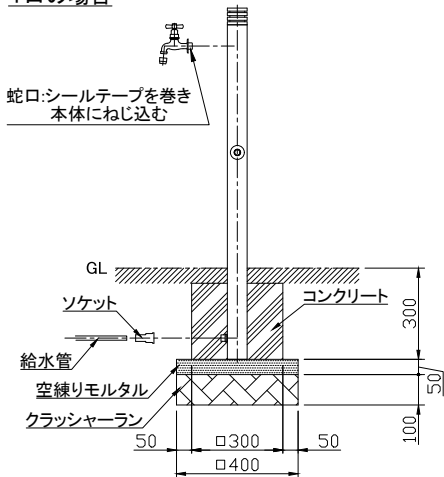
- 1.本製品の取り付け工事・水道工事は、指定工事店にて行って下さい。
- 2.納入品一覧に記載の無い物(給水管・継手・シールテープ・砕石・コンクリート等)は別途ご用意下さい。
- 3.埋め込寸法に関し、条令等法的規制がある場合は、必ずその規制に従って下さい。
- 4.蛇口の取り付けや、本体の取り付け接続は現場にて行って下さい。
- 5.本製品を危険と思われる場所や、通行の邪魔になるとと思われる場所への設置はおやめ下さい。
- 6.本製品は耐火構造ではありませんので、火気に近い場所への設置は行わないで下さい。
- 7.本製品は寒冷地用ではありません。凍結による破損が懸念される場合は、配管内の排水、ヒーターの設置など、地域や気候に応じた凍結防止対策を行って下さい。

 ■行っていただきたい事項

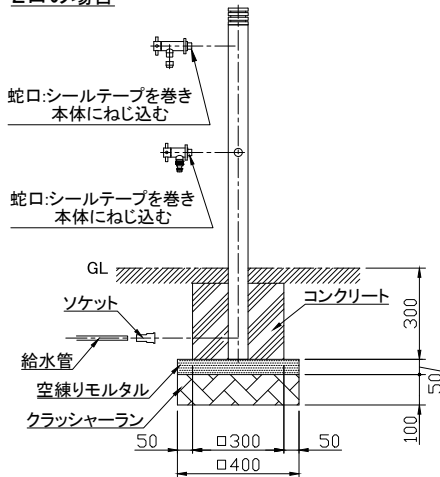
- 1.設置地盤は十分に転圧し、沈下等が起きないようにして下さい。
- 2.本体は倒れないよう、モルタル等で確実に固定して下さい。
- 3.蛇口接続ヶ所及び埋設接続ヶ所には、止水処理をシールテープ・接着剤などで十分に行って下さい。
- 4.埋設接続部は、埋設前に必ず水漏れの無いことを確認して下さい。埋設接続部での水漏れは、発見が難しく、思い掛けない水道料金の増加をまねきます。
- 5.通水確認後、管内の異物や汚れ除去のため、必ず水洗(フラッシング)を十分に行って下さい。水洗時間が短い、水勢が弱い場合などは、水洗効果が発揮されず、水漏れの原因となる場合があります。


■参考施工図

1口の場合



2口の場合

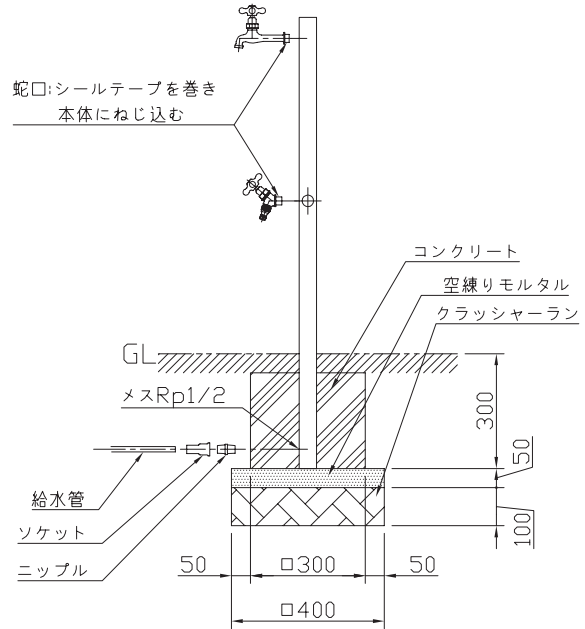
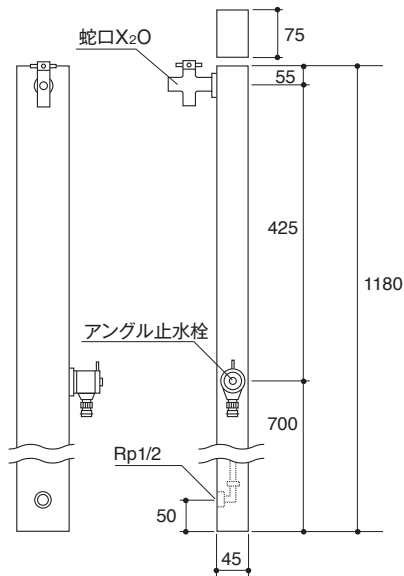


 ■絶対にお止め下さい

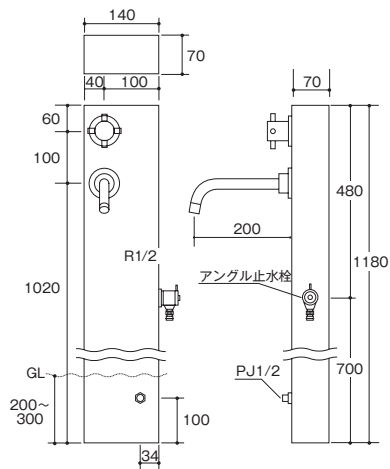
- 1.分解や改造は行わないで下さい。
- 2.本製品を足場がわりに登らないで下さい。
- 3.本製品は耐火構造ではありませんので、火気を近づけないで下さい。
- 4.本製品をゆらしたり、物をたてかけたり、無理な荷重をかけないで下さい。

スクエア 326G/326GT (蛇口が異なります)

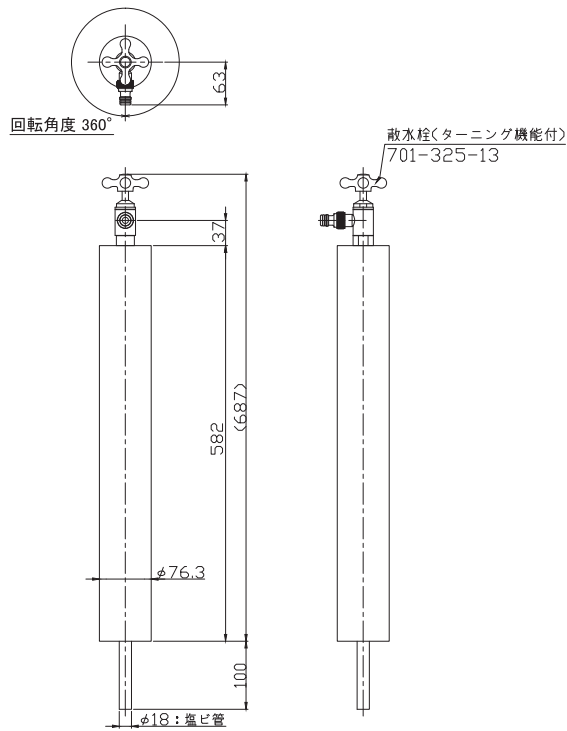
施工断面図



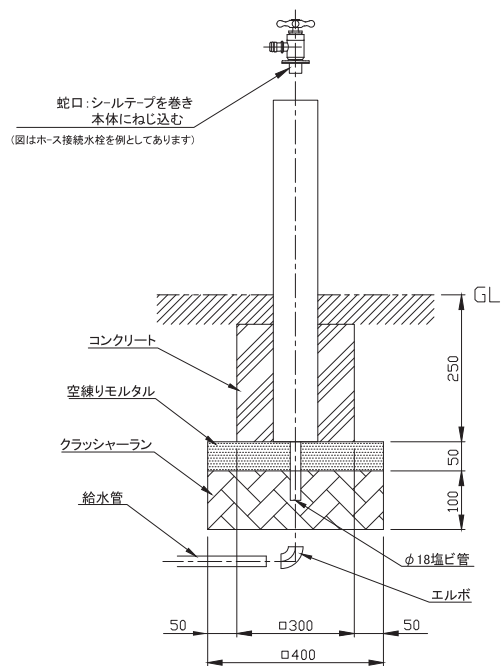
Iスタイル 327G



## ■ 散水栓ターンタイプ 寸法図



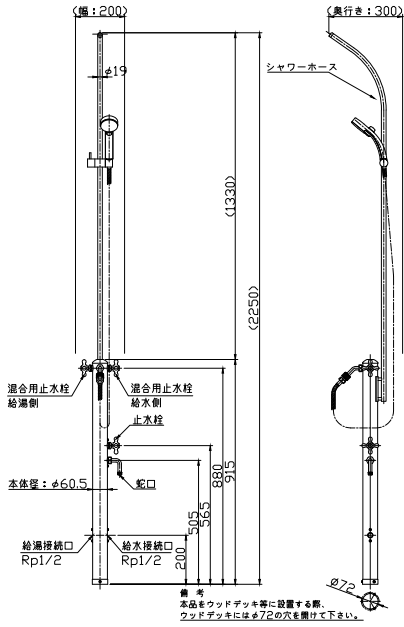
## ■ 参考施工図



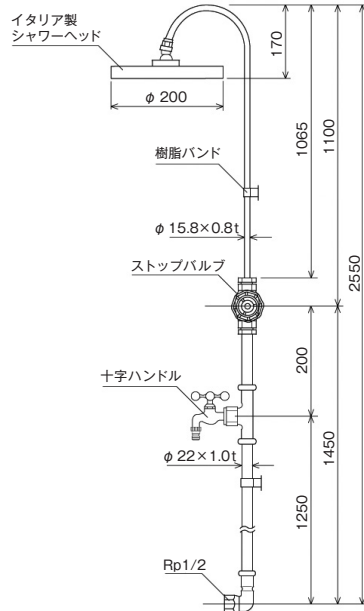


# シャワー水栓柱

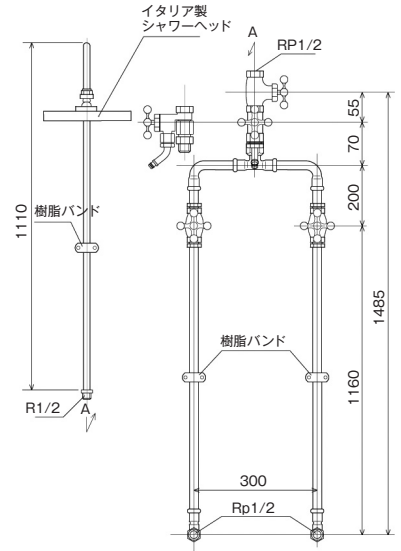
シャワーハンドル付ベットシャワー  
混合水栓柱ニロ 605G-4



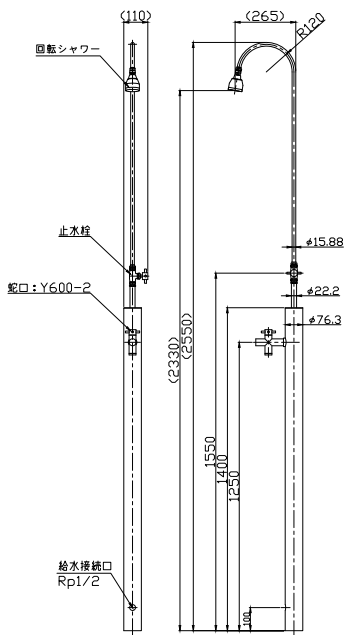
ヌーディシングル 610-2



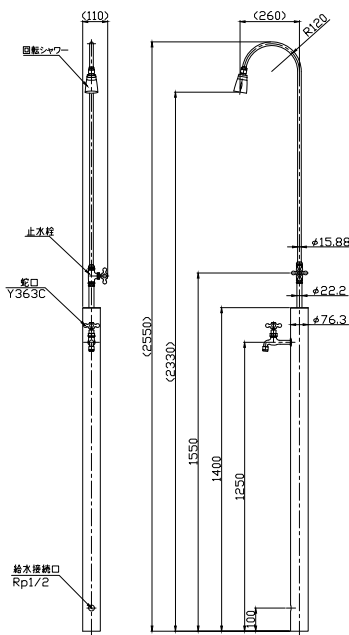
ヌーディダブル (混合) 611-2T



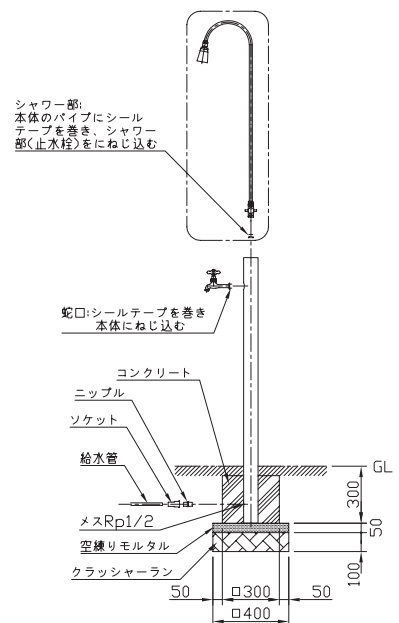
シャワー水栓柱スタンダード 602G



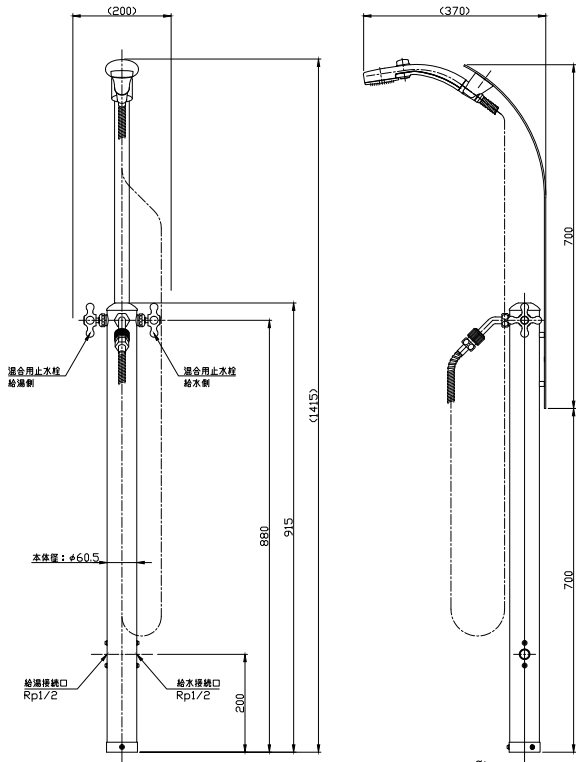
シャワー水栓柱スタンダード 602G-T



【参考施工図】

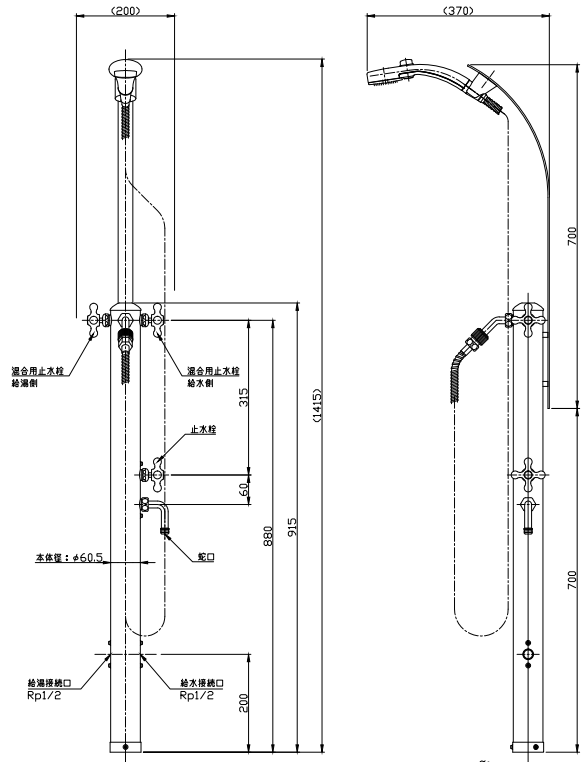


ペットシャワー 混合水栓柱一ロ 604G



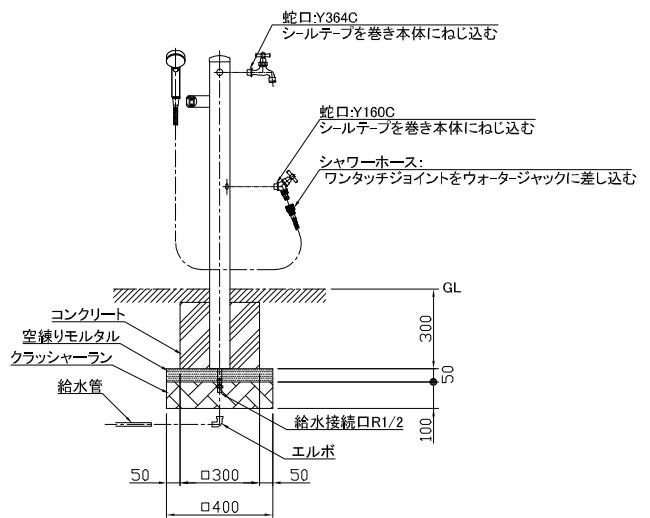
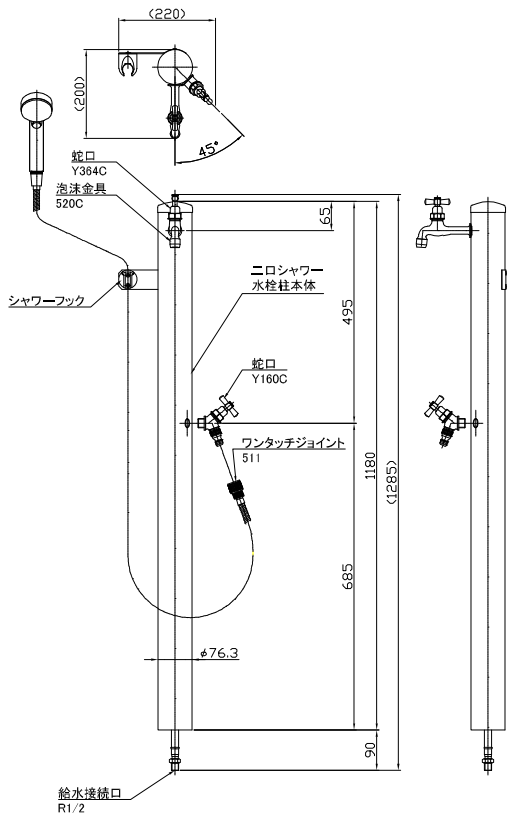
備考  
本品をウッドデッキ等に設置する際、  
ウッドデッキにはφ72の穴を開けて下さい。

ペットシャワー 混合水栓柱二ロ 605G



備考  
本品をウッドデッキ等に設置する際、  
ウッドデッキにはφ72の穴を開けて下さい。

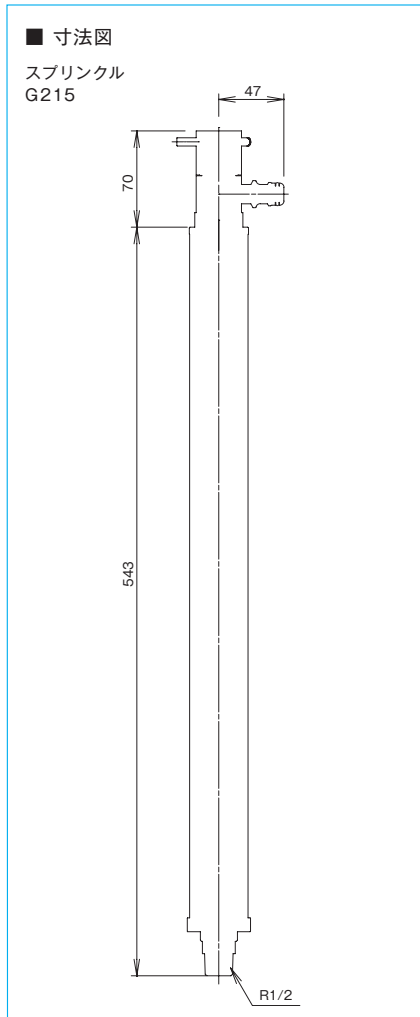
二ロシャワー水栓柱 351H-TS



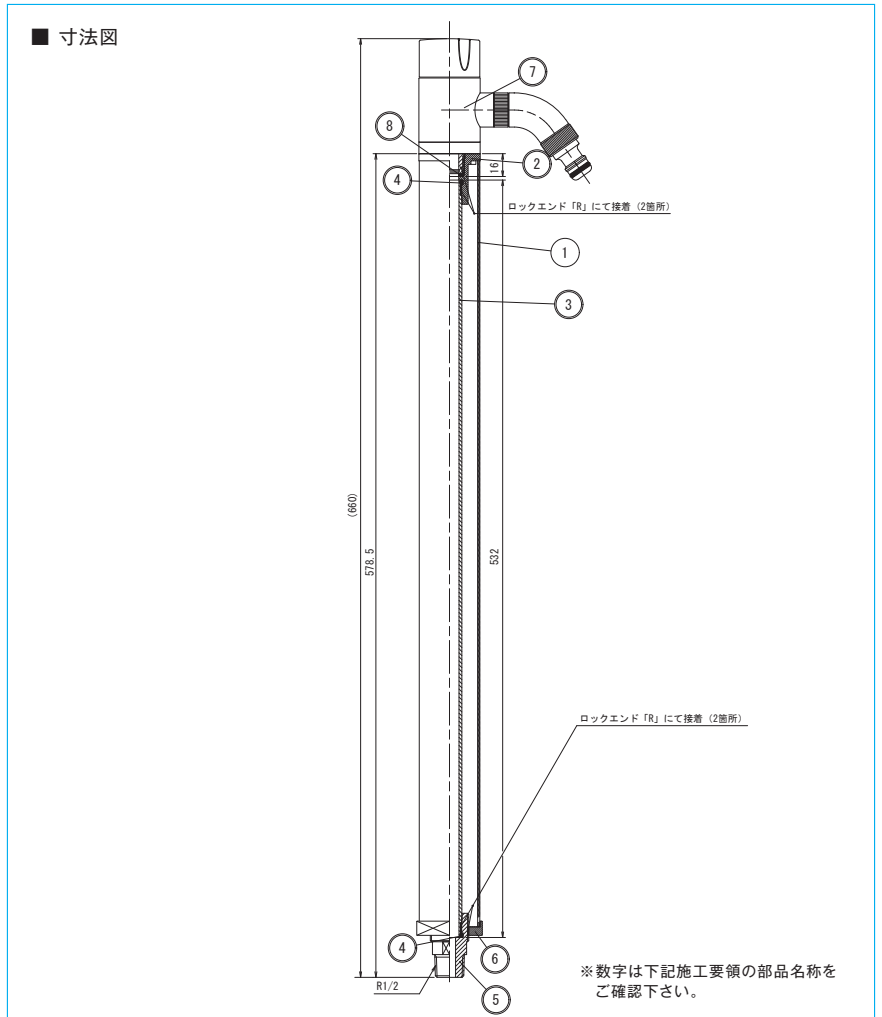
ガーデン

# ウォーターコック

## [スプリンクル]



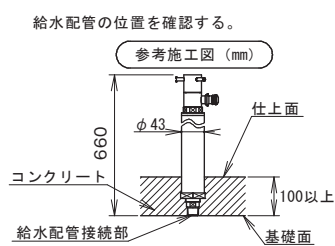
## [3Dスプリンクル]



## [スプリンクル&3Dスプリンクルの施工要領]

### ■ 施工手順

#### 1 設置場所の確認

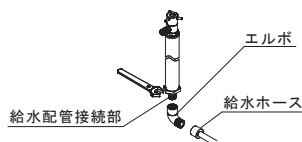


#### ⚠ 注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- PC板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

#### 2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



#### ⚠ 注意

- 取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- 接続の際は、給水配管接続部がまわらないように、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。

#### 3 通水点検

蛇口の施工後に水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。このとき、蛇口を全開し、管内のゴミを取り除く為に、約30～60秒間勢いよく通水を行って下さい。水がでない・止まらない一番の原因が『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』ですので、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

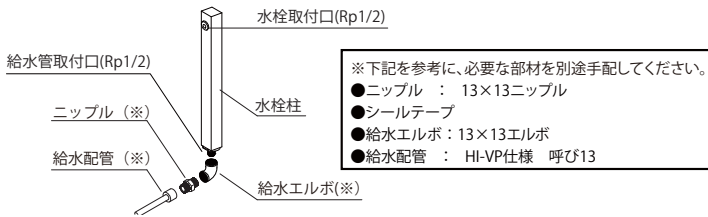
### ■ 3Dスプリンクルの部品名称

注：部品表の接水部品は○印で示す、又引出し記号には◎印で示す。

番号	品名	材	料	規格番号	記	号	個数	部品番号	適用
9									
⑧	パッキン18・11・2.5		合成ゴム			EDPM	1	PKE130	
⑦	3Dホース接続回転水栓						1	G102K-3D	
⑥	水栓柱締め付けナット	真鍮		JIS H 3250		C3604BC	1	SOK110	
⑤	SUS管用接続金具R1/2	青銅合金棒		JIS H 5120		CAC406C	1	SOK148	
④	P15		合成ゴム			P15	2	P15	
③	給水SUS管532mm		ステンレス			SUS304TP-A	1	SSD035	SOH275
②	散水栓上部接続金具		青銅合金棒	JIS H 5120		CAC406C	1	SOK149	
①	水栓柱本体537.5		アルミ			A6063S-T5	1	SOH307-S	

【木目水栓柱】

■ 各部名称



■ 寸法図



■ 施工手順

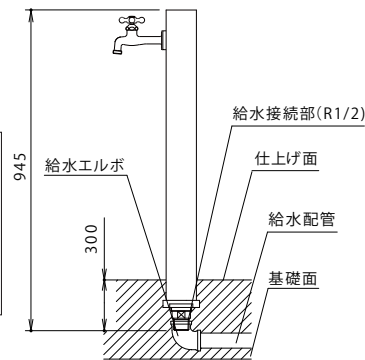
① 設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

⚠ 注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
- 基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分強固な上に設置してください。
- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

参考施工図(mm)

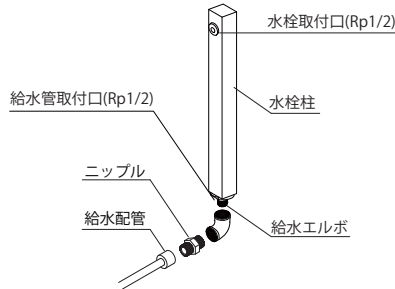


② 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。

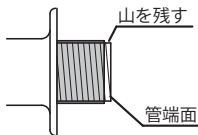
⚠ 注意

取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。



③ 水栓の取付け

水栓のねじにシールテープを巻きつけます。テープは、管端面からはみ出さないよう、ねじ山を1~2山残した状態で、テープがたるまないよう巻きつけます。



ねじを正面から見て、時計周りにきつく巻く。

管端からはみ出して巻きつけると、テープが切れて管内のゴミとなり、水漏れ原因となります。

④ 通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。

- このとき、確実にフラッシングを行ってください。
- フラッシング: 蛇口を全開し、約30~60秒間勢よく通水を行ってください。

施工後数日~数ヶ月で、『水がでない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いてください。

■ 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じてください。

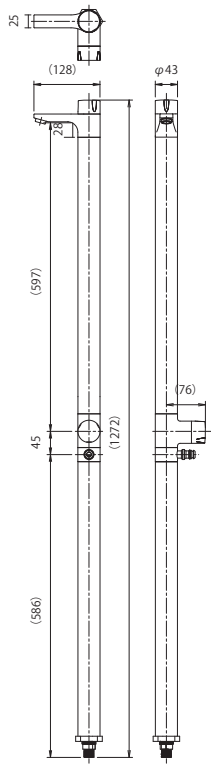
少量の水を出すなど



# ウォーターコック

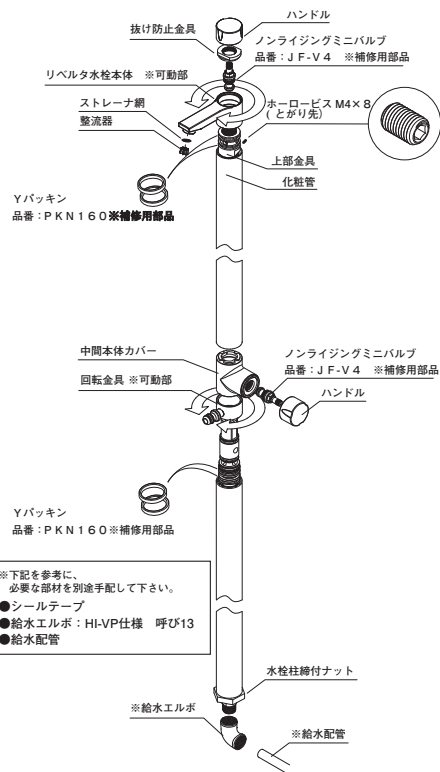
## [リベルタII]

### ■ 寸法図



### ■ 構造

構造を表したイラストです。  
本製品の構造をご理解いただくにご使用ください。

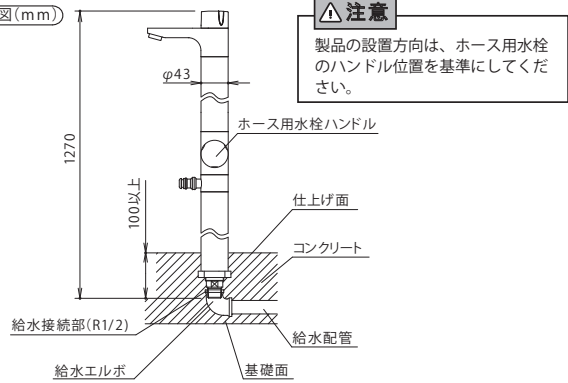


※下記を参考に、必要な部材を別途手配して下さい。  
●シールテープ  
●給水エルボ：HI-VP仕様 呼び13  
●給水配管

### ■ 施工手順

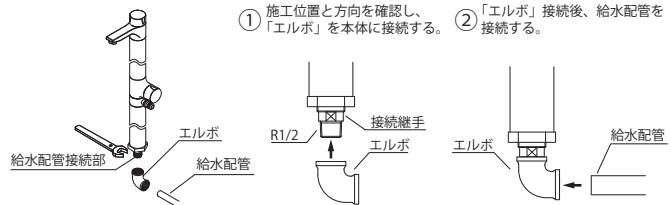
① 設置場所の確認 給水配管の位置を確認する。

(参考施工図(mm))



② エルボの接続・位置決め・配管の接続

- 工具を使ってしっかりと締め付け、接続してください。
- 先に「エルボ」を接続すると、後の施工が容易になります。
- 仮固定・位置決めは、「エルボ」を接続した後に行ってください。
- 配管種類に合わせて、継手等を手配してください。



③ 通水点検

蛇口施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを確認します。

●このとき、確実にフラッシングを行ってください。

フラッシング：蛇口を全開にし、約30～60秒間勢いよく通水を行ってください。

施工後数日～数ヶ月で、『水が出ない、止まらない、ポタ漏れる等』のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。

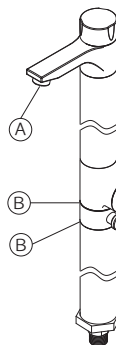
フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

### 水漏れをした場合

#### 水漏れ箇所の確認

- A: 吐水口  
B: 管の継ぎ目

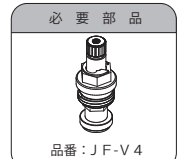
原因は?



B) Yパッキンの傷み

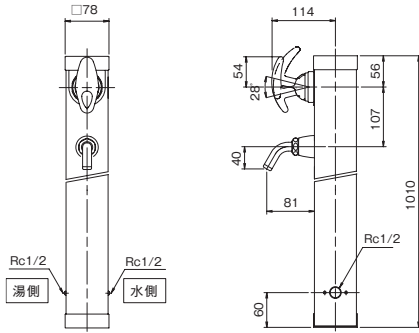


A) ノンライジングミニバルブの傷み

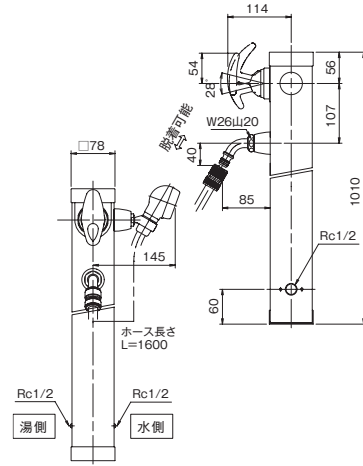


水漏れ等が見つかった場合、当社【お客様窓口】までお問い合わせ頂き、交換部品をお求め下さい。

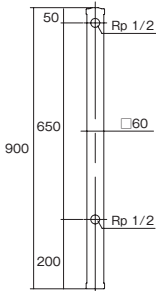
混合水栓柱  
G101-KS



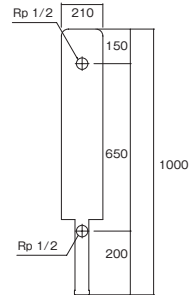
混合水栓柱 (シャワー仕様)  
G101-KSS



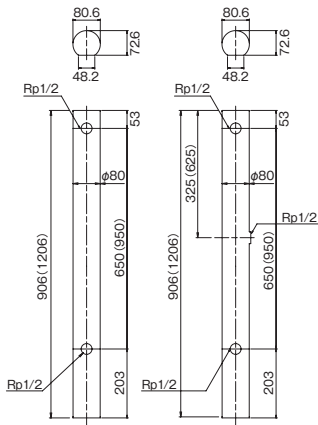
ステンレス水栓柱  
G206-S60K



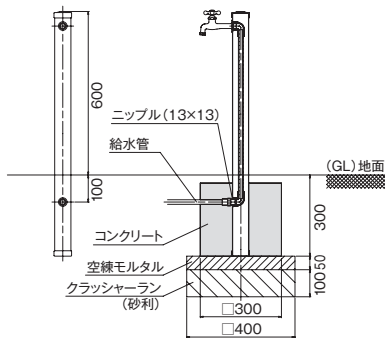
ウッド水栓柱 (ボード)  
G216-WB



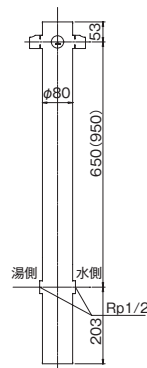
レゼーナ 900/1200



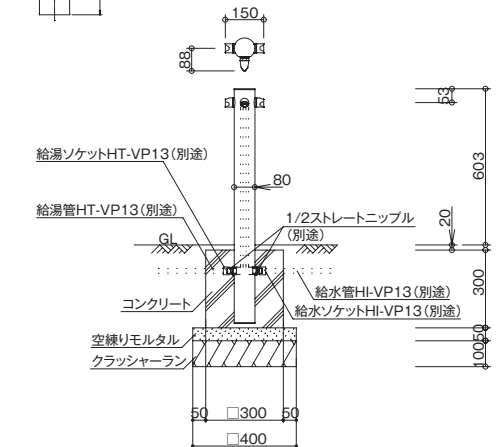
施工断面図



混合水栓柱レゼーナ (切替栓付き) 900/1200



施工断面図



# 水電柱

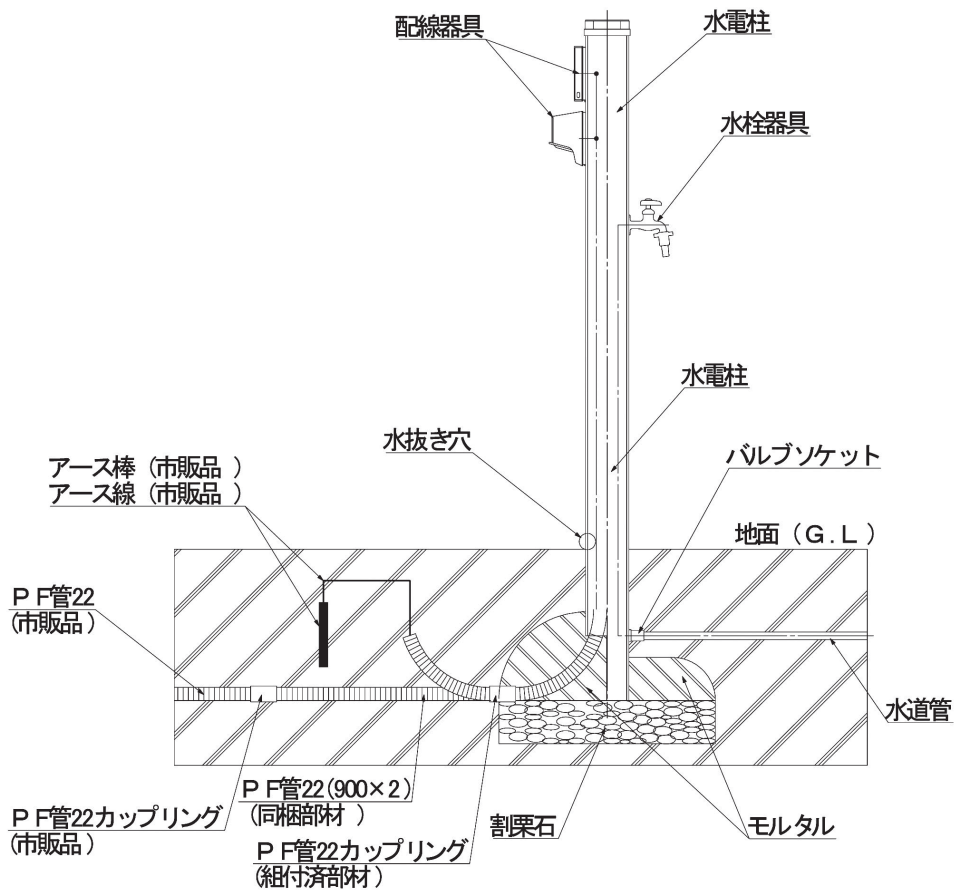
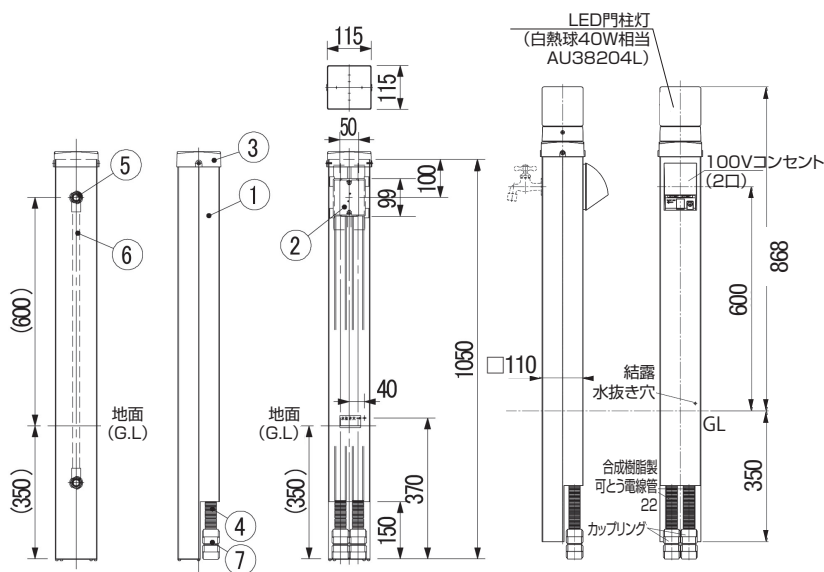


図 1: 工事完成図



図面:S型照明なし

図面:S型照明付

No.	部品名称	数量
①	柱	1
②	ジョイントボックス(PS/E)	1
③	トップ(添付)	1
④	合成樹脂製可とう電線管 22	2
⑤	水道用合成樹脂製塩化ビニル管用給水栓エルボ HI-VP13×Rp1/2(JIS)	2
⑥	水道用合成樹脂製塩化ビニル管 HI-VP13(JIS)	1
⑦	合成樹脂製可とう電線管用カップリング 22(添付)	2
	トラスタッピンネジ 4×12 (添付)	3
	皿小ネジ M4×20 (添付)	2
	合成樹脂製可とう電線管 22用キャップ(添付)	2
	合成樹脂製可とう電線管 22(添付)	2

工事の取り合いにより施工手順が異なります。次の順に従って施工して下さい。

■水道工事が先の場合の据付工事

■水道工事

1.埋設穴を確保

設置場所にモルタルと割栗石寸法(500mm×500mm×450mm)と水道配管とPF管配管工事を考慮したスペースを確保し、穴を掘る。

2.割栗石の敷設

水電柱の設置位置に合わせて、水はけ用の深さ100mm程度(500mm×500mm)の割栗石を敷く。(図1参照)

3.水電柱の据付け

水電柱を埋設穴の割栗石の上に乗せ、添え木等により仮固定し、垂直・水平の寸法を調整する。

4.水道管の配管

水道管を適切な深さで地中配管し、水電柱下部の水道管接続部にバルブソケットを用いて接続する。

5.水道配管側のモルタルの打設

水電柱の下端のPF管を同梱のPF管で延長し、水道管・バルブソケットと水抜き穴を埋めないように注意し、モルタルを打設します。PF管の管端は同梱のキャップを嵌め、埋まらないように地面(G.L)から出しておきます。(図1参照)

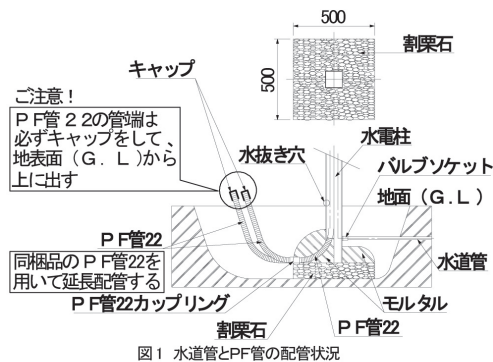


図1 水道管とPF管の配管状況

6.埋設穴の処理

埋設穴に誤って人が落ちないように適切な処理を施す。

■電気工事

7.PF管の配管

PF管を適切な深さで地中配管し、水電柱のPF管の先端のキャップを外してPF管カップリングを用いて接続する。(図2参照)

**注意** PF管の配管は、電線の通線に配慮して曲げ半径は管の直径の6倍(R200mm以上推奨)以上として下さい。

8.アースをとる

アース棒を打ち込み、アース線を水電柱の最上部まで通線し、アース線接続部に付属のアース線ネジを用いて接続する。(図2,3参照)

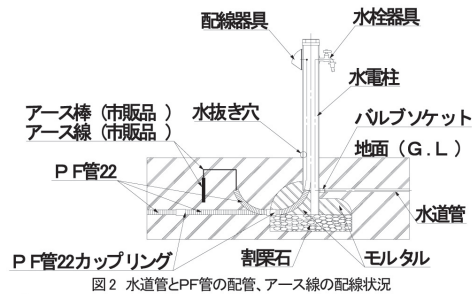


図2 水道管とPF管の配管、アース線の配線状況

9.トップの取付け

トップを添付のネジを用いてネジ締め固定します。(図3参照)

**注意** ネジが効かなくなったり、トップの割れ・欠けの原因となりますので、締め過ぎにご注意下さい。

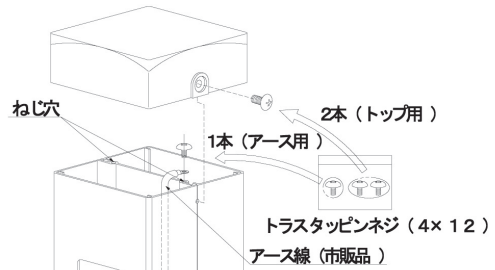


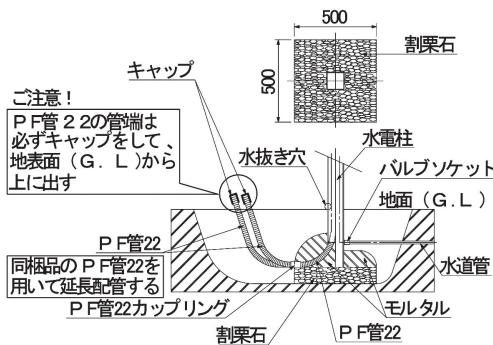
図3 水電柱最下部アース線接続状況

10. 埋戻し

水抜き穴を塞がないようにPF管及び水道管を埋込みライン(水電柱最下部より350mm)まで水電柱を埋め戻す。(図2参照)

**注意** コンクリート埋設の場合、コンクリートが乾くまで充分養生して下さい。

■水道工事が先の場合は、下図の(図A)のところまで施工し電気工事へ引き継いで下さい。



図A(図1と同図)

《注意事項》

①電柱に組付けられているPF管22に同梱のPF管カップリングとPF管22を用いて延長します。

②延長したPF管22の管端に異物浸入防止用に同梱のキャップを嵌めます。  
※このときPF管の管端は、電気工事の時に簡単の位置が分かり易いように地面(G.L)より上に出しておいてください。

③添え木等を用いて水電柱の水平・垂直・寸法を調整し、固定用モルタルを工事後の水道管のメンテナンスに配慮し、水道配管を避けて打設します。

④埋設穴に誤って人が落下しないよう適切な処置を施します。



# 水電柱

## ■電気工事が先の場合の据付工事

### ■電気工事

#### 1.埋設穴を確保

設置場所にモルタルと割栗石寸法(500 mm × 500 mm × 450 mm)と水道配管とPF管配管工事を考慮したスペースを確保し、穴を掘る。

#### 2.割栗石の敷設

水電柱の設置位置に合わせて、水はけ用の深さ 100 mm程度(500 mm × 500 mm)の割栗石を敷く。(図5参照)

#### 3.水電柱の据付け

水電柱を埋設穴の割栗石の上に乗せ、添え木等により仮固定しながら垂直、水平の寸法を調整する。

#### 4.PF管の配管

PF管を適切な深さで地中配管し、水電柱のPF管の先端のキャップを外してPF管カップリングを用いて接続する。(図5参照)

#### 5.アースをとる

アース棒を打ち込み、アース線を水電柱の最上部まで通線し、アース線接続部に付属のアース線ネジを用いて接続する。(図4、5参照)

#### 6.トップの取付け

トップを添付のネジを用いてネジ締め固定します。(図5参照)

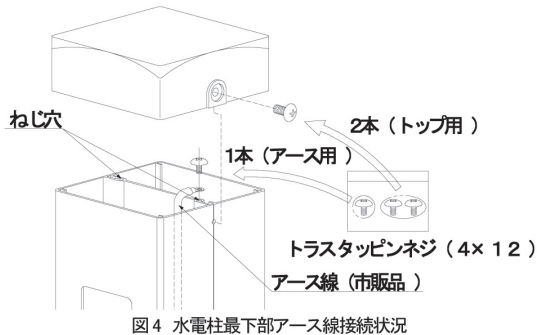


図4 水電柱最下部アース線接続状況

**注意** ネジが効かなくなったり、トップの割れ・欠けの原因となりますので、締め過ぎにご注意下さい。

#### 7.PF管配管側のモルタルの打設

水電柱の水道管接続部と水抜き穴を塞がないように注意しながらモルタルを打設する。(図5参照)

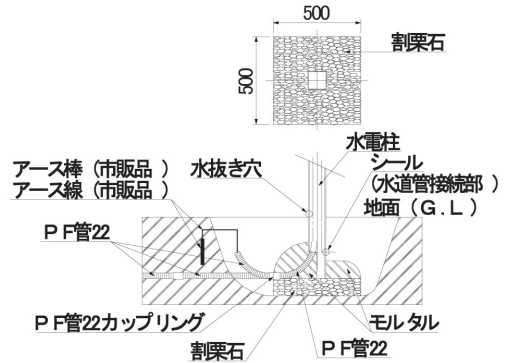


図5 水道管とPF管の配管、アース線の配線状況

## ■水道工事

#### 8.埋設穴の処理

埋設穴に誤って人が落ちないように適切な処理を施す。

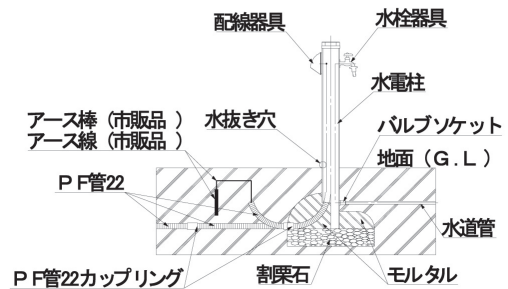


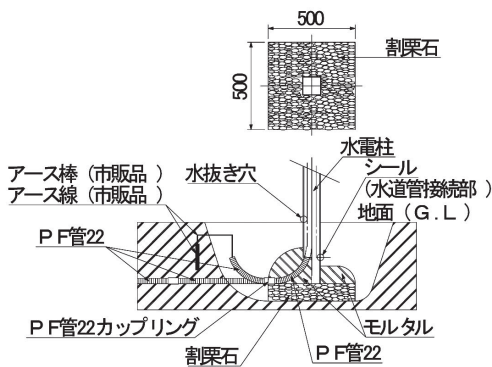
図6 水道管とPF管の配管、アース線の配線状況

#### 10. 埋戻し

水抜き穴を塞がないようにPF管及び水道管を埋込みライン(水電柱最下部より350 mm)まで水電柱を埋め戻す。(図6参照)

**注意** コンクリート埋設の場合、コンクリートが乾くまで充分養生して下さい。

## ■電気工事が先の場合、下図の(図B)のところまで施工し水道工事へ引き継いで下さい。



図B(図5と同図)

### 《注意事項》

①電柱に組付けられているPF管 22に同梱のPF管カップリングとPF管 22を用いて延長します。

②電柱から延長したPF管と埋設してきたPF管を接続し、水電柱の近くにアースを打ち込みます。

③アース線を水電柱内部に通線し、一方を水電柱上部のアース線接続部に、もう一方に打ち込んだアースに繋がります。

④添え木等を用いて水電柱の水平・垂直・寸法を調整し、固定用モルタルを水道管のメンテナンスに配慮し、シール(水道管接続部)にモルタルが被らないように水電柱とPF管に固定用モルタルを打設します。

⑤埋設穴に誤って人が落下しないよう適切な処置を施します。

### ■水栓器具及び配線器具の設置

水栓器具の取付けは水栓器具、配線器具の取付けは通線後、配線器具の注意事項に従って取り付ける。

### ■照明器具の取付

1. ケーブルを水電柱最上部まで通線し、引き出しておく。
2. トップ(添付)の中央に照明器具用のケーブルを通線のための孔を開ける。  
**注意** ケーブルを傷つけないよう孔には面取りを施して下さい。
3. トップの孔にケーブルを通しながらボールに取付け、開口(ケーブル通線部)の隙間を防水処理(シーリング処理)を施す。(図7参照)
5. 照明器具の取付け及び電気工事は照明器具の注意事項に従い、資格を有する方が行って下さい。

図7 通線及び防水処理

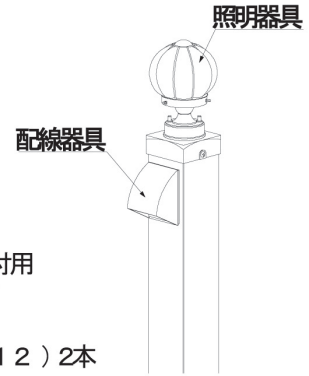
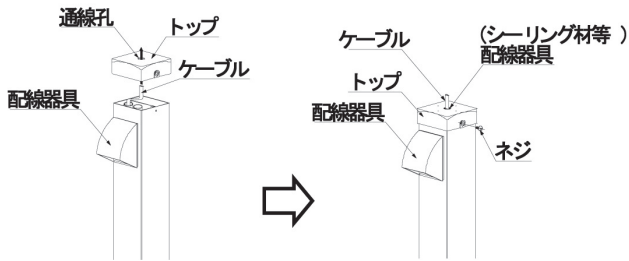


図9 照明器具取付け例

※参考例で付属の照明器具とは違います。

4. 照明器具の基台を、タッピンネジ(4×20)を用いてトップにネジ締め固定する。(図8参照)

**注意** 取付けピッチが66.7mm、基台の大きさが最大110×110mm以下の照明器具を選択し、タッピンネジ(4×20)を用いてネジ締め固定して下さい。

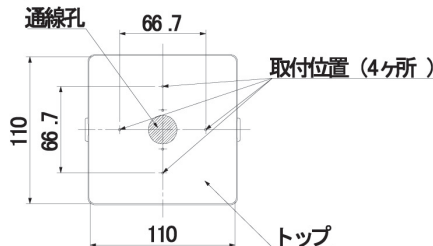


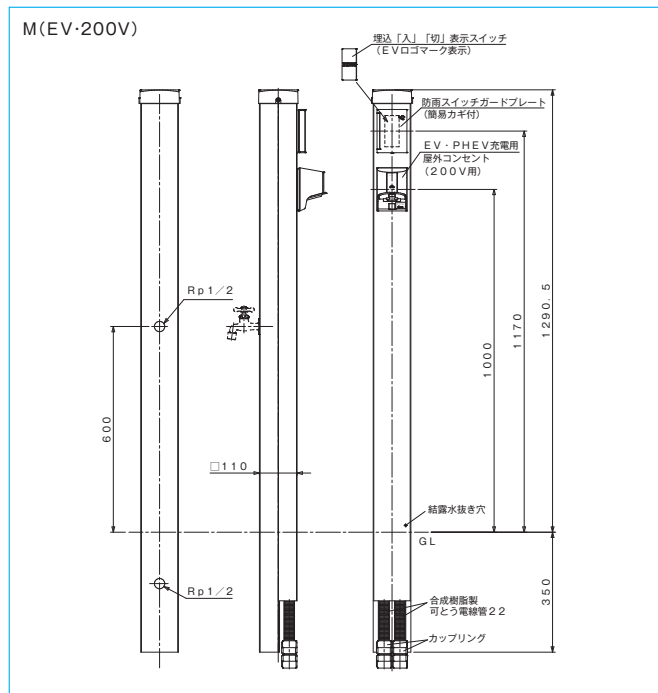
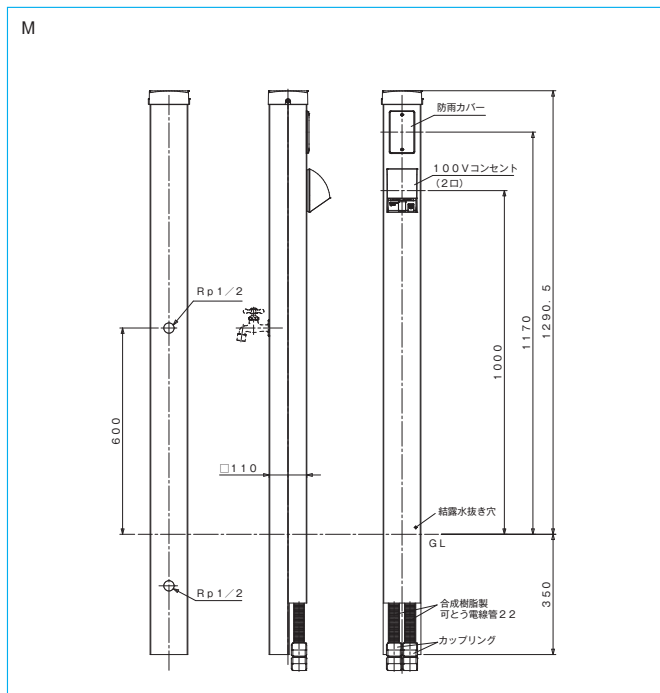
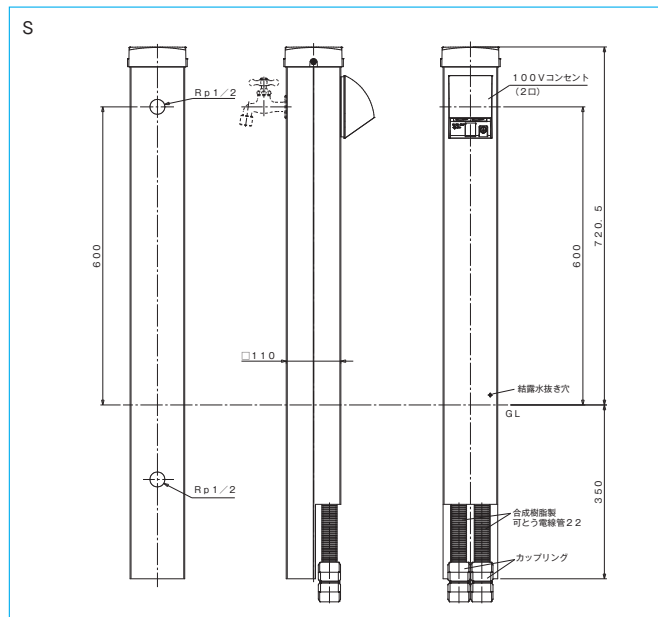
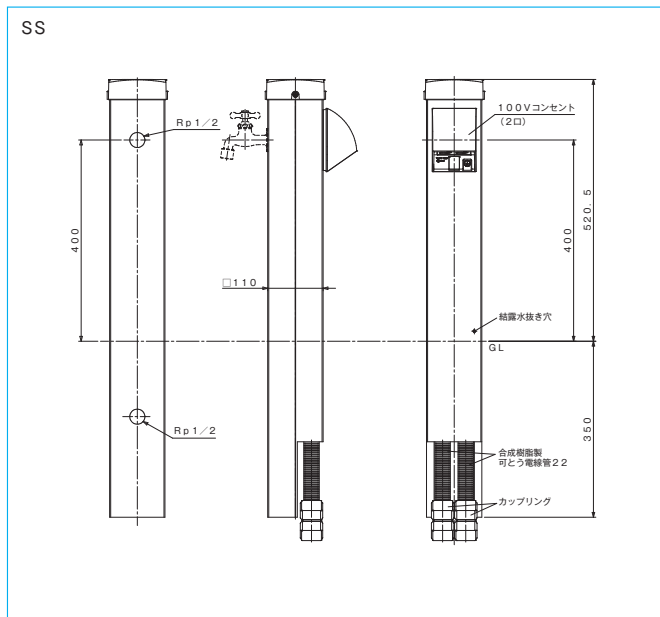
図8 通線孔及び照明器具の取付け位置(トップ)

警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の仕様でないものの取付け、植栽や他の構造物の支え、踏み台、運動具、道具等、目的以外の使用はしない。製品に想定以外の負荷が加わり、曲がりや転倒の原因となります。</li> <li>本説明書にない追加加工、改造はしない。強度低下による曲がりや転倒、追加加工部からの腐食による寿命低下の原因となります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の組立・施工は、必ず『本説明書』を読み、正確に行う。また組立・施工後に『本説明書』を施主様にお渡し、取扱方法及びメンテナンスについてご説明する。</li> <li>高所作業が伴う場合は、転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、また暗所作業時の照度の確保などを必ず行う。</li> <li>電気工事は「電気工事士」の資格のある方が、「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づき、水道工事は指定工事店が「水道法施工令」に基づき行う。</li> <li>水電柱にはアース工事(D種接地工事：接地抵抗 100Ω以下)を行う。</li> <li>建柱時は、水電柱下の水はけを良くする。</li> <li>EV・PHEV充電用として用いる場合は、必ず専用回路とし、漏電ブレーカーを設置する。</li> </ul>

警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>凍結の恐れがある地域には、設置しない。器具の凍結は、器具が破損し、漏水が発生する恐れがあります。</li> <li>本品を給湯器や暖房機などの排気を妨げる場所や排気熱が直接当たる場所に設置しない。本品が換気の妨げとなり、適切な換気ができなくなる可能性があります。</li> <li>本品を危険な場所や通行の妨げになる場所へ設置しない。</li> <li>運搬中は振り回さない。人や物などに当たり、ケガの原因となります。</li> <li>塩分を含む砂(海砂)を用いたコンクリート(またはモルタル)を使用しない。また大気中や地質に強い酸・アルカリ成分が含まれる場所には使用しない。ボールが腐食し、破損・倒壊する恐れがあり危険です。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷崩れしないように保管する。ボールを立て掛けるなど不安定な保管は倒れて本品が破損するだけでなく、ケガの原因となります。</li> <li>組立や運搬時に手を挟まないように注意する。</li> <li>蛇口の取付け前に配管内の洗浄をする。(1分程度の流水) 配管内のゴミ、切り屑などが蛇口のパッキンを傷つける恐れがあります。</li> </ul>

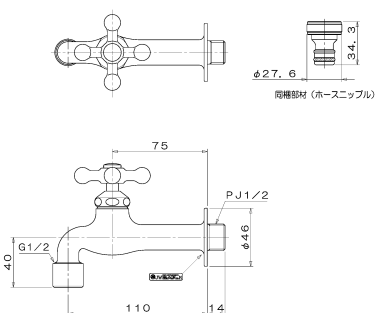
お願い
<p>※ EV普通充電で用いる場合は、日本配線システム工業会『EV普通充電用電気設備の施工ガイドライン』を参考とし、設計・施工を行って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外観商品ですので、輸送や保管など取扱いにご注意下さい。</li> <li>製品を破損したまま使用すると事故原因となりますので、破損した際はすぐに施工店にご連絡ください。</li> <li>破損や劣化、作動不良の原因となるので、本品の近くで火気を使用しないでください。</li> <li>本品の汚れを拭き取る場合は、研磨剤入りのクレンザー、シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等を使用せず、水で薄めた中性洗剤を使用し、最後に水で濡らした布で拭き取って下さい。</li> <li>施工の際、ボール(外筒)に無理な荷重を掛けないで下さい。</li> <li>水電柱に充電コンセントを付けて車が通るところに設置する場合、必ず防護柵や車止めなどを設置し、水電柱への衝突対策をして下さい。</li> <li>排水管を設けない場合は、水はけのいい場所や水が流れても支障がない場所を選び、設置して下さい。</li> <li>凍結の恐れのある地域(寒冷地)では、最寄りの水道工事店にご相談の上、適切な凍結防止策を施して設置して下さい。</li> <li>ご不要の折には地域の条例に従って正しく廃棄して下さい。</li> <li>改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますので、ご了承ください。</li> </ul>

## 【水電柱】

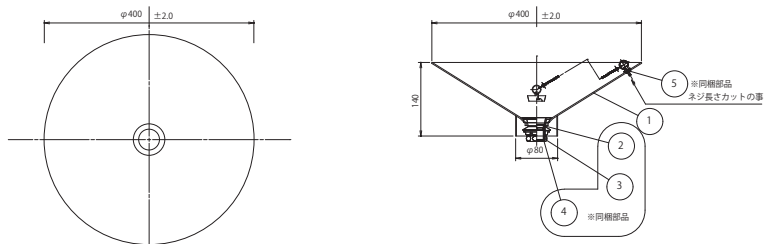


## 【水栓パン】

### 専用胴長横水栓



### ステンレスガーデンパン

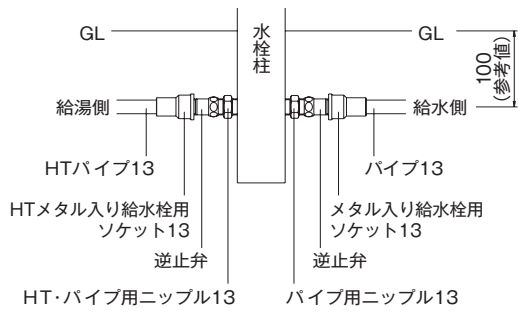


5	ゴム栓φ25用 加工カト	合成ゴム等			1	SOH177*	※同機部材
4	パッキン	ノンアスベスト			1	004-090	
3	袋ナット	鍛造用黄銅	JIS H 3250	C3771BE	1	SOK130 ※同機部材	003-163
2	排水金具組	鍛造用黄銅	JIS H 3250	C3771BE	1		006-012
1	本体	ステンレス			1	SOH326	
番号	品名	材料	規格番号	記号	個数	部品番号	適用

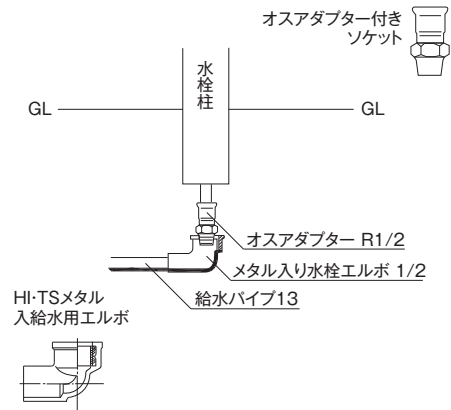
# 水栓柱接合図

施工断面図

ウォーターコック G101-KS/G101-KSS



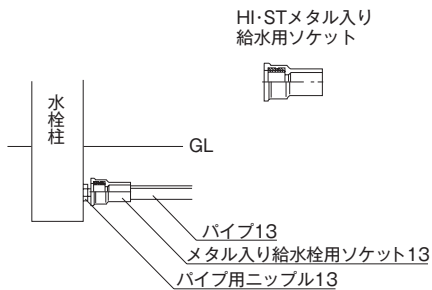
水栓柱 307G-T



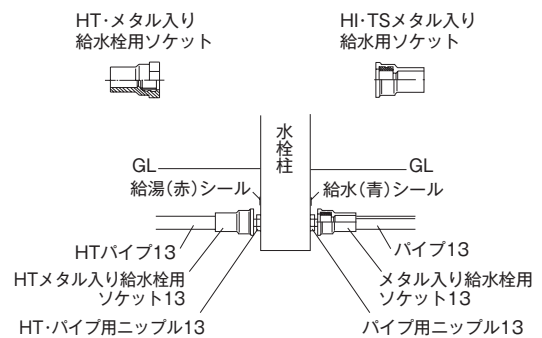
ウォーターコック G206-S60K/G216WB

水栓柱 326G/327G

シャワー水栓柱 602G



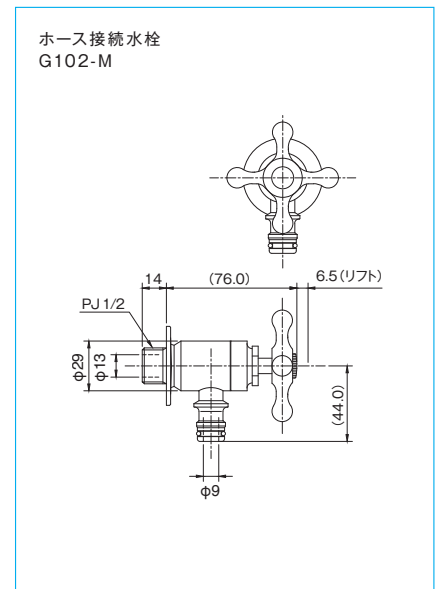
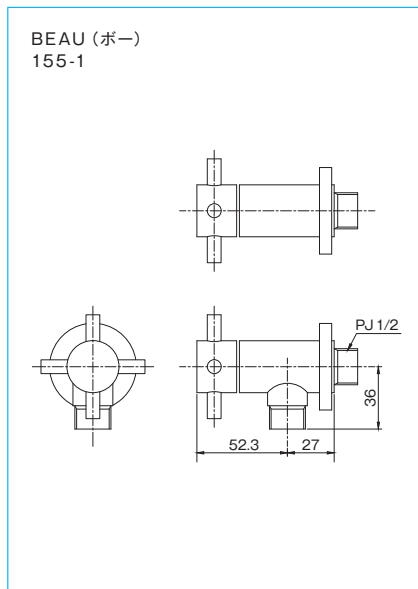
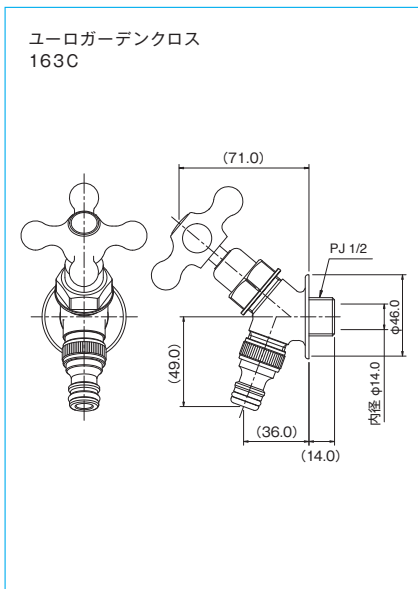
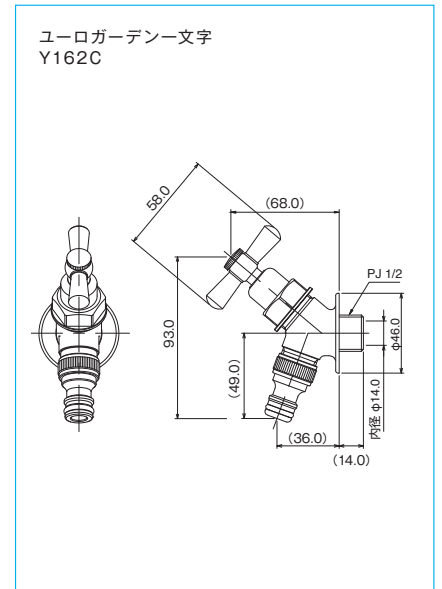
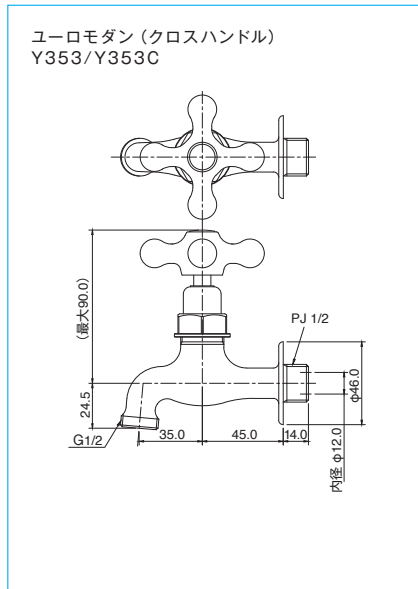
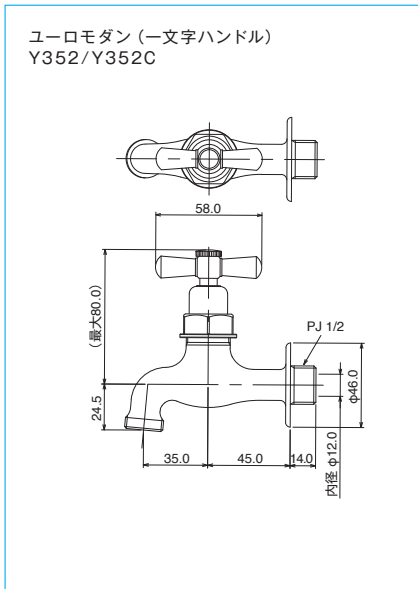
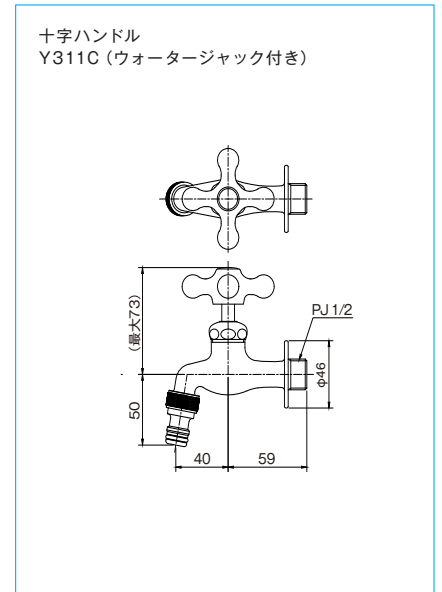
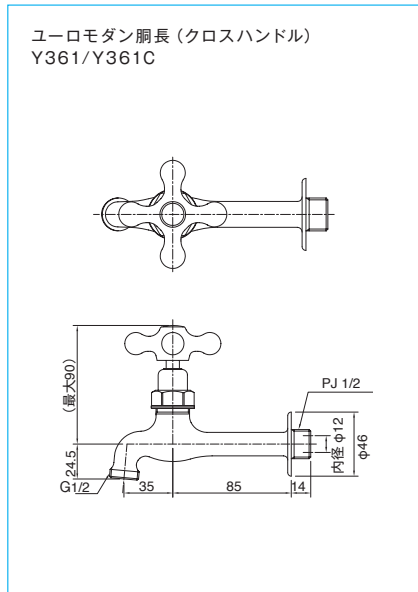
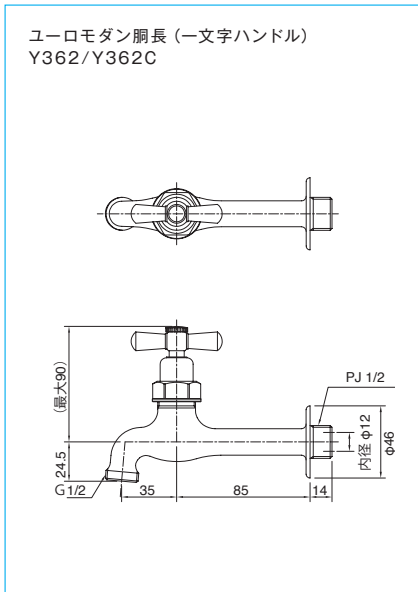
シャワー水栓柱 604G/605G



ガーデン

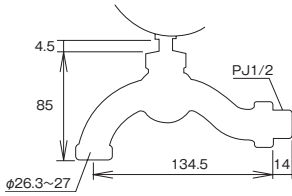
# カラン

**【カランの寸法図】** ※ゴールド色はご使用期間の経過により、表面の色が落ち着いた色調に変化していきます。

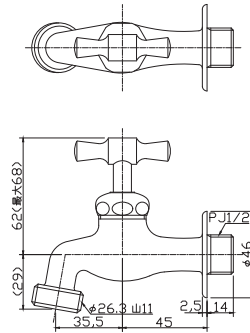


ガーデン

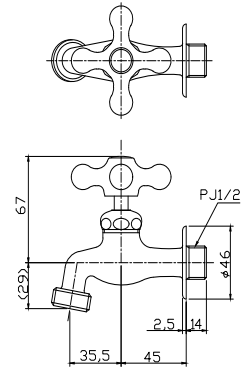
えなが・こがら  
A115/A117



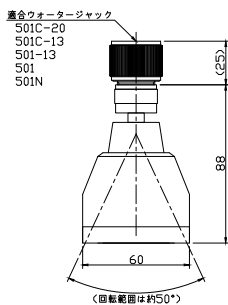
スタンダード  
Y310



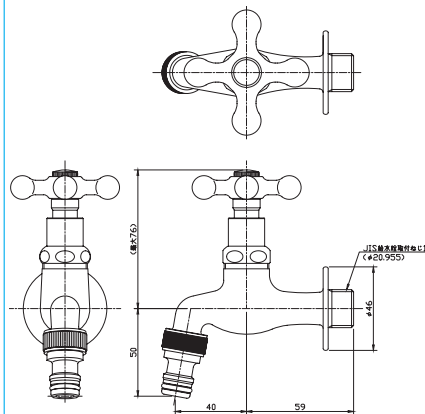
十字ハンドル  
Y311



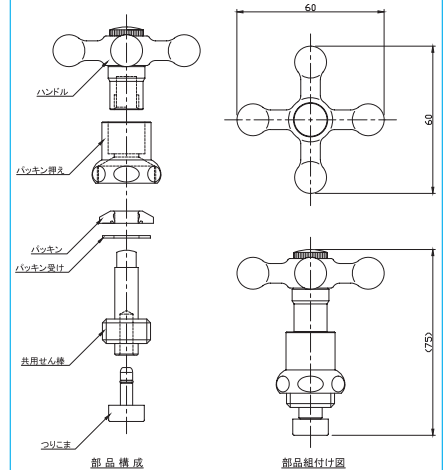
固定型シャワーヘッド  
507



十字ハンドル(安心機能タイプ)  
Y311CM



安心機能ナットセット  
512



【水栓金具の取付け方】

水栓金具の交換をするときは、止水栓を止めて下さい。止水栓は、ほとんど水道メーターの付近にあります。右にまわすと閉まり、左にまわすと開きます。

- 古い水栓金具を左にまわして外します。次に配管内のゴミを取り除きます。  
※配管内のゴミが残っていると、パッキンを傷つけ、水もれの原因になります。



- 新しい水栓金具のネジ部分にシールテープを全体が2~3重になるように巻きます。シールテープは軽く引っ張りながら、ネジに食い込むように巻きます。



- 新しい水栓金具を右にまわしてねじ込みます。最後までねじ込んで水栓が斜めになる場合は、いったん外してシールテープの量を増減して正しい位置になるよう調節します。  
※一度ねじ込んだものを左にまわして戻すと、水もれの原因になります。



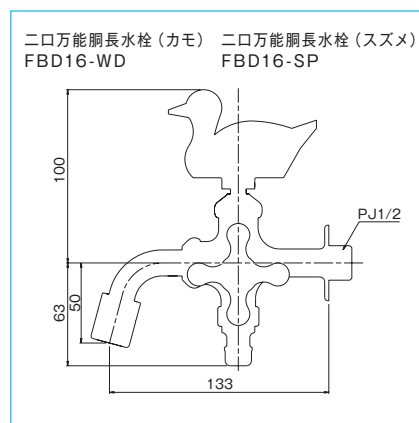
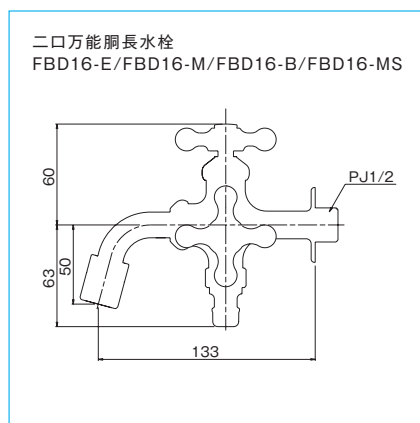
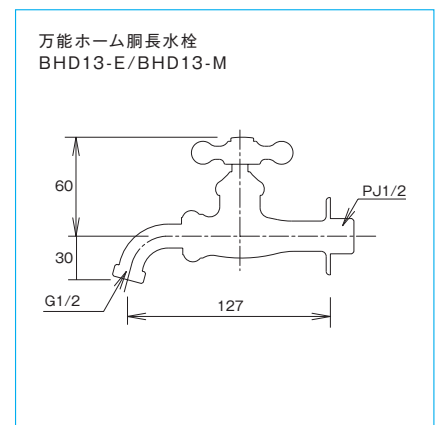
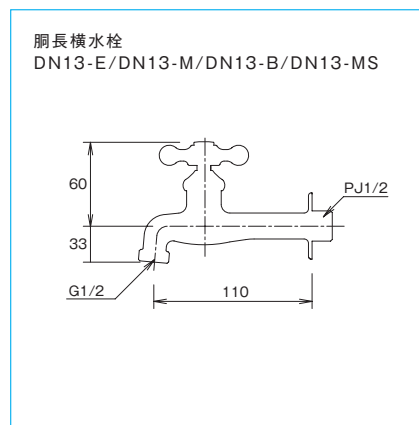
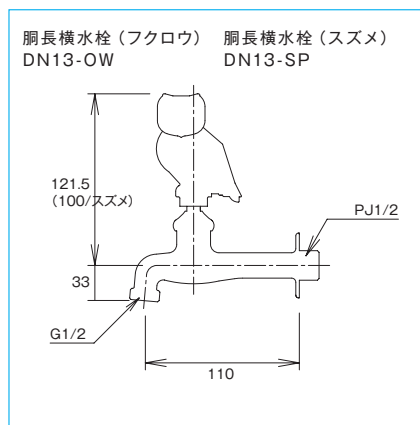
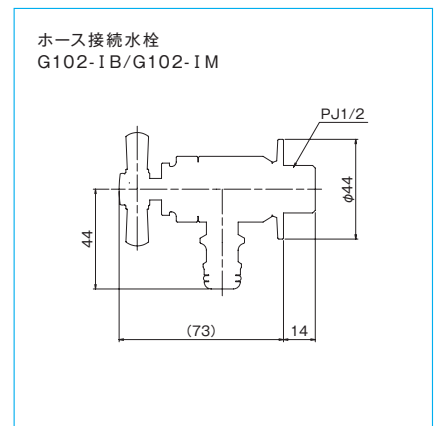
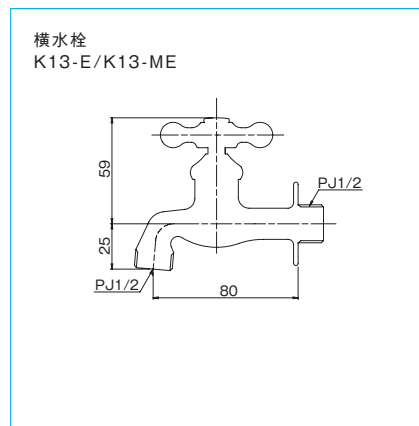
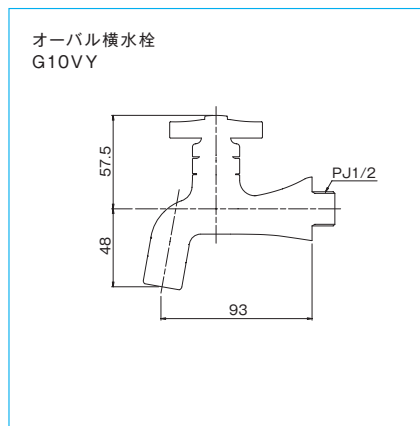
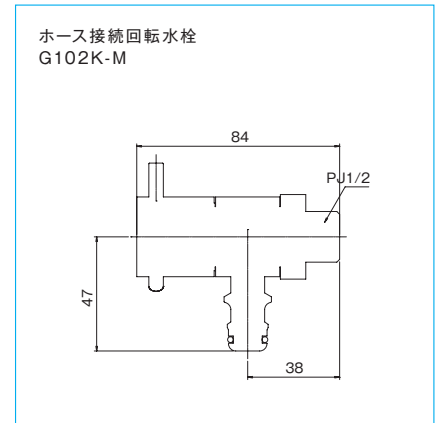
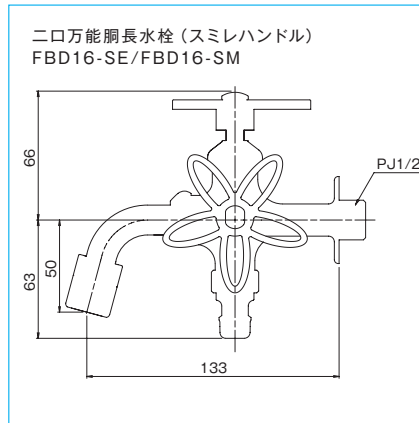
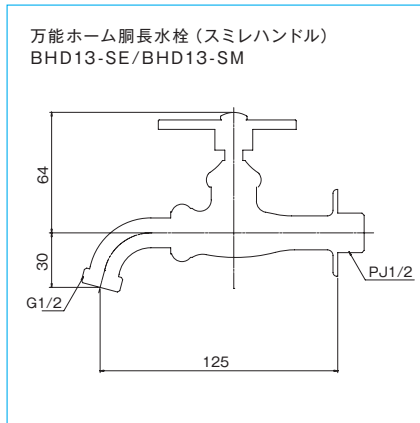
- 最後に止水栓を開き、水もれを点検します。  
※水もれをする場合は②から戻って作業しなおして下さい。



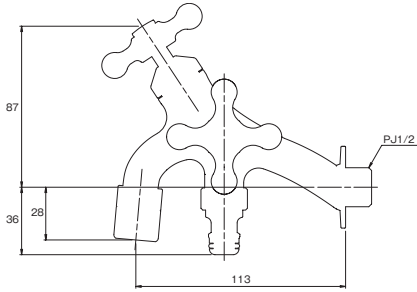
# カランN

※P89「水栓金具の取付け方」をご参照下さい。  
 ※ゴールド色はご使用期間の経過により、表面の色が落ち着いた色調に変化していきます。

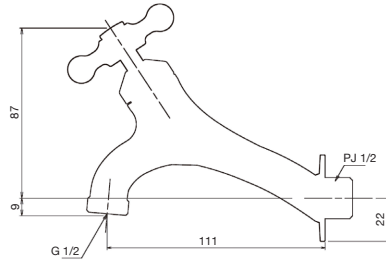
## 【カランNの寸法図】



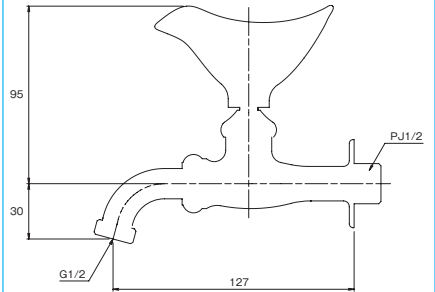
T16型二口横水栓  
T16F-E/T16F-B/T16F-M



T14型胴長横水栓  
T14D-E/T14D-B/T14D-M

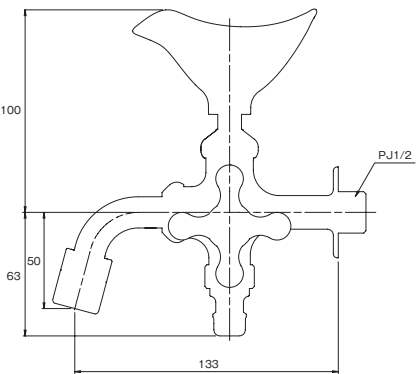


万能ホーム胴長水栓(バード)  
BHD13-DM

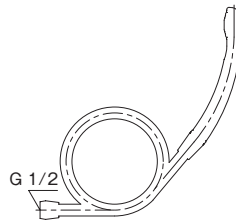


【シャワーホースの寸法図】

二口万能胴長水栓(バード)  
FBD16-DM



G216SHS-M



【水栓金具の取付け方】

水栓金具の交換をするときは、止水栓を止めて下さい。止水栓は、ほとんど水道メーターの付近にあります。右にまわすと閉まり、左にまわすと開きます。

- 1 古い水栓金具を左にまわして外します。次に配管内のゴミを取り除きます。  
※配管内のゴミが残っていると、パッキンを傷つけ、水もれの原因になります。



- 2 新しい水栓金具のネジ部分にシールテープを全体が2~3重になるように巻きます。シールテープは軽く引っ張りながら、ネジに食い込むように巻きます。



- 3 新しい水栓金具を右にまわしてねじ込みます。最後までねじ込んで水栓が斜めになる場合は、いったん外してシールテープの量を増減して正しい位置になるよう調節します。  
※一度ねじ込んだものを左にまわして戻すと、水もれの原因になります。



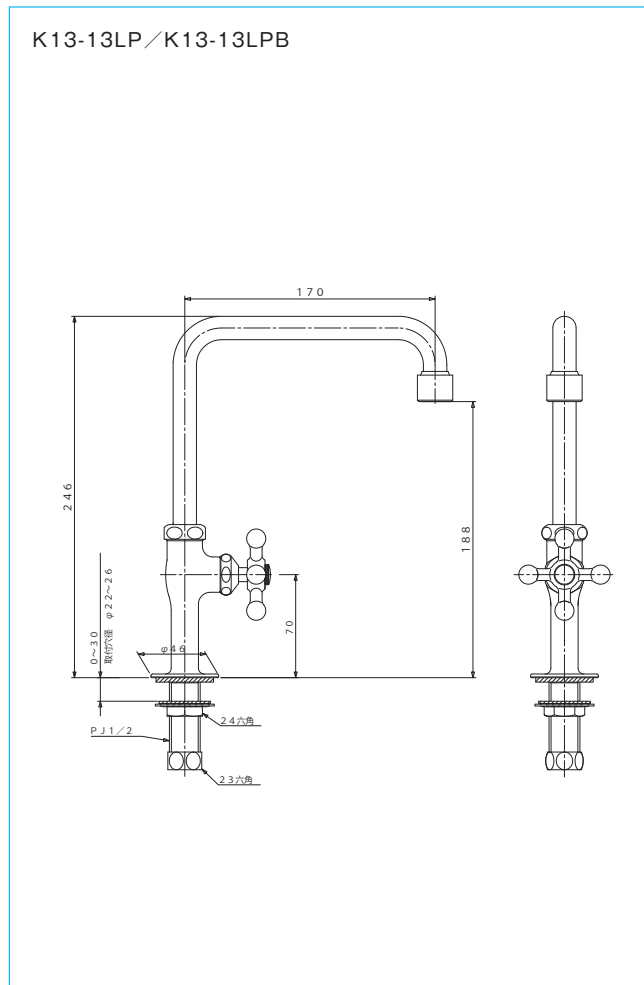
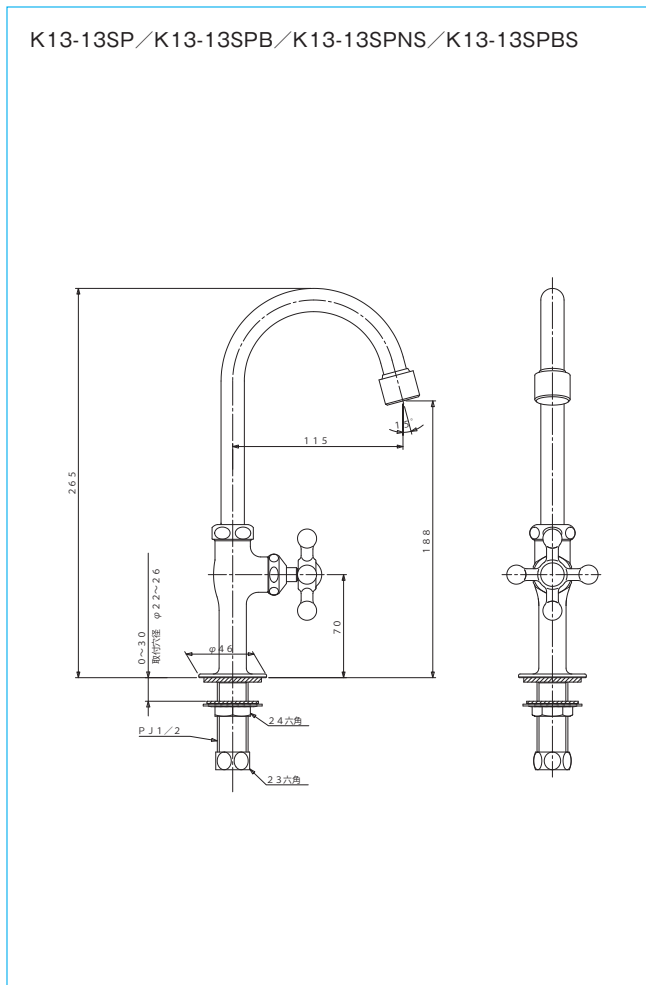
- 4 最後に止水栓を開き、水もれを点検します。  
※水もれをする場合は②から戻って作業しなおして下さい。



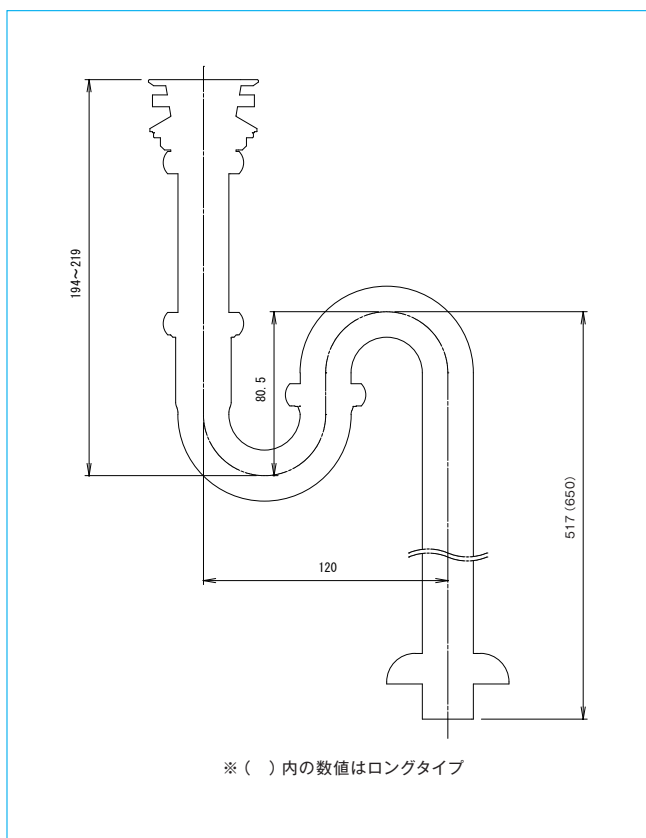


# 立水栓

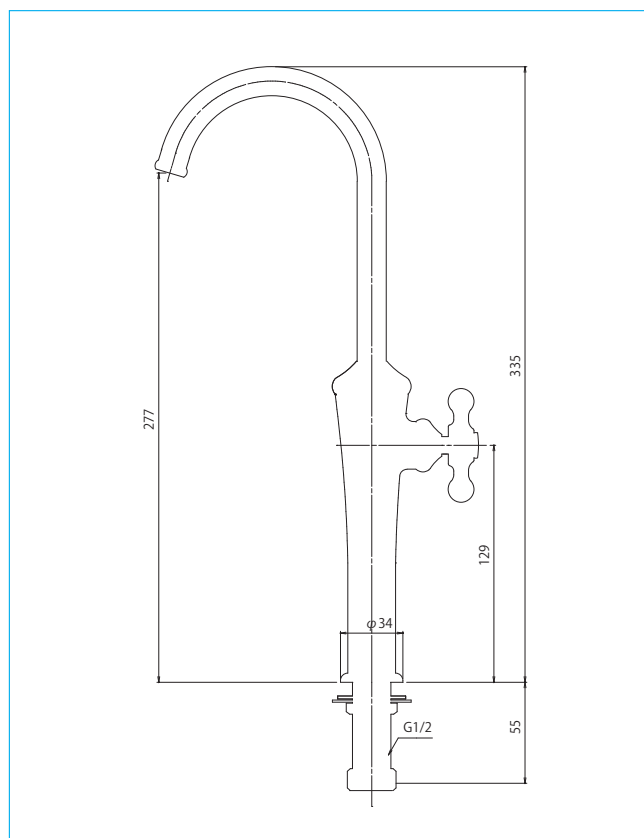
【スワンの寸法図】



【ストラップ・ストラップ(ロングタイプ)の寸法図】



【レトロンの寸法図】



【スワンの施工要領】

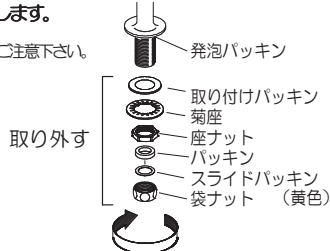
・正しい設置および正しい使用がされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いかねますので予めご了承下さい。

器具の取り付け

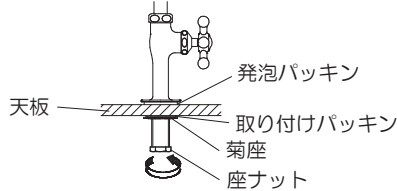
取り付けが順にしたがって確実にお取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部防らの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

1 水栓に取り付けてある袋ナット、座ナットのネジを回し、菊座を取り付けパッキンを取り外します。

※取り外す際には部品をなくさないようにご注意ください。



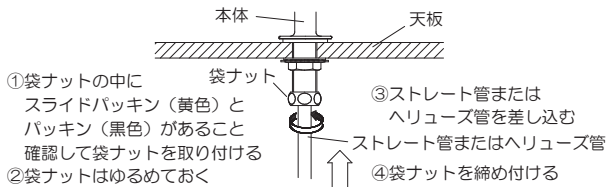
2 本体をハンドルが右側になるように天板の穴に差し込み、下から取り付けパッキン、菊座をいれ座ナットで締め付けます。



3 本体と止水栓を接続します。(ストレート管、ヘリユース管の場合)

※付属の袋ナットにスライドパッキン（黄色）とパッキン（黒色）が入っていることを確認して袋ナットを取り付けて下さい。

※袋ナットをゆるめ、ストレート管またはヘリユース管を差し込み、袋ナットを締め付けて下さい。

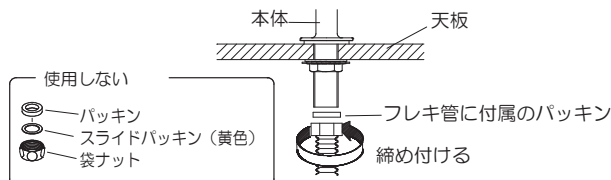


3 本体と止水栓を接続します。(フレキ管の場合)

※フレキ管で接続する場合、付属の袋ナット、パッキン、スライドパッキンは使用しません。

フレキ管のナットで直接本体に接続して下さい。

※本体とフレキ管の間には必ずフレキ管に付属されているパッキンを使用して下さい。



取り付け後の点検

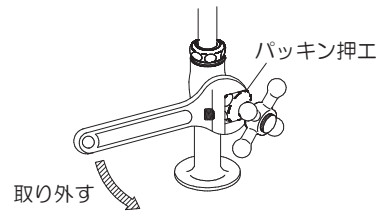
※水栓の出し止めを数回繰り返す、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認して下さい。

※天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入がないか確認して下さい。

コマの掃除

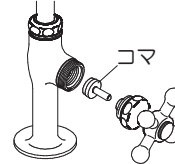
止水できなくなった場合には、コマにゴミがついていることがありますので、下記の手順によりコマの掃除を行って下さい。

1 止水栓のハンドルを閉じて給水を止めます。パッキン押エのネジを回して上部を取り外します。



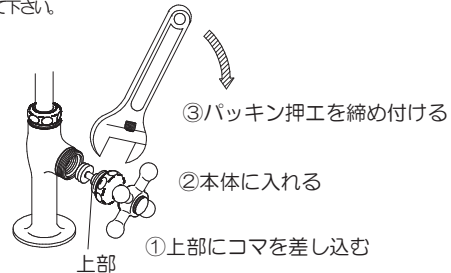
2 コマを取り出し、ゴミを取り除きます。

※コマが取れない場合は、ラジオペンチ等ではさんで取り出して下さい。



3 上部にコマを差し込み、本体に取り付け締め付けます。

※全ての部品を取り付け、水栓の出し止めを数回繰り返す、接続部から水漏れがないことを確認して下さい。



吐水口の掃除

吐水口が詰まると吐水量が少なくなったり、温度調整が出来なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき吐水口部を掃除して下さい。

※吐水口部を外して、網目や穴に詰まったゴミをブラシなどで取り除いて下さい。



お手入れの方法

いつまでも美しさを保つため、柔らかい布で磨き、メッキされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしみ込ませた布で磨いて下さい。

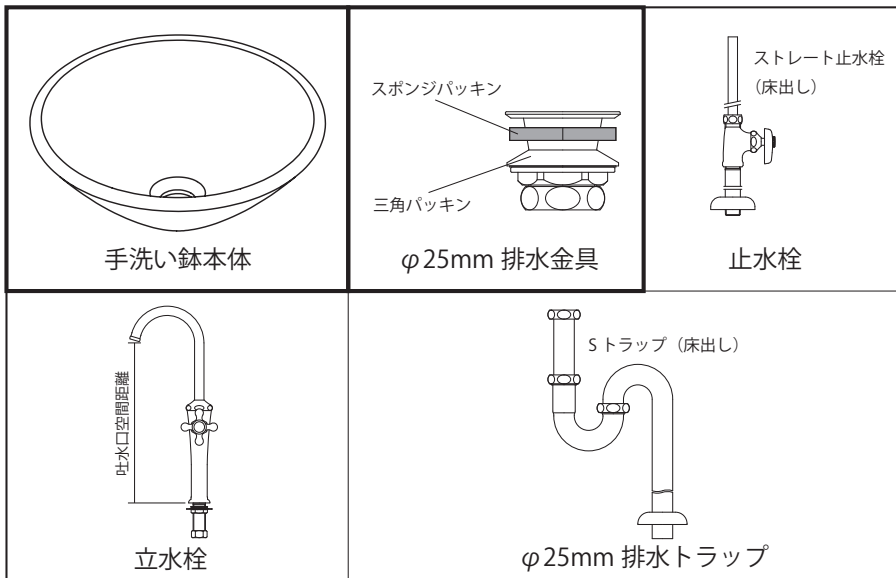
※クレンザー、みかき粉、粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはメッキ面を傷つけるので使用しないで下さい。

※また、酸性洗剤はメッキを侵しますので使用しないで下さい。間違っても使用したときはすぐに水洗いして下さい。

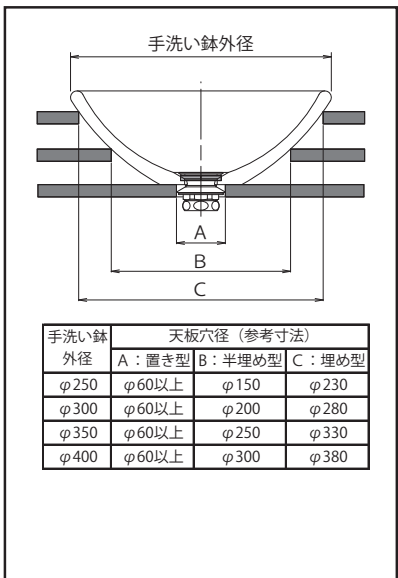
※K13-13SPB・K13-13LPB (ブロンズメッキ)、K13-13SPBS (ブラックサテンメッキ) は特殊メッキのため、経年により色が変わる場合があります。

[レトロ／ストラップ／ストラップ(ロングタイプ)]

## 各部の名称



## 参考寸法



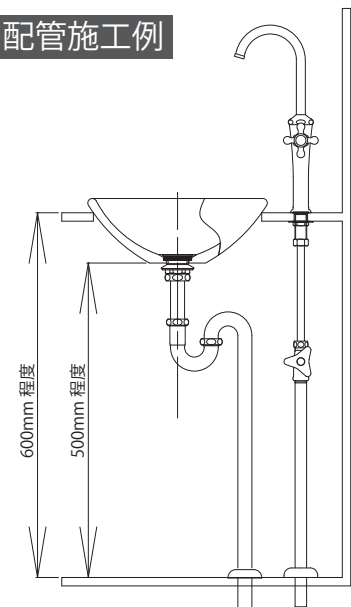
## 施工に関する安全上のご注意

- 手洗い鉢の取付工事は必ず専門の工事店に依頼してください。
- 手洗い鉢には様々な材質がありますが、壊れ物としてご認識ください。落としたりぶつけたりしますと、欠けたり割れたりするおそれがあります。
- 工具などの硬いものを手洗い鉢の上に落としたり、のせて引きずったりしないでください。

## 参考施工図

- 下図は参考図です。必ず天板開口前に水栓や手洗い鉢の位置のバランスを見て開口位置を決定してください。
- 天板と手洗い鉢のすき間に必ずコーキング処理をしてください。
- 施工後には必ず通水点検を行ってください。
- 必ずモンキーレンチ等の工具を用いて締付けてください。手締めをすると水漏れが発生するおそれがあります。

## 床出し配管施工例



### ※通水点検※

- 水栓を吐水させ、適切な吐水量であるか確認します。水はねが激しい場合は、止水栓を絞るか、手洗い鉢の位置を微調整してください。吐水量が排水能力を上回る（あふれる）場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- 通水、排水経路の接続部に水漏れが無いか確認します。
- 排水がスムーズに行われているか確認をします。

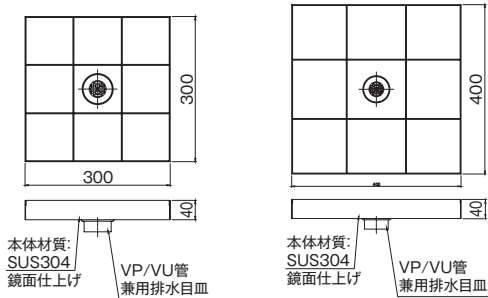
## 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

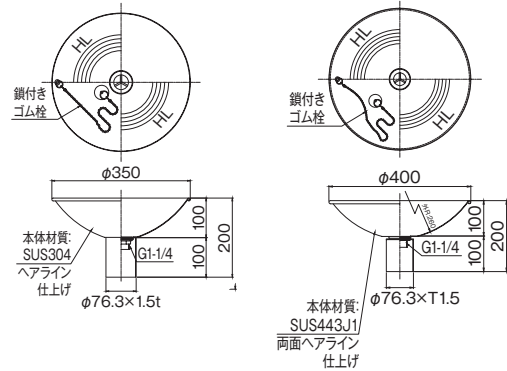
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- ゴミ等により排水口が目詰まりすることがあります。その場合、排水口を掃除してください。
- 酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。

## 【水鉢】

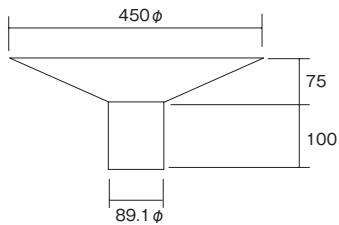
フラット300 フラット400  
414G/415G



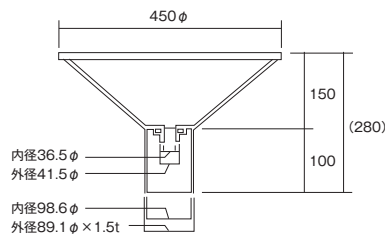
アールパン S HL 412/アールパン M HL 411



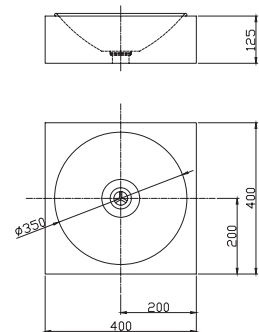
ステンレス平鉢  
407



ステンレス中鉢  
405

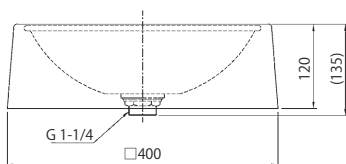
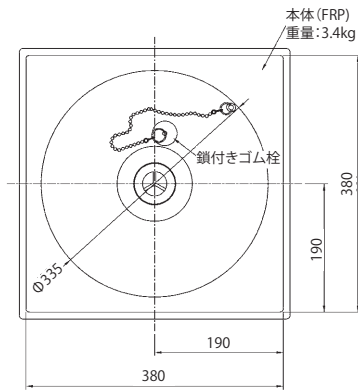


アールパン S スクエア 413

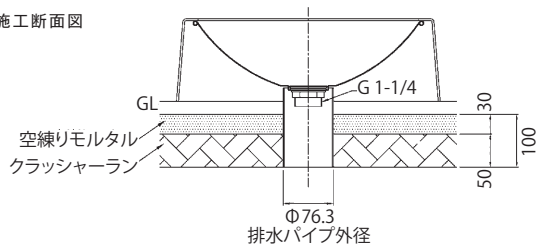


## 【FRPパン】

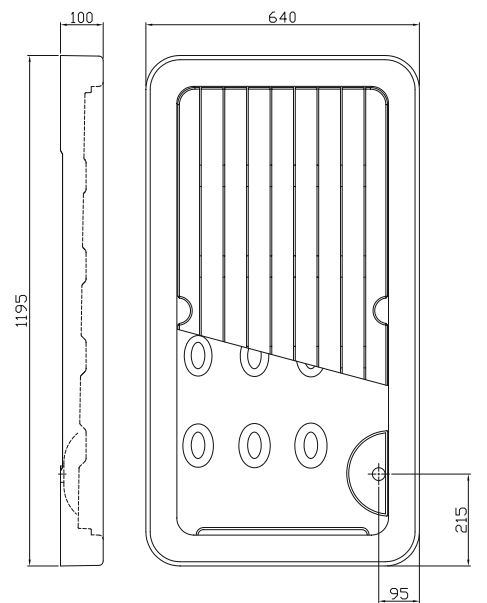
FRPアールパン スクエア 416W/416B/416R



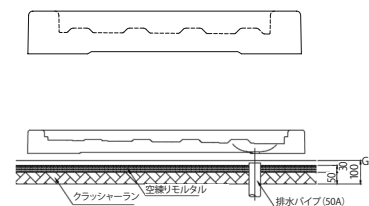
施工断面図



FRPベットシャワーパン A2000-RF0/A2000-RF1/A2000-RF2



施工断面図



# 水栓パン

## 【星形パン ペンタグラ】

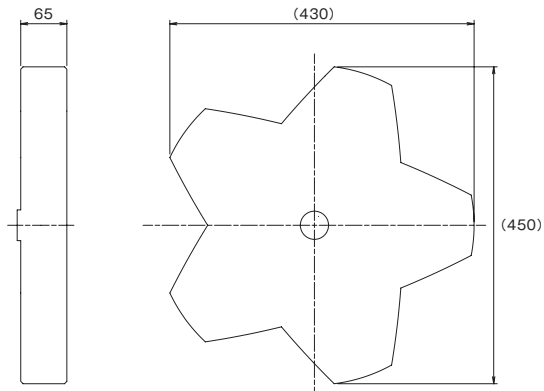
### ■ 施工前の確認

#### <設置場所の確認>

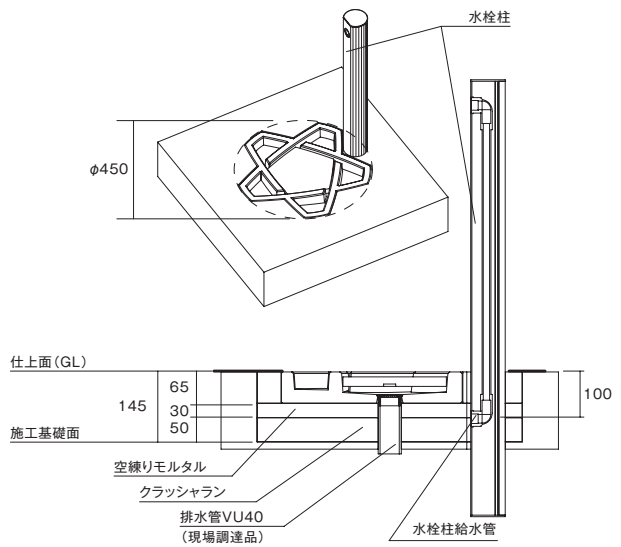
- ガーデンパンは、必ず安定した砂利、モルタル、コンクリの上等に設置して下さい。
- 水栓柱の給水管に干渉しないよう、水栓パン、及び排水設備を施工して下さい。

#### <排水管のサイズ>

- 水栓パンの排水金具は塩ビパイプVU40対応品です。
- 排水管は塩ビパイプVU40を用意して下さい。
- ※ 排水管(塩ビパイプVU40)は現場手配となります。



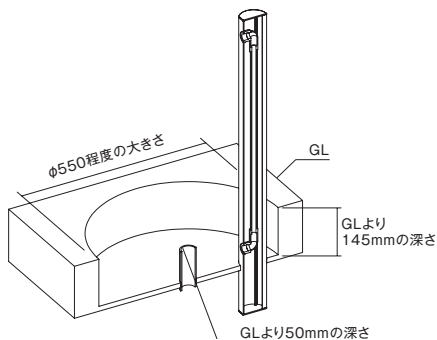
#### <施工完了例> (単位:mm)



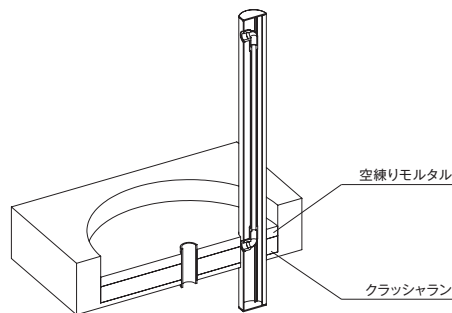
### ■ 施工要領

GLとツラ位置で、埋め込んで施工する場合の施工方法となります。  
お好みで埋め込み深さを浅くする場合は、希望する埋め込み深さに合わせて寸法の調整を行って下さい。

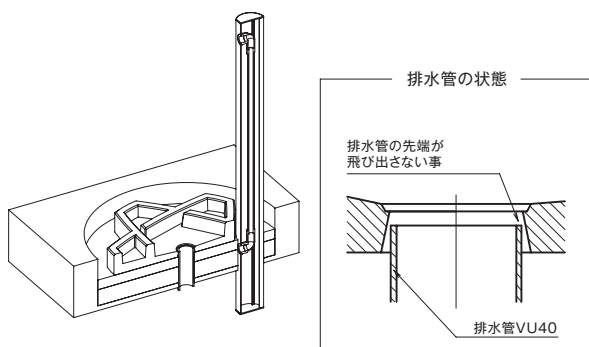
- 1 パンの大きさより周囲100mm大きく、145mmの深さで床掘し、充分に転圧します。このとき排水管(塩ビパイプVU40。現場調達品)をパンの穴位置にあわせ埋設しておきます。排水管の上端はGLより50mm低くして下さい。また、水栓柱の給水管と干渉しないよう、排水パイプの位置を検討して下さい。



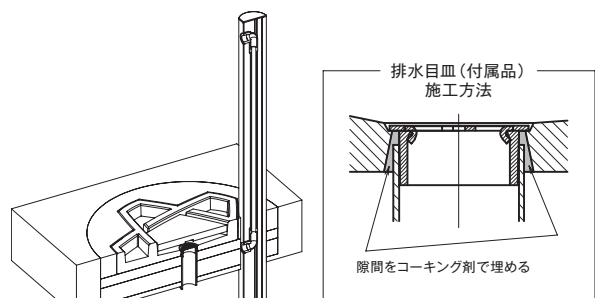
- 2 クラッシュランを50mm敷設し転圧した後、その上に空練りモルタルを30mm敷設します。



- 3 パンをセットし、パンの高さを調整します。この時、排水管が飛び出さないようにします。飛び出した場合、適切な高さへ切断、または空練りモルタルで高さを調整し、問題の無い事を確認してから、パンの周囲を埋め戻して下さい。



- 4 排水管とパンの隙間をシリコン系コーキング剤で充填し、排水金具を差込みます。水はね防止マットをセットし、お好みの化粧砂利を5ヶ所の枠に入れ込んで、完成です。



【スクエアパン】

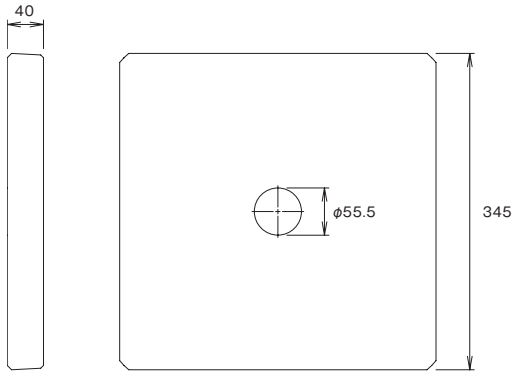
■ 施工前の確認

<設置場所の確認>

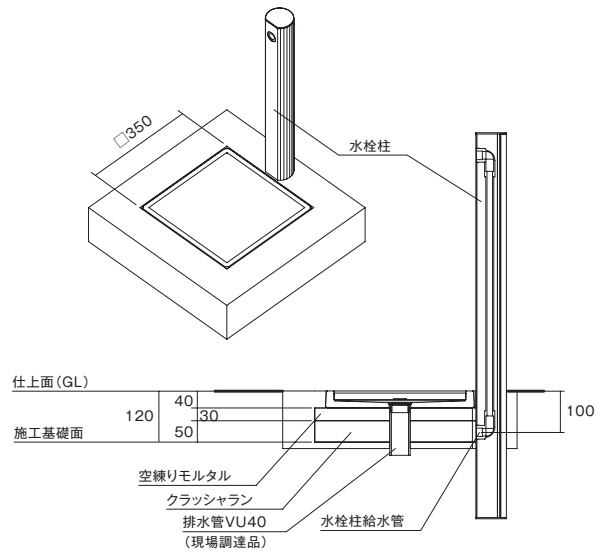
- ガーデンパンは、必ず安定した砂利、モルタル、コンクリの上等に設置して下さい。
- 水栓柱の給水配管に干渉しないよう、水栓パン、及び排水設備を施工して下さい。

<排水管のサイズ>

- 水栓パンの排水金具は塩ビパイプVU40対応品です。
- 排水管は塩ビパイプVU40を用意して下さい。
- ※ 排水管(塩ビパイプVU40)は現場手配となります。



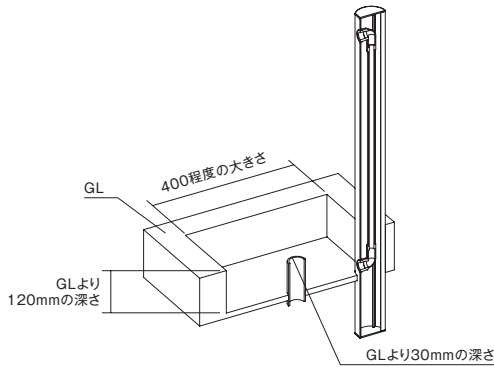
<施工完了例> (単位:mm)



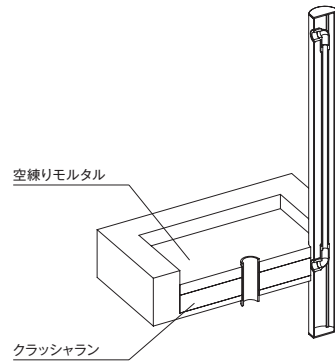
■ 施工手順

GLとツラ位置で、埋め込んで施工する場合の施工方法となります。  
お好みで埋め込み深さを浅くする場合は、希望する埋め込み深さに合わせて寸法の調整を行って下さい。

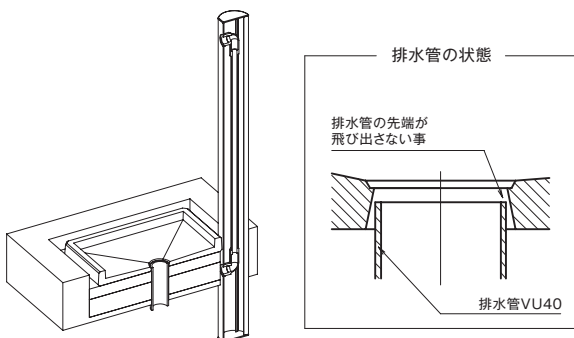
- 1 パンの大きさより周囲100mm大きく、120mmの深さで床掘し、充分に転圧します。このとき排水管(塩ビパイプVU40。現場調達品)をパンの穴位置にあわせ埋設しておきます。排水管の上端はGLより30mm低くして下さい。また、水栓柱の給水管と干渉しないよう、排水パイプの位置を検討して下さい。



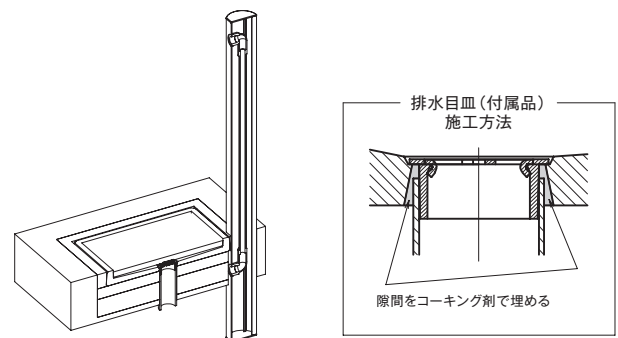
- 2 クラッシュランを50mm敷設し転圧した後、その上に空練りモルタルを30mm敷設します。



- 3 パンをセットし、パンの高さを調整します。この時、排水管が飛び出さないようにします。飛び出した場合、適切な高さへ切断、または空練りモルタルで高さを調整し、問題の無い事を確認してから、パンの周囲を埋め戻して下さい。



- 4 排水管とパンの隙間をシリコン系コーキング剤で充填し、排水金具を差込みます。水はね防止マットをセットし、完成です。



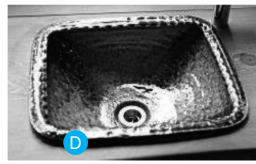
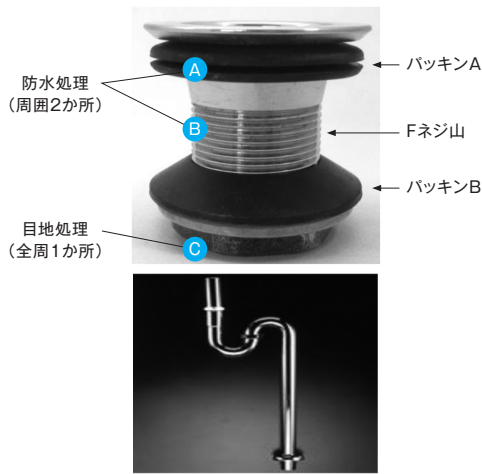
## 【手洗い鉢の施工要領】

### ■ 手洗い鉢、ボウル排水金具取り付け手順

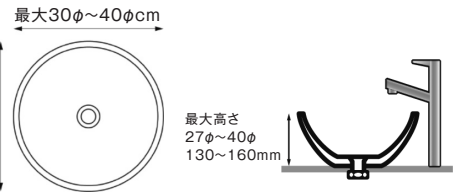
- 丸鉢排水栓、パイプ径25mm使用
- 手洗い鉢の排水金具は仮取り付けをした状態です。
- ①取り付ける手洗い鉢に排水金具を仮付けし、排水金具との相性を検証します。  
(出荷時に確認済みですが再確認。)
- ②排水金具を取り外しAとB2か所に防水処理材を塗布します。  
\*防水処理材例  
(TOTOなどPシール、市販のシリコンコーキング材)
- ③もう一度排水金具を取り付け、6角ナットをしっかりと本締めします。  
\*この場合事前にFのネジ山にシリコン材を塗布して防水処理を行って下さい。
- ④最後にCの箇所にメジ処理を施し手締めて取り付けます。  
\*メジ処理材例(TOTOなどPシール、市販のシリコンコーキング材)

### 【補足事項】

- 上記方法を怠りますと水漏れする可能性が格段上がります。
- ①相性の調整、「パッキンA」を切って調整するか、取り外してPシールやシリコンコーキング材などで防水処理を行って下さい。尚、「パッキンB」は絶対外さないで下さい。

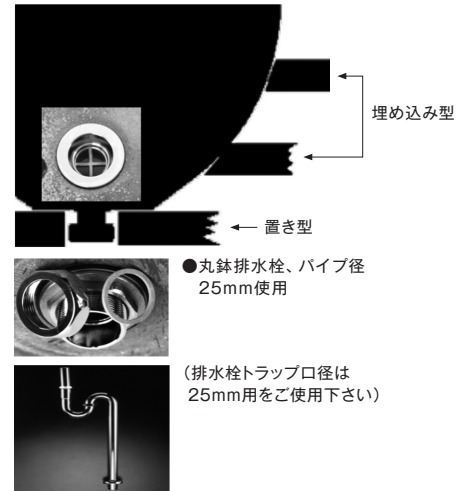


\*手洗い鉢と設置されたカウンターなどのD隙間に防水処理材にて防水処理をして下さい。水漏れする可能性があります。



### 手洗い鉢、置き型と埋め込み型図解

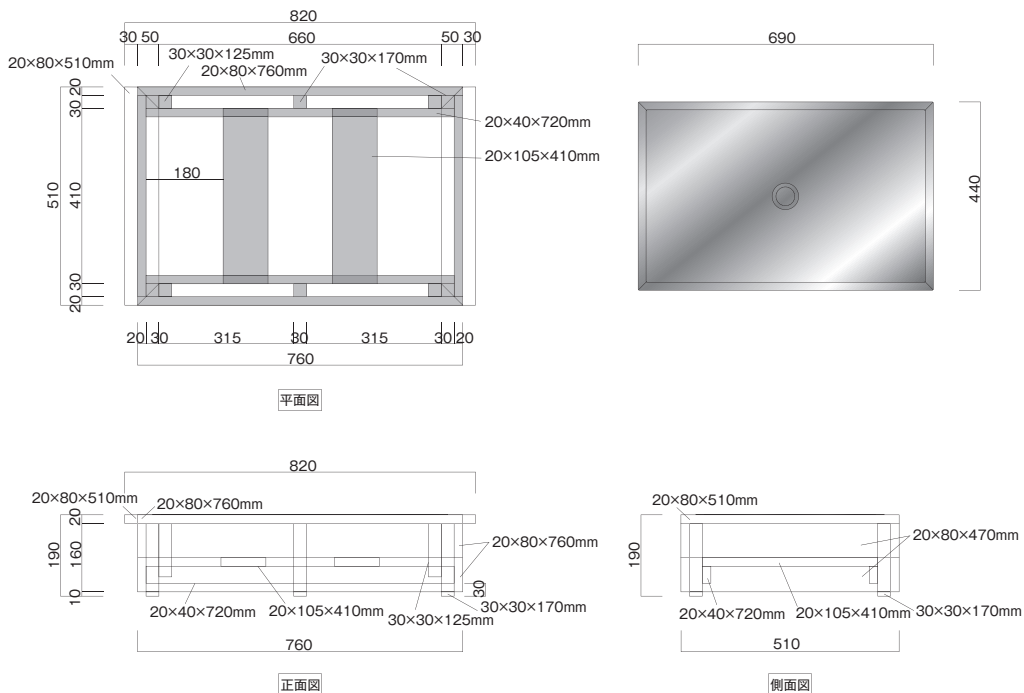
下記図解の様に、各高さにより洗面台やカウンターに設置施工して下さい。手洗い鉢現物の型紙を作成し、はめこみ施工して下さい。



\*取り付けに困られた場合、販売店にご相談下さい。

(株)三栄水栓製作所 推奨立水栓 【撮影使用Y50750H-2T-13】  
K4750NV-2T-13 シングルワンホール洗面混合栓 K4750NK-2T-13 シングルワンホール洗面混合栓 寒冷地用  
Y50750H-2T-13 立水栓 Y5075H-2T-13 立水栓 \*止水栓との接続にT190-13X300ベンリーフレキを使用

## 【ドッグウォッシュパンの寸法図】

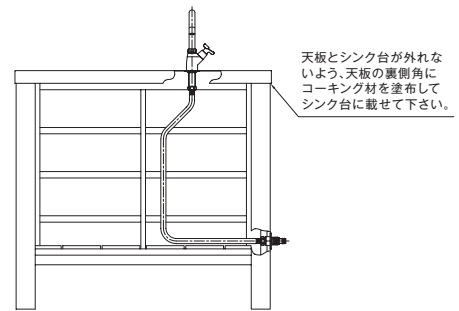


## 【シンク(角パンタイプ、丸パンタイプ)】

### ■ 行っていただきたい事項

- 最初に、シンク台を組み立てて下さい。(組立詳細は、商品に同梱されている「取扱説明書 シンク台」を参照下さい。)
- 天板・シンクの取付け
  - ①立水栓を、シンク天板に取付けて下さい。(蛇口ハンドルが廻し易い位置に来るようにして下さい。)
  - ②水道用フレキパイプを、立水栓に取付けて下さい。(パッキンは必ず入れて下さい。)
  - ③排水トラップを、シンク天板に取り付けて下さい。
  - ④排水ホースを、排水トラップに取付けて下さい。
  - ⑤ユニット取出し金具を、付属のねじを使用しシンク台に取付けて下さい。
  - ⑥シンク天板を、シンク台に載せます。  
\*この時、天板とシンク台が風等で外れないよう、天板の裏側角にコーキング材を塗布してシンク台に載せて下さい。  
\*また水道用フレキパイプが、シンク台底板に当たらないよう、事前に右図のように曲げておくと、水道用フレキパイプをユニット取出し金具に接続する際、容易に接続できます。
  - ⑦水道用フレキパイプを、ユニット取出し金具に接続して下さい。(パッキンは必ず入れて下さい。)
  - ⑧排水ホースを、シンク台底板に設けられているφ35の穴に通して下さい。
  - ⑨配管組立後は、必ず水漏れの無い事を確認して下さい。
  - ⑩必要に応じ、配管内の水洗(フラッシング)を行って下さい。

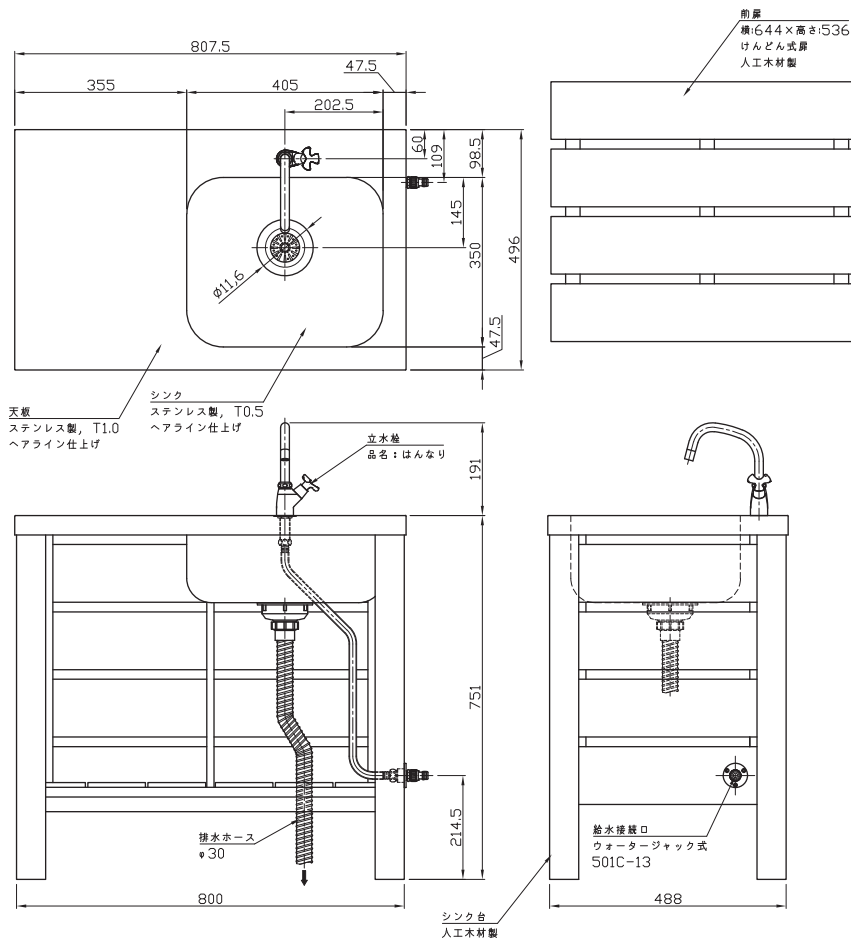
参考例:水道用フレキパイプ曲げ



### ■ 施工

本製品の取付工事、給排水工事は、指定工事店にご依頼下さい。

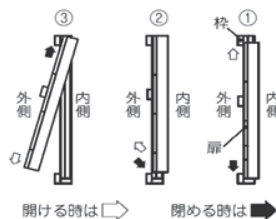
### ■ 仕上がり外形



### けんどん式扉の開閉について

#### けんどん式扉の開け方

- ①扉を上の方に少し持ち上げます。
  - ②扉下方を外側に引き出します。
  - ③下方に扉を引き抜きます。
- 閉め方は開ける時の逆動作になります。





# シンク

## 【ガーデンシンク1型】

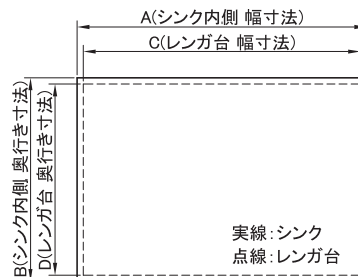
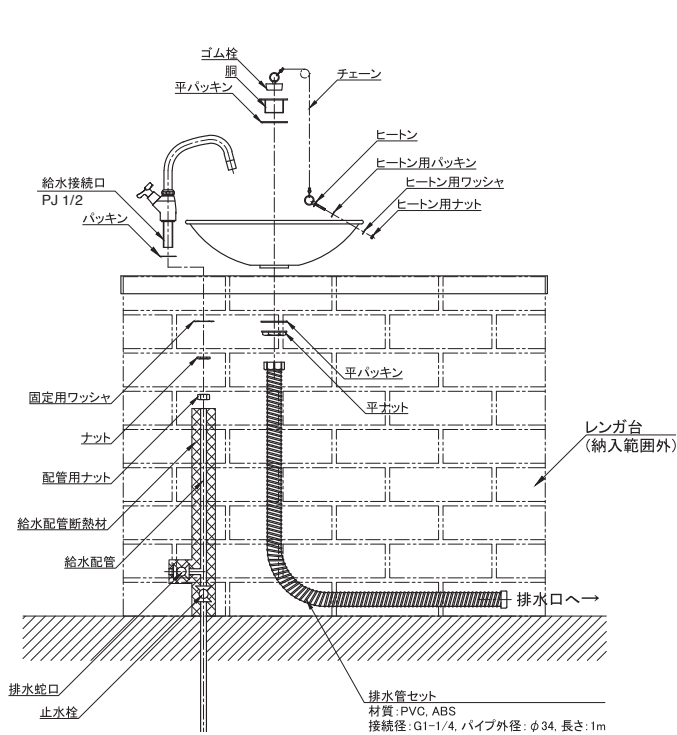
### ■ 行っていただきたい事項

- 1.製品を乗せるレンガ台の寸法は右表を参照下さい。
- 2.製品の組み立ては、参考組立図を参照下さい。
- 3.接続部は、シールトープ等(別途購入品)を使用し、水漏れ無きよう施工下さい。
- 4.施工後は必ず水漏れ検査を実施し、水漏れの無い事をご確認下さい。
- 5.通水確認後、管内の異物や汚れ除去のため、必ず水洗(フラッシング)を十分(水勢/水量/時間)行って下さい。

表:参考レンガ台寸法(mm)

品番	シンク内側寸法 (幅×奥行き) A×B	レンガ台寸法 (幅×奥行き) C×D
705	957×597	950×590
706	717×477	710×470

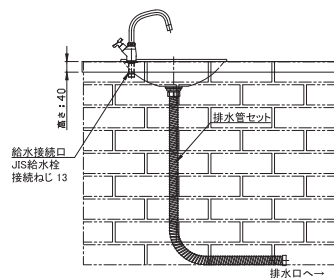
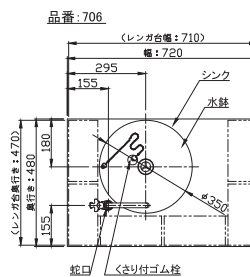
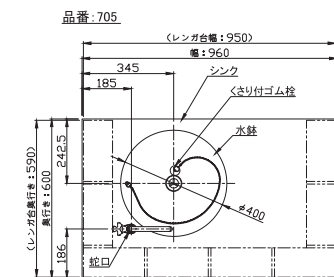
### ■ 参考組立図



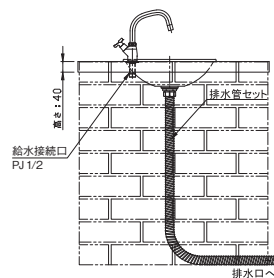
### ■ 施工

本製品の取付工事/排水工事は、指定工事店にご依頼下さい。

### ■ 仕上がり外形



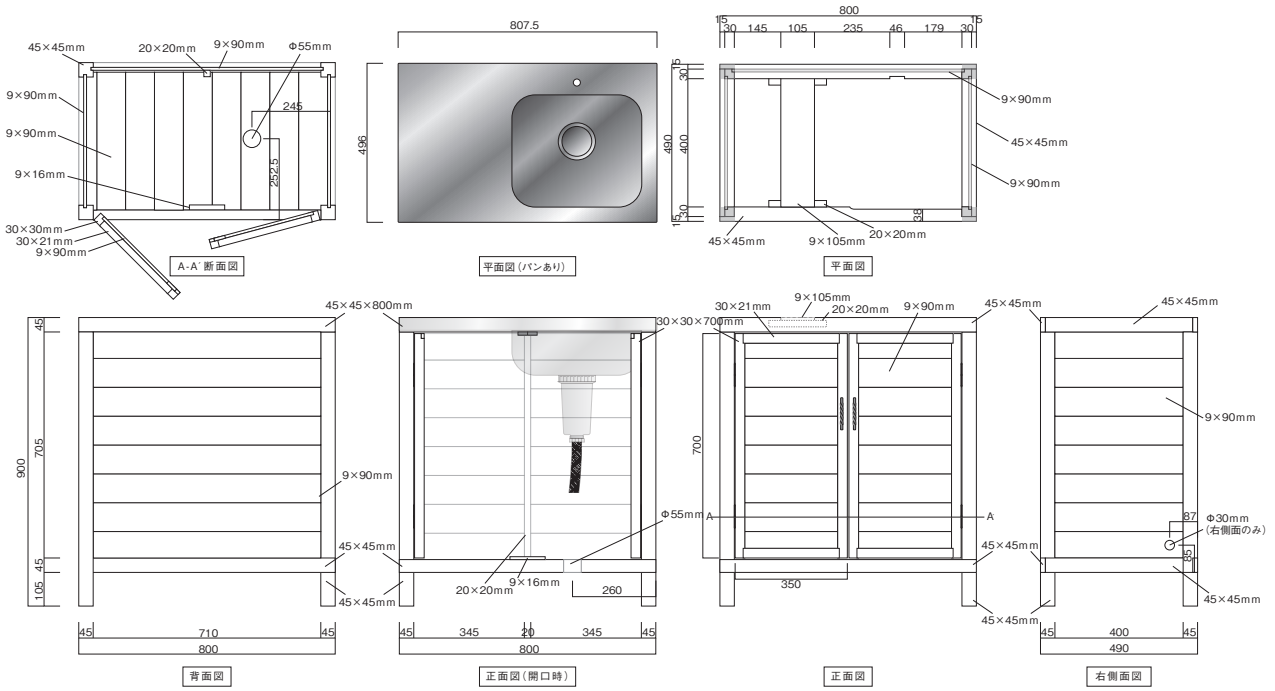
- ・シンク  
ステンレス製、ヘアライン仕上げ、板厚:1.5mm
- ・水鉢  
ステンレス製、ヘアライン仕上げ、板厚:1.2mm
- ・蛇口  
品番:721-215-13、品名:立水栓、泡沫吐水
- ・排水管セット  
材質:PVC/ABS、接続径:G1-1/4、パイプ:φ34/長さ1m



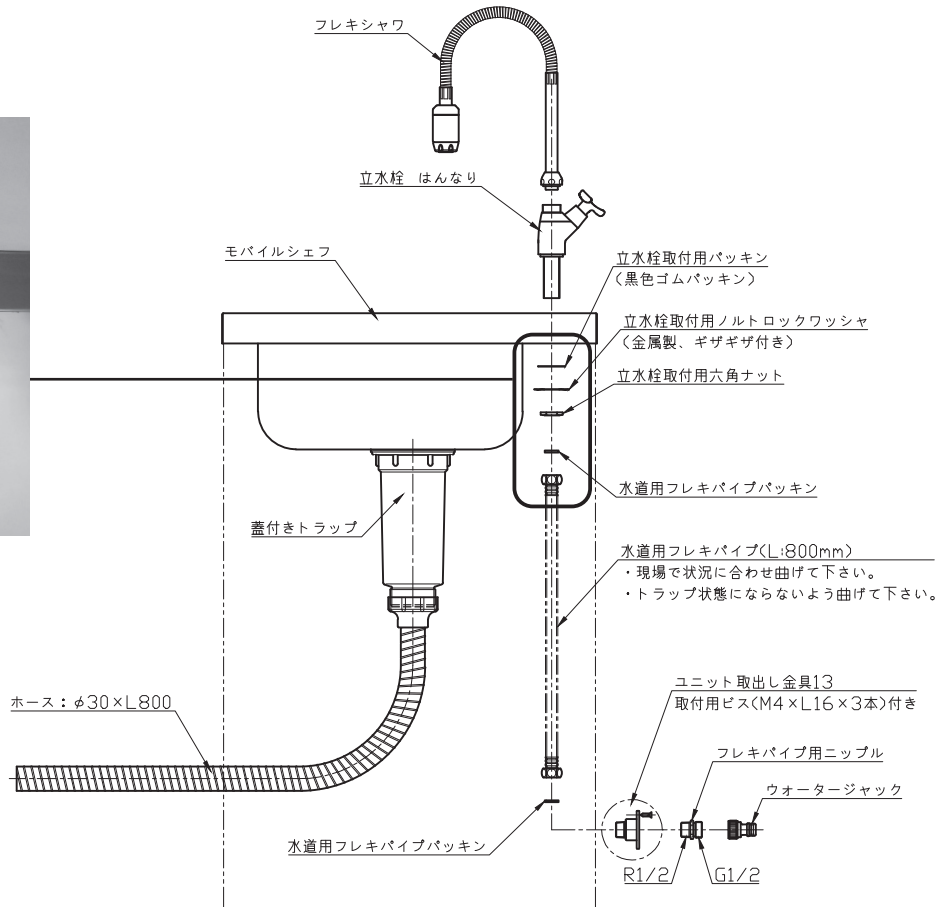
- ・シンク  
ステンレス製、ヘアライン仕上げ、板厚:1.5mm
- ・水鉢  
ステンレス製、ヘアライン仕上げ、板厚:1.2mm
- ・蛇口  
品番:721-215-13、品名:立水栓、泡沫吐水
- ・排水管セット  
材質:PVC/ABS、接続径:G1-1/4、パイプ:φ34/長さ1m

【モバイルシンク】

■ 寸法図



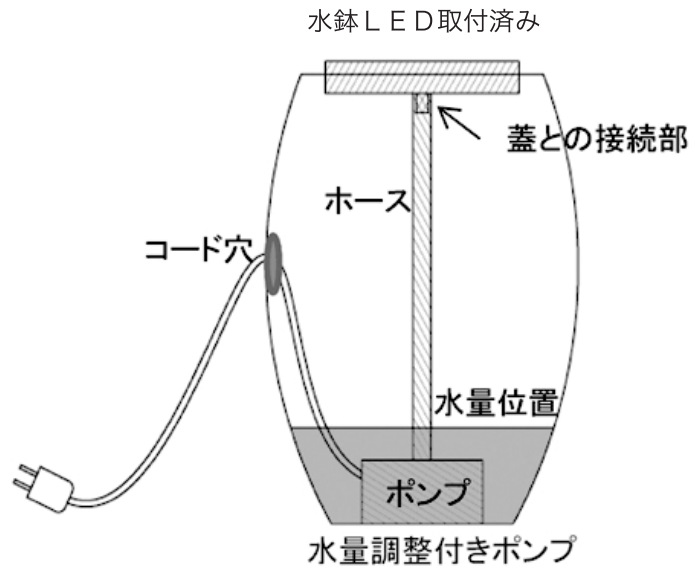
内部接続状況



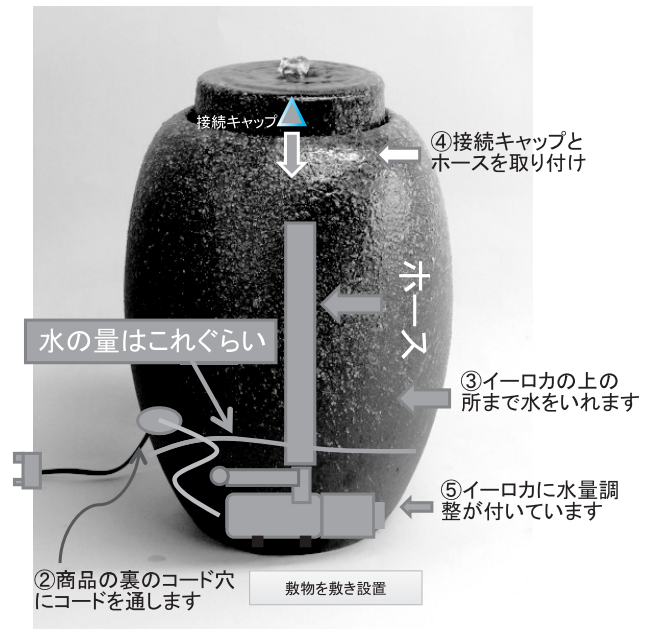
# 水琴窟（信楽焼）

## 【光の琴音・琴音B】

■信楽焼重蔵窯が物販型開発に成功した水琴窟構造略図



- ①水琴窟本体を設置する。
- ②水中ポンプフィルター<イーロカ>を本体底部に置き、商品の裏の穴にコードを通します。  
\*ホースが長い場合はポンプが傾く事がございますが支障ございません。
- ③水琴窟本体に<イーロカ>上部が隠れる所まで水を入れて下さい。
- ④水琴窟の蓋裏部に接続キャップとホースを取り付けて下さい。
- ⑤電源を入れて下さい。  
(水の勢いが強い場合は、<イーロカ>にて水量調整して下さい)



### <注意事項>

設置の際には以下の点にご注意下さい

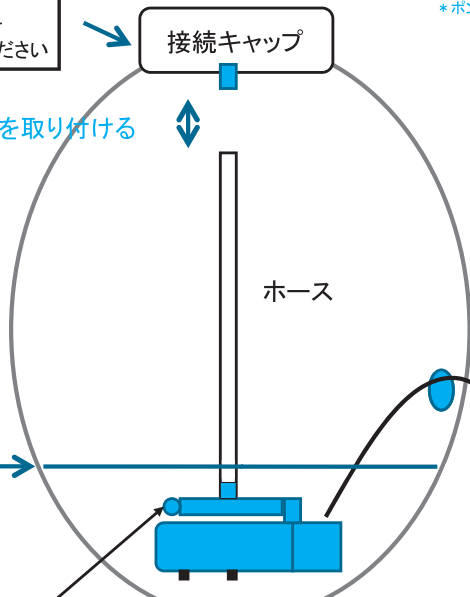
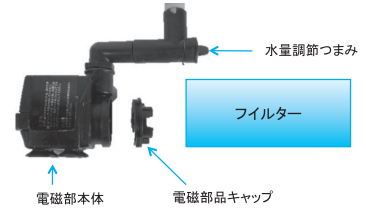
- \*セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。(感電の原因になります)
- \*<イーロカポンプ>電源部に水などがかからないようにして下さい。
- \*水はねなど周辺に水が飛び散る場合がございます。飛び散る場合水量調節にて水量を小さくして下さい。
- \*②ポンプのコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。
- \*応急処置、穴をテープなどでふさぐ。(コードを穴の上部位置に)
- \*屋外で使用した場合、雨水により感電の原因、コード穴まで雨水が入り込み反響音が変わる原因になります。
- \*ポンプは購入店から購入できます。
- \*不具合が生じた場合購入店にご相談下さい。
- \*設置の時、水琴窟本体の下に敷物を敷き設置して下さい。直接設置すると床、畳などに傷、変色(拭きすすれ水、日当たりによる色落ち)する原因になります。
- \*設置場所に似合うデザインの受け皿を設置することをお勧めいたします。(素材例、プラスチック、ガラス、石)

【信楽焼・琴音ボール】

水量が少ない場合ポンプが機能出来ず水が回転しない時その時は蓋部上部からコップにて水を注いでポンプに力を与えてください

接続キャップとホースを取り付ける

注意  
\*ポンプ清掃時、電磁部品キャップを電磁部本体に取り付けてください。



穴にコードを通す。

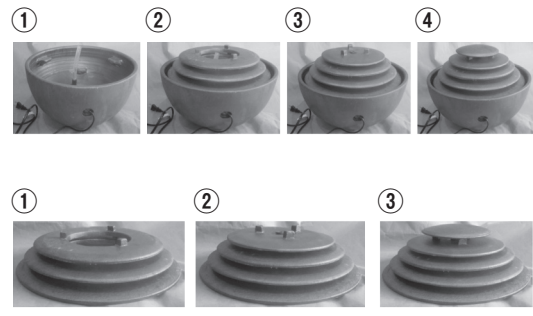
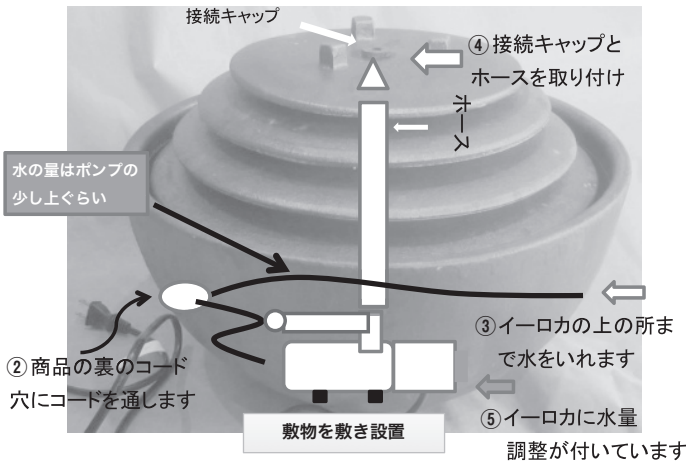
\*ポンプコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。  
\*応急処置、穴をテープなどでふさぐ。(コードを穴の上部位置に)

モーターが隠れるほどの水量

ポンプ設置位置

先端のつまみを左右に回して水量調節を行うことができます。(右側=大、左側=小)

水琴窟本体の下に敷物を敷き設置



- ① 琴音ボール本体を設置する。
- ② 水中ポンプフィルター<イーロカ>を本体底部に置き、商品の裏の穴にコードを通します。  
\*ホースが長い場合はポンプが傾く事がございますが支障ございません。
- ③ 琴音ボール本体に<イーロカ>上部が隠れる所まで水を入れて下さい。
- ④ 琴音ボールの蓋裏部に接続キャップとホースを取り付けて下さい。
- ⑤ 電源を入れて下さい。(水の勢いが強い場合は、<イーロカ>にて水量調整をして下さい)

<注意事項>

設置の際には以下の点にご注意下さい

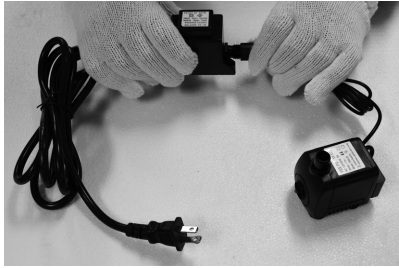
- \*セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。(感電の原因になります)
- \* <イーロカポンプ>電源部に水などがつかないようにして下さい。
- \*水はねなど周辺に水が飛び散る場合がございます。
- \*設置の時、琴音ボール本体の下に敷物を敷き設置して下さい。
- \*直接設置すると床、畳などに傷、変色(拭きすすれ水、日当たりによる色落ち)の原因になります。
- \*設置場所に似合うデザインを受け皿を設置することをお勧めいたします。(素材例、プラスチック、ガラス、石)
- \*ポンプのコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。
- \*応急処置、穴をテープなどでふさぐ。(コードを穴の上部位置に)
- \*屋外で使用した場合、雨水により感電の原因、コード穴まで雨水が入り込み反響音が変わる原因になります。
- \*ポンプは購入店から購入できます。
- \*不具合が生じた場合購入店にご相談下さい。

## 【カスケード 1型・2型・3型共通】



付属のポンプと本体の送水用ホースを接続して下さい。  
※カスケードから水があふれた場合でも、ポンプへの電気供給用コードに水がかからないようご注意ください。

## 【電源コードとポンプ】



電源コードとポンプの接続  
差し込んだ後、しっかり締め込んで下さい。



ポンプとホースの接続  
根元までしっかり差し込んで下さい。

## 【カスケード 2型】



1  
本体の切り欠きは、ポンプの電源コードを外へ出すためのものです。



2  
1段目の切り欠きがある方に2段目を重ねて下さい。水の落ちる所が1段目の中央部分になるよう、重ね位置を調整して下さい。



3  
重なり部分に隙間ができる場合には、パッキンなどで調整して下さい。重なり部分は、必要に応じて両面テープなどで補強して下さい。

## 【カスケード 3型】



1  
本体の切り欠きは、ポンプの電源コードを外へ出すためのものです。



2  
1段目の切り欠きがある方に2段目を重ねて下さい。2段目は、底面部分に付属の支柱(添付画像では見えない)を使用し補強して下さい。柱の間は、パッキンなどで調整して下さい。



3  
2段目の端部に合わせて3段目を重ねて下さい。



4  
重なり部分に隙間ができる場合には、パッキンなどで調整して下さい。重なり部分は、必要に応じて両面テープなどで補強して下さい。

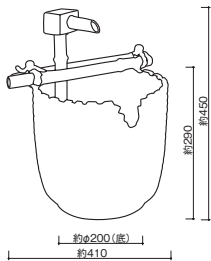


ポンプの水量調整  
「+」の方向へ回すと水量が強くなります。「-」の方向へ回すと水量が弱くなります。

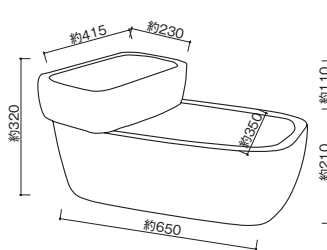


ポンプの底面  
ゴミ等が詰まるため故障の原因になりますので定期的に掃除をして下さい。

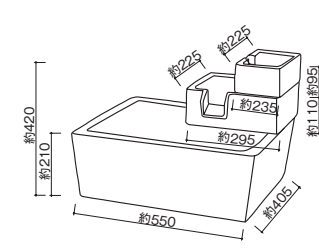
## ■寸法図



M9481  
410×310×450mm ※焼き物のため誤差が生じます。

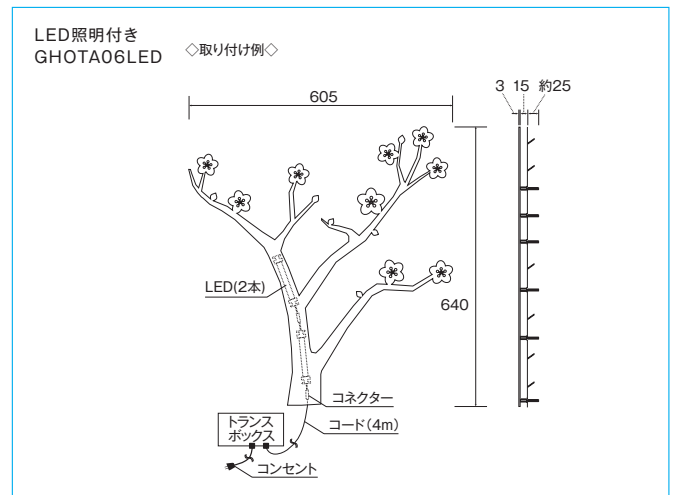
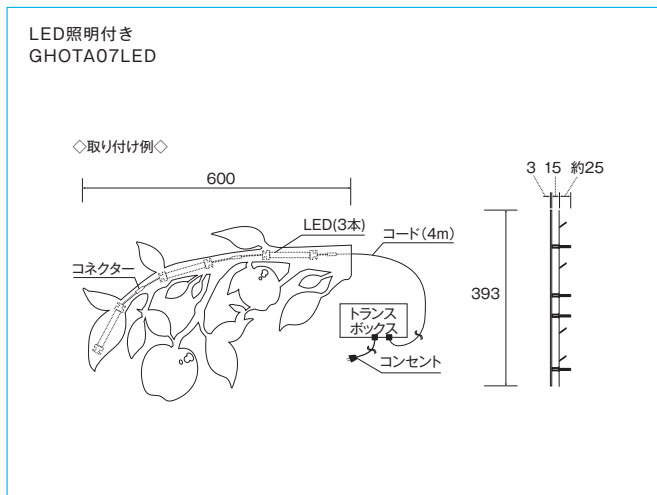
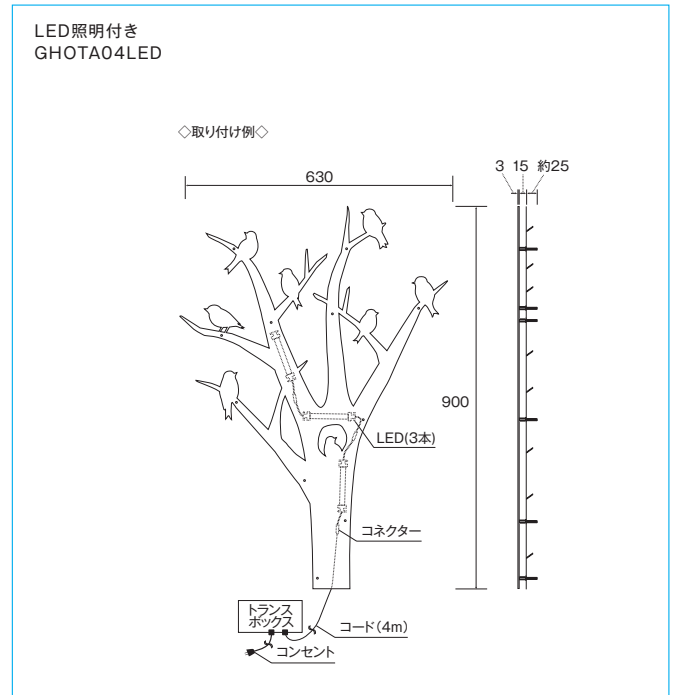
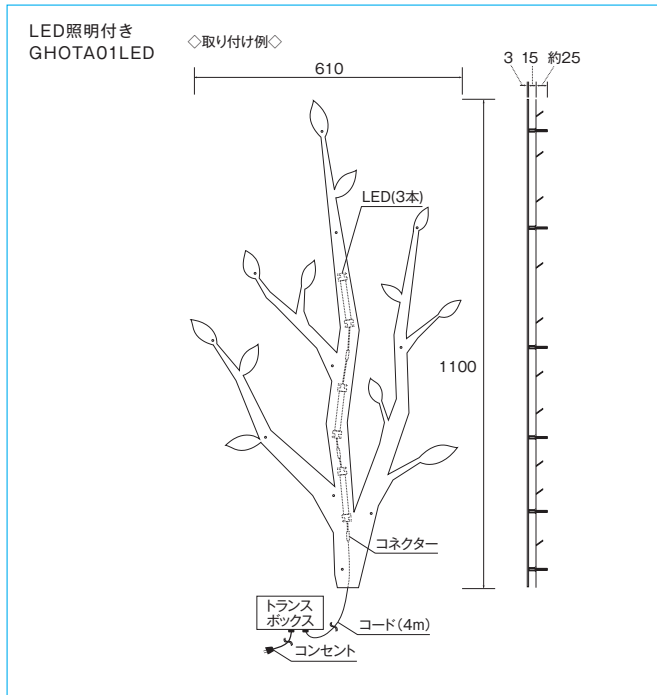


M9482  
650×350×320mm ※焼き物のため誤差が生じます。



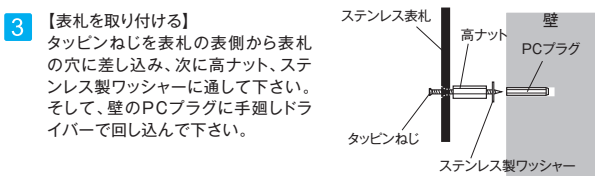
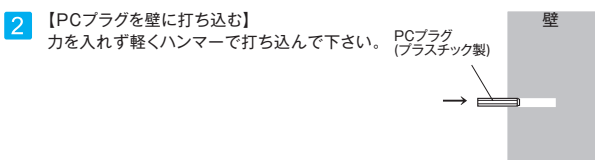
M9483  
550×420×390mm ※焼き物のため誤差が生じます。

## 【ツリーアートの寸法図】



## 【ツリーアートの施工要領】

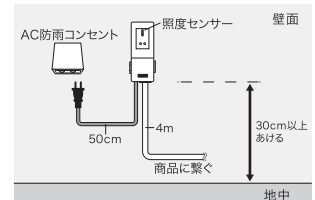
**1 【壁に下穴をあける】**  
電動(振動)ドリルで直径7mm、深さ25mm強の穴を開けて下さい。  
穴の中に残った削りくずは掃除機などで取り除いて下さい。



## 【取り付け前のご注意】 下記の条件で設置場所を決めて下さい。

**屋外での電源の供給には、必ずAC防雨コンセントを使用して下さい**

- 直射日光が当たらない、風通しの良い場所に設置して下さい。
- この商品には、センサー機能がついています。  
照度センサーに自然光が入るよう、本体を取り付けて下さい。
- トランス本体正面に、ライトを設置しないで下さい。ライトが点滅する原因となります。
- 地面から最低30cm以上で、軒下など雨の直接かからない壁面へ取り付けして下さい。
- カバーの開閉のスペースを考慮して下さい。
- 以下の場所には設置しないで下さい。
  - 昼間でも暗いところ → 接続したライトが日中から点灯し、消灯しない場合があります。
  - 夜間でも明るいところ → 接続したライトが点灯しない場合があります。
  - 車のヘッドライトや照明の光が、照度センサーに直接当たる場所  
→ 照度センサーが反応し、設定した点灯時間通りの動作をしない場合があります。
- この商品は、防雨型・壁面取付専用です。  
「天井面」「据置き」  
「本体より小さい取付面」  
「補強のない薄い場所」「傾斜面」、  
以上のような取り付けの場合、  
火災・感電・落下の原因となります。



## 【MARU (マル) の寸法図】

MAS-13602

Technical drawing of MAS-13602 showing front, side, and top views. Dimensions include a diameter of 115mm, a height of 130mm, and a total width of 158mm. Labels include 'LED', '水抜き穴', 'アース線', '2-5x10 取付用穴', and 'φ20 電源用穴'.

5	グローブ	ガラス	1	乳半マット
4	セード	アルミ	1	各色塗装
3	アーム	アルミ	1	各色塗装
2	フランジ	アルミ	1	各色塗装
1	ベースパッキン	EPT スポンジ	1	黒
品番	品名	材質	数量	摘要

## 【SANKAKU (サンカク) の寸法図】

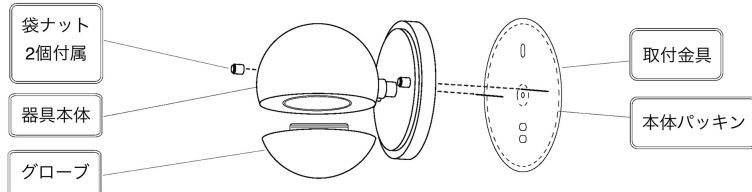
MAS-13603

Technical drawing of MAS-13603 showing front, side, and top views. Dimensions include a diameter of 150mm, a height of 133mm, and a total width of 181mm. Labels include 'LED', '水抜き穴', 'アース線', '2-5x10 取付用穴', and 'φ20 電源用穴'.

6	グローブ	ガラス	1	乳半マット
5	セード	アルミ	1	各色塗装
4	アーム	アルミ	1	各色塗装
3	化粧プレート	アルミ	1	各色塗装
2	フランジ	アルミ	1	各色塗装
1	ベースパッキン	EPT スポンジ	1	黒
品番	品名	材質	数量	摘要

## 【MARU (マル) / SANKAKU (サンカク) の施工要領】

### 各部名称と取付方法



#### 1. 取付け前の確認

- 器具重量(カタログ記載値)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
- 不備がありますと器具落下の原因となります。

#### 2. 本体パッキンを取付ける

- 取付面をシール剤等で凹凸のないようフラットに仕上げ、切り欠きが下方向になるよう本体パッキンを取付けて、取付面と本体パッキンのら水が入らないよう防水処理してください。
- 不備がありますと火災・感電の原因となります。

#### 3. 取付金具を取付ける

- 本体パッキンの溝に取付金具をはめ込み、取付金具から突き出している2本のネジが水平になるよう角度を調整して取付金具を固定します。
- 不備がありますと火災・感電・器具落下の原因となります。

#### 4. 口出線を電源線に接続する

- 口出線との接続は確実にを行い、防水テープ等でジョイント部を保護してください。アース線を利用してD種(第3種)接地工事を行ってください。
- 接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

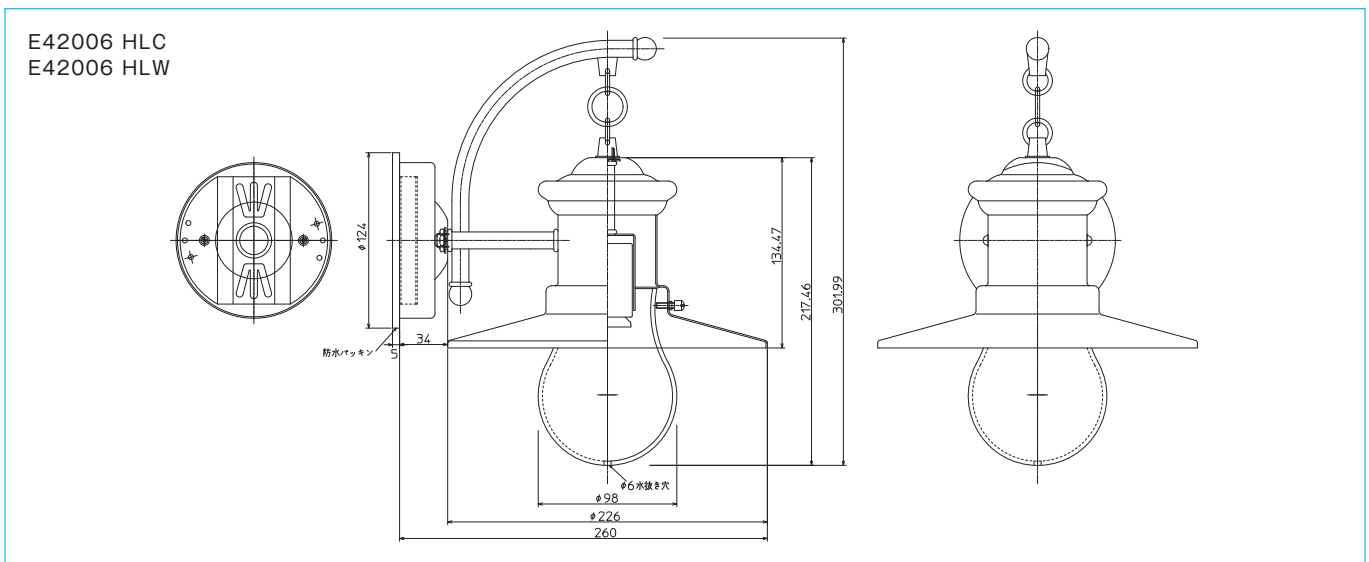
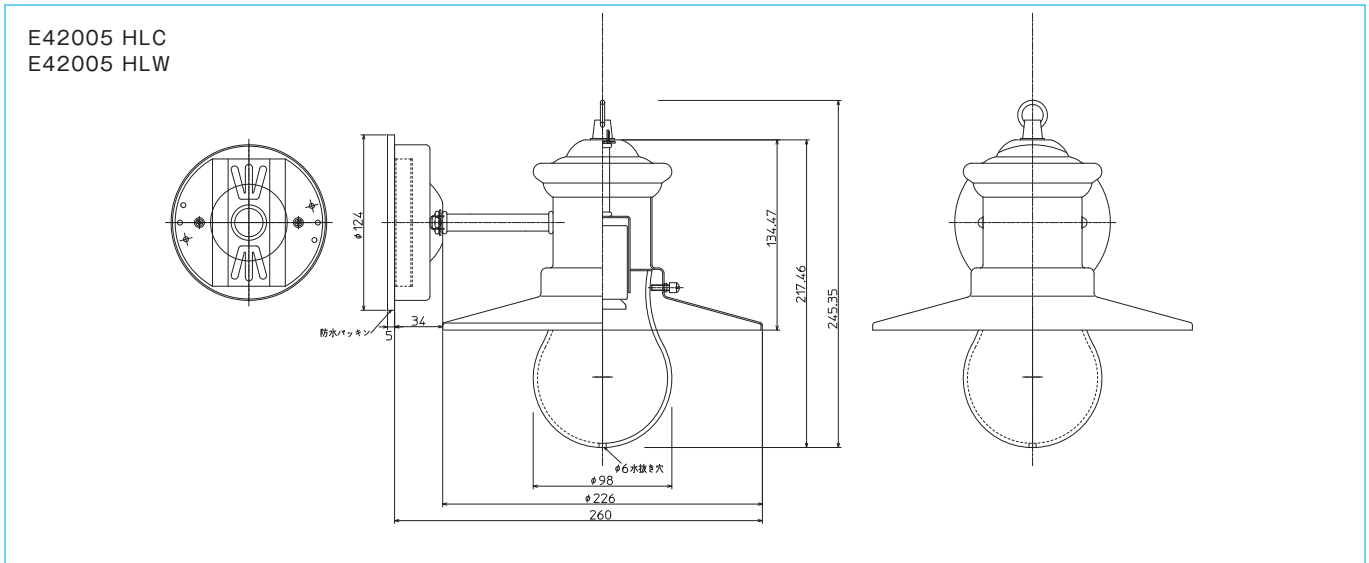
#### 5. 器具本体を取付ける

- 器具本体に取付金具のネジ(2本)を通し、袋ナット(2個)で確実に固定します。
- 取付が不完全な場合、浸水による感電・器具落下の原因となります。

#### 6. グローブを器具本体に取付ける

- 器具本体にねじ込んで確実に固定します。グローブ部はガラス製ですので落下や堅いものとの接触による破損に十分ご注意ください。

## 【MARITIME (マリタイム) の寸法図】

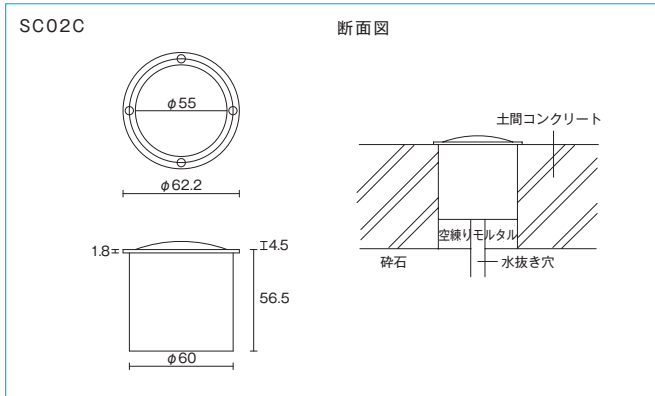


## 【MARITIME (マリタイム) の施工要領】

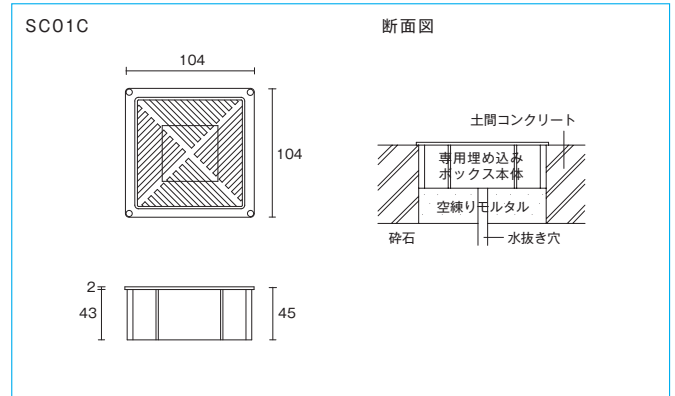
各部名称と 取付方法	
	<ol style="list-style-type: none"> <li> <b>1. 取付け前の確認</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 器具重量(カタログ記載値)に十分耐えるよう、取付部の強度を確認してください。 不備がありますと器具落下の原因となります。</li> </ul> </li> <li> <b>2. 本体パッキンを取付ける</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付面をシール剤等で凹凸のないようフラットに仕上げ、切り欠きが下方向になるよう本体パッキンを取付けて、取付面と本体パッキンのら水が入らないよう防水処理してください。 不備がありますと火災・感電の原因となります。</li> </ul> </li> <li> <b>3. 取付金具を取付ける</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体パッキンの溝に取付金具をはめ込み、取付金具から突き出している2本のネジが水平になるよう角度を調整して取付金具を固定します。 不備がありますと火災・感電・器具落下の原因となります。</li> </ul> </li> <li> <b>4. 口出線を電源線に接続する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 口出線との接続は確実に行い、防水テープ等でジョイント部を保護してください。アース線を利用してD種(第3種)接地工事を行ってください。 接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。</li> </ul> </li> <li> <b>5. 器具本体を取付ける</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 器具本体に取付金具のネジ(2本)を通し、袋ナット(2個)で確実に固定します。 取付が不完全な場合、浸水による感電・器具落下の原因となります。</li> </ul> </li> </ol>



## 【ソーラーサークル】



## 【ソーラーキューブ】



# 信楽焼門灯（あかり）

### ■ 設置方法

- 1 A照明器具を設置
- 2 本体陶器カバーを照明器にかぶせて完成



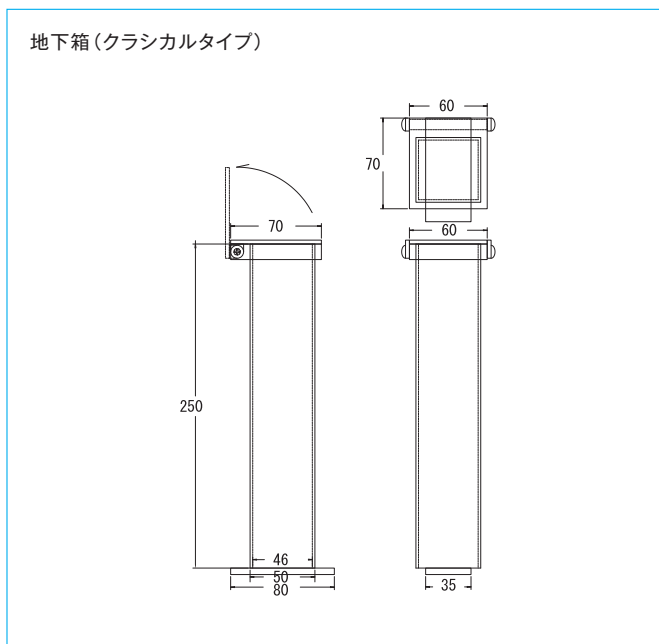
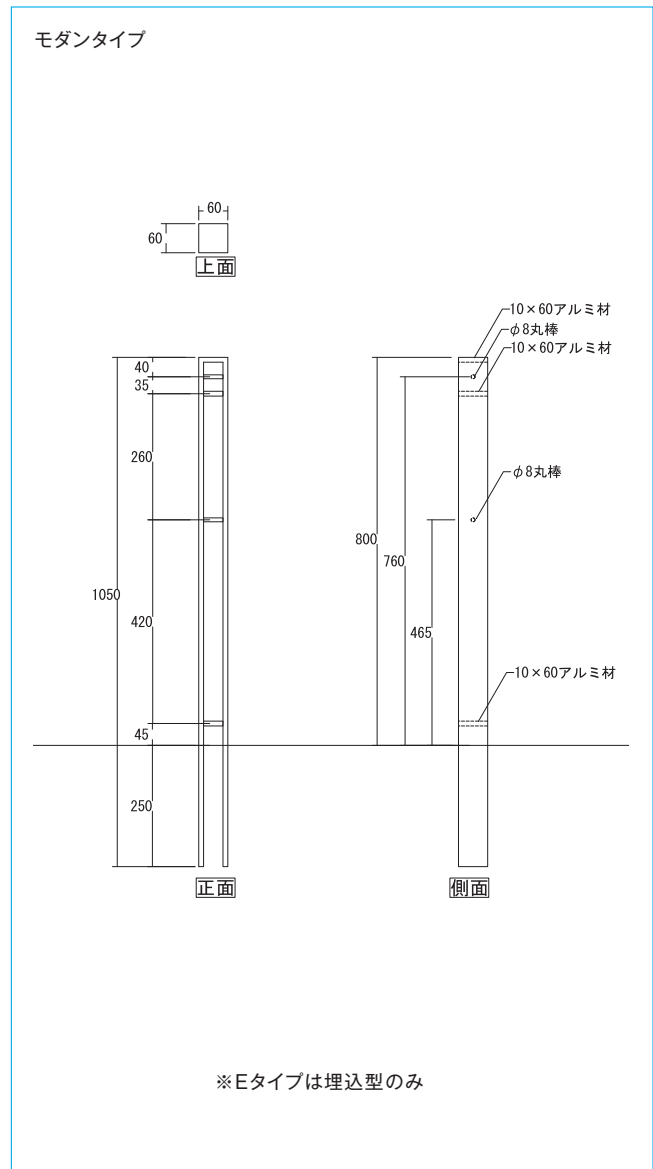
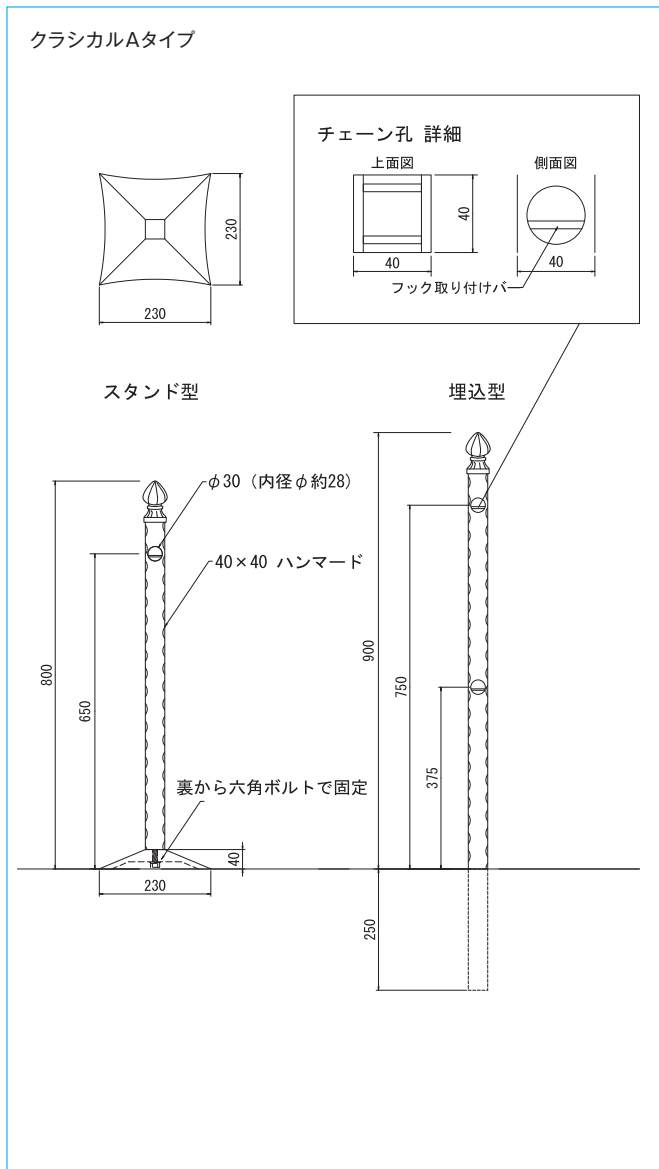
### ■ 注意

設置の際には以下の点にご注意下さい。

- この器具は防雨型です。浴室、サウナ風呂、高湿多湿の場所では使用できません。
- この器具は直置き型です。不安定な場所には設置されないようにお願いいたします。
- 器具を改造したり、部品を追加、変更して使用しないで下さい。
- 器具、本体の隙間や放熱穴などに金属類を差し込まないで下さい、又ふさがないで下さい。
- 器具は高温のため触らないで下さい。
- 照明を布などで覆って使用しないで下さい。
- 表示された電圧以外で使用しないで下さい。
- 異常を感じた場合は早急に電源を切って下さい。
- 温度の高くなる場所近くの取り付けはしないで下さい。

\*セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。  
(感電の原因になります)

\*コードの引っ張りすぎに注意、転倒原因になります。



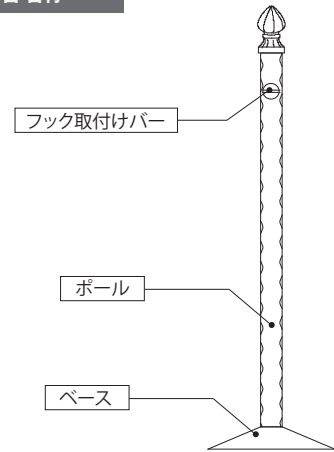
# ボーダーラインポール

【スタンド型】

## 注意事項

- ① 用途以外に使用しないで下さい。事故や怪我の原因になります。
- ② 水平で安定した場所に設置して下さい。不安定な場所で使用されますと製品が転倒し怪我や破損の原因になります。
- ③ 階段には使用しないでください。製品が転倒し怪我や破損の原因になります。
- ④ ポールとベースの接合はしっかりと固定した状態でご使用下さい。緩んだ状態で使用されますと怪我や破損の原因になります。
- ⑤ 異常を発見したまま使用しないで下さい。
- ⑥ 落としたりぶつけないでください。怪我や破損の原因になります。
- ⑦ 寄りかかったり乗ったりしないで下さい。怪我や破損の原因になります。
- ⑧ 物を乗せたりしないで下さい。怪我や破損の原因になります。
- ⑨ 製品を持って振り回さないで下さい。怪我や破損、事故の原因になります。
- ⑩ 万一転倒しても、人や物にぶつからない場所に設置して下さい。

## 各名称



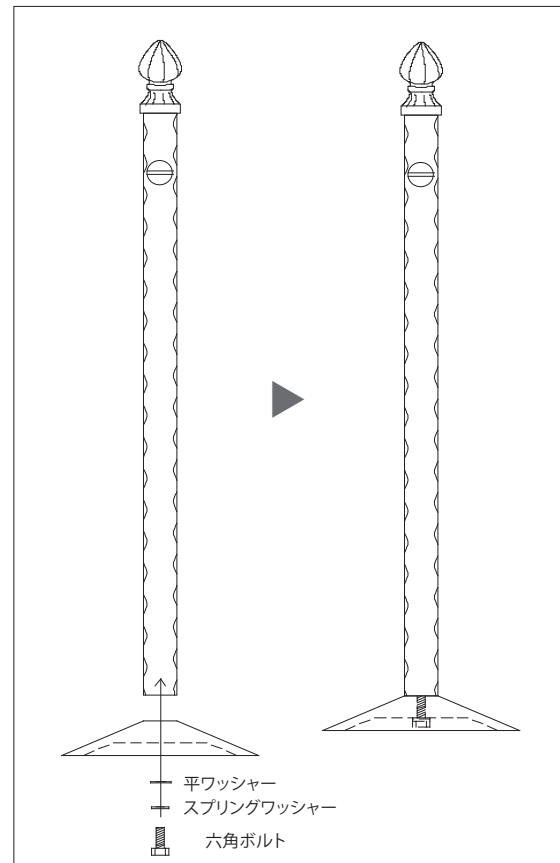
※イラストはAタイプです。

## 組立方法

- ① 右図を参考に、ベースの穴とポールの穴の位置及び、お互いの角を合わせて下さい。
- ② 右図を参考に、六角ボルトスプリングワッシャーと平ワッシャーを通し、ベース中央の穴に下から差し込んで下さい。
- ③ 六角レンチを使用して、六角ボルトを時計回転方向に回し、確実に締め付けて下さい。

## お手入れ方法

- ・簡単な汚れは毛羽のない柔らかい布で拭きとってください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を付けて汚れを拭き取り、洗剤が表面に残らないように水拭きした後、柔らかい布で乾拭きして下さい。



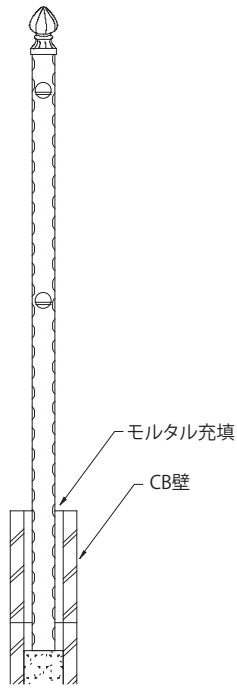
【埋込型】

注意事項

- ① 用途以外に使用しないで下さい。事故や怪我の原因になります。
  - ② 本製品に寄りかかったり、チェーンやロープ部分に座らないで下さい。
  - ③ チェーンやロープ部分に物を乗せたり、引っ掛けしないで下さい。
  - ④ 本製品の分解、修理、改造はしないでください。
  - ⑤ 軟弱地では、本製品を使用しないで下さい。
  - ⑥ 落としたりぶつけないでください。怪我や破損の原因になります。
- ※ 走行している車を物理的に止められる製品ではありません。  
また、それらの強度基準はございません。

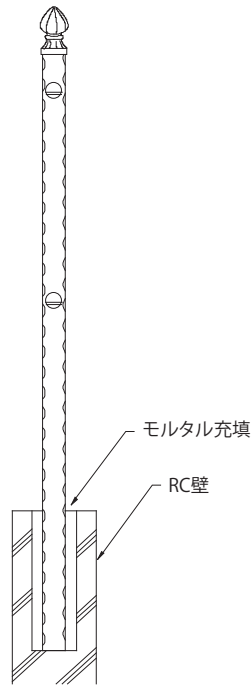
施工方法

コンクリートブロック (CB) 壁への設置



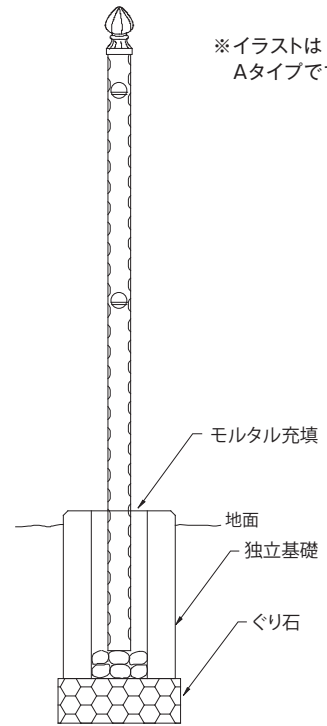
CBの穴に本製品を差し込み、高さ、垂直を十分に確認した上で、穴にモルタルを充填して固定してください。

鉄筋コンクリート (RC) 壁への設置



RC壁にコア抜きした穴に本製品を差し込み、高さ、垂直を十分に確認した上で、穴にモルタルを充填して固定してください。

独立基礎を用いた地面への設置



※イラストはAタイプです。

地面を掘り下げ、ぐり石の上に設置した独立基礎の穴に本製品を差し込み、高さ、垂直を十分に確認した上で、穴にモルタルを充填して固定して下さい。

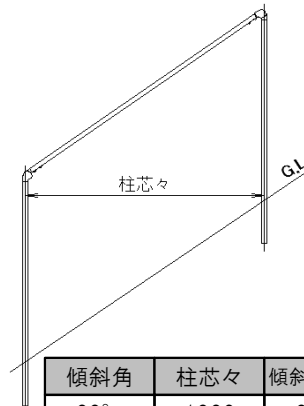
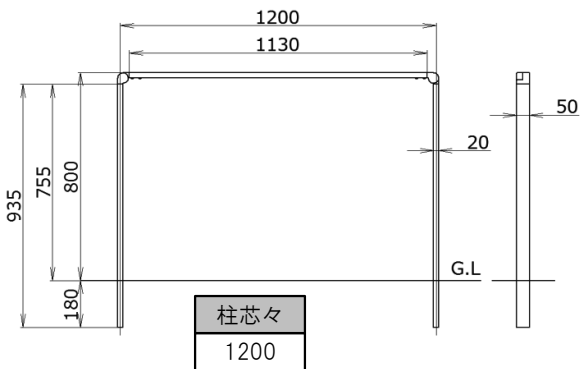
お手入れ方法

- ・簡単な汚れは毛羽のない柔らかい布で拭きとってください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を付けて汚れを拭き取り、洗剤が表面に残らないように水拭きした後、柔らかい布で乾拭きして下さい。

# アプローチ手すり

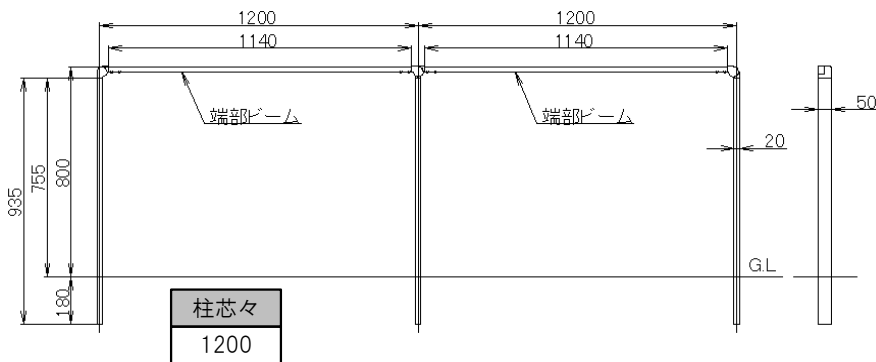
## 1 基本寸法

### 単独施工

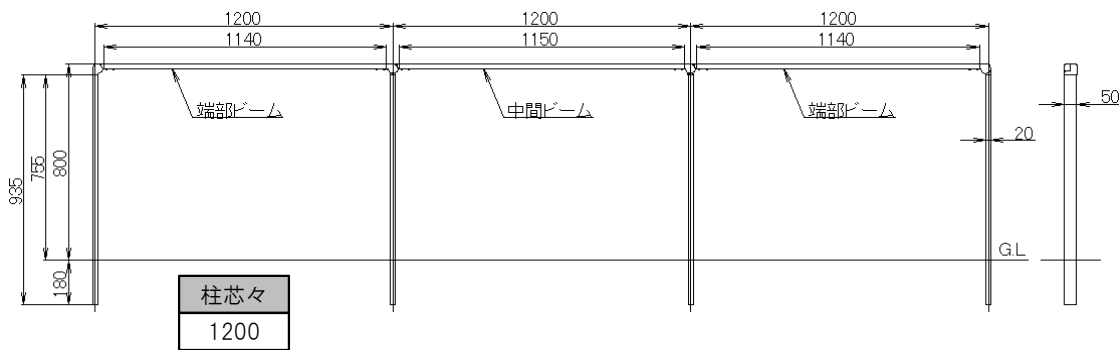


傾斜角	柱芯々	傾斜角最大	柱芯々
30°	1039	35°	987

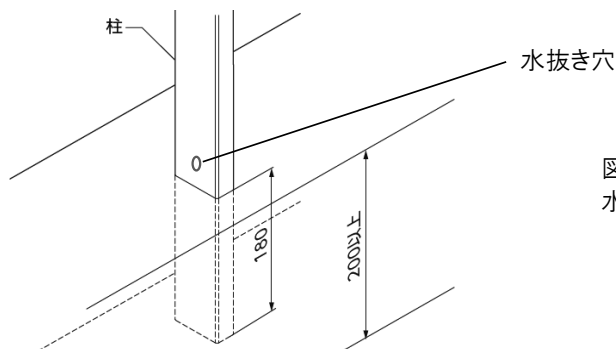
### 連続施工(2連)



### 連続施工(3連)

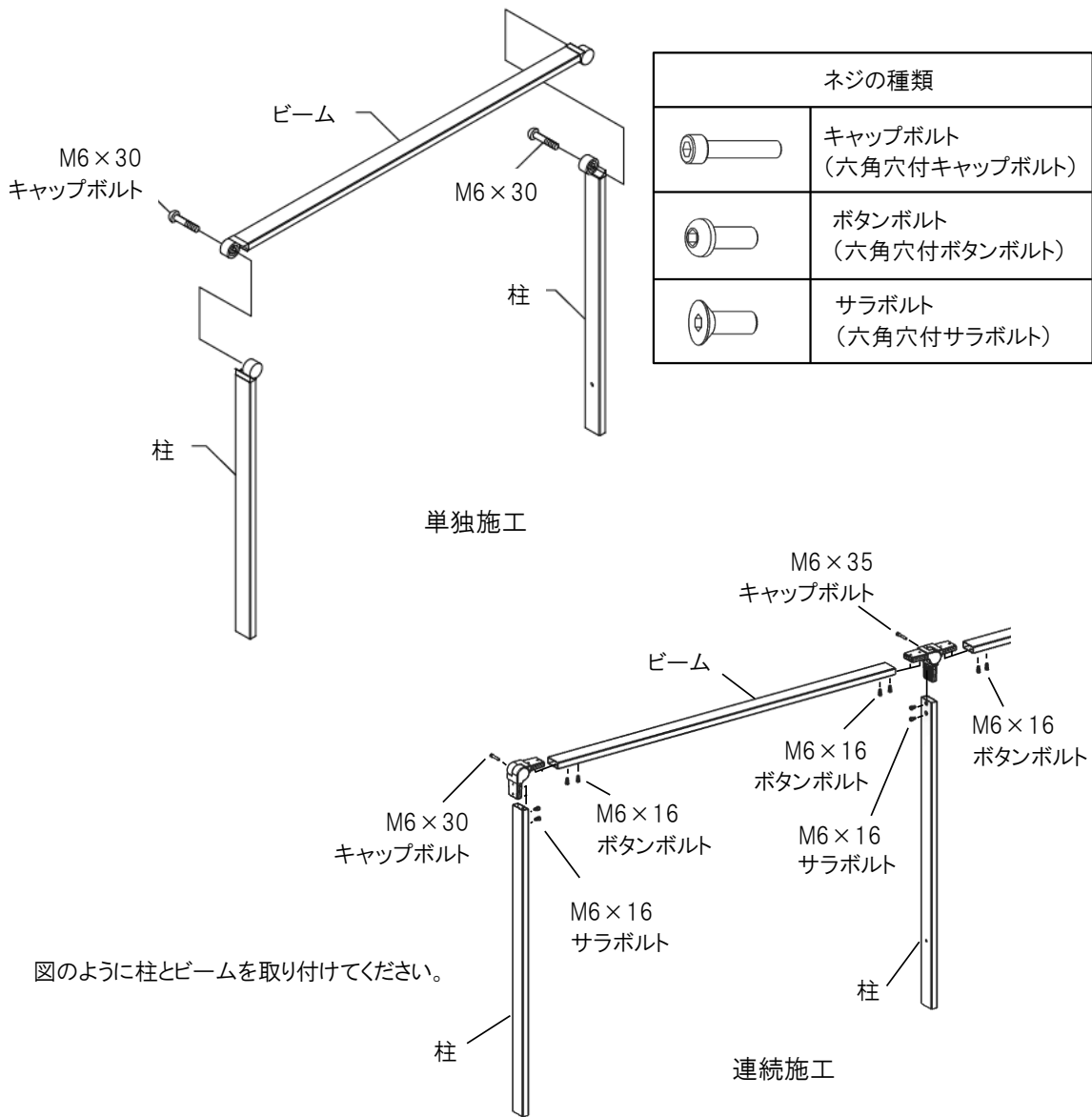


## 2 基礎の施工

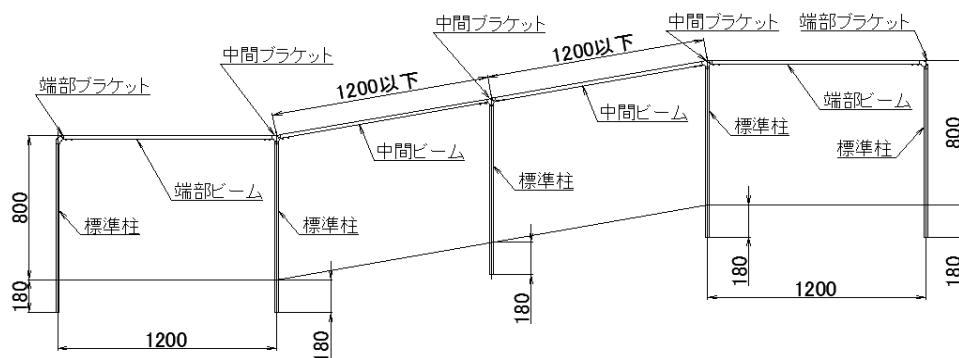


図のように本体を基礎に埋込んでください。  
水抜き穴をふさがないように施工してください。

**3** ビームと柱の取付



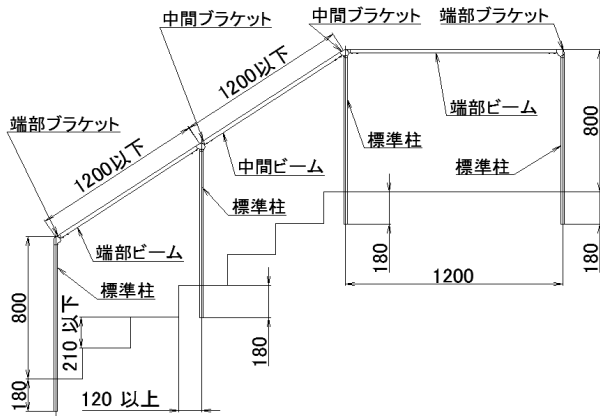
**4** スロープ施工



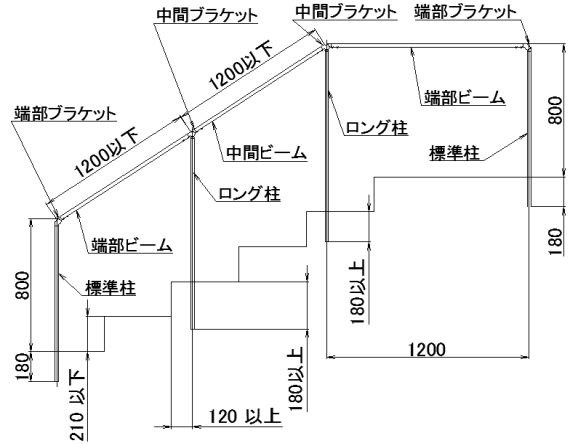
# アプローチ手すり

## 5 階段施工

階段 標準柱施工例



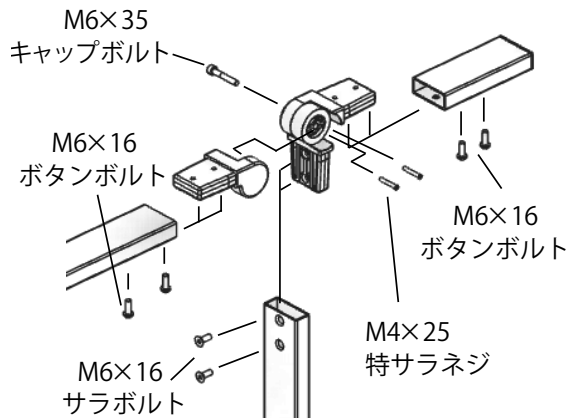
階段 ロング柱施工例



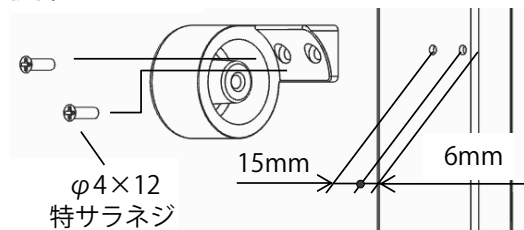
- ・ロング柱には、水抜き穴が加工されてません。  
施工に合わせ、階段面から 20mm 上部に  $\phi 7$  の穴をあけてください。

## 6 オプション

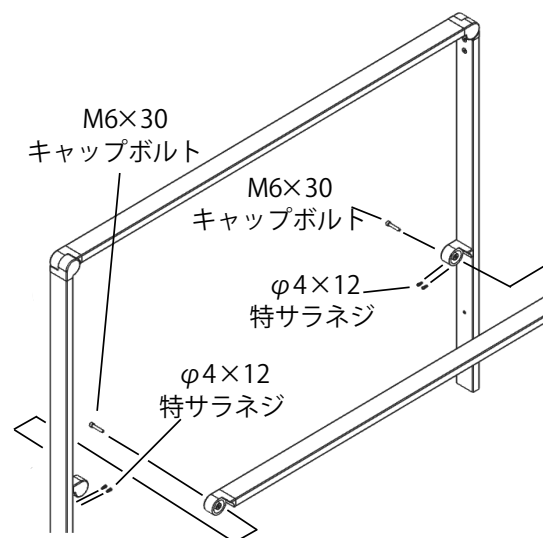
壁際ビームセット



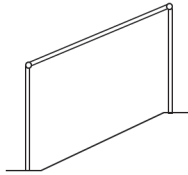
横棧セット



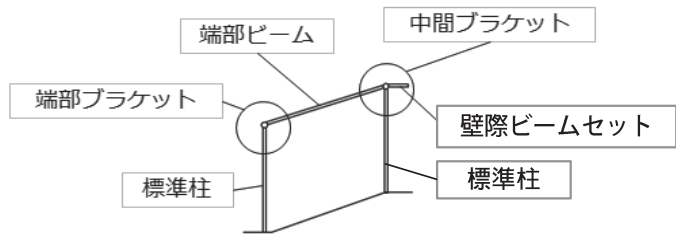
- ・横棧の高さは、任意です。ネジ下孔をあけ、取り付けてください。
- ・ネジ下穴  
アルミ形材:  $\phi 3.5$   
ステンレス:  $\phi 3.6$
- ・下穴加工は、ブラケットの穴をガイドにすると穴あけできます。



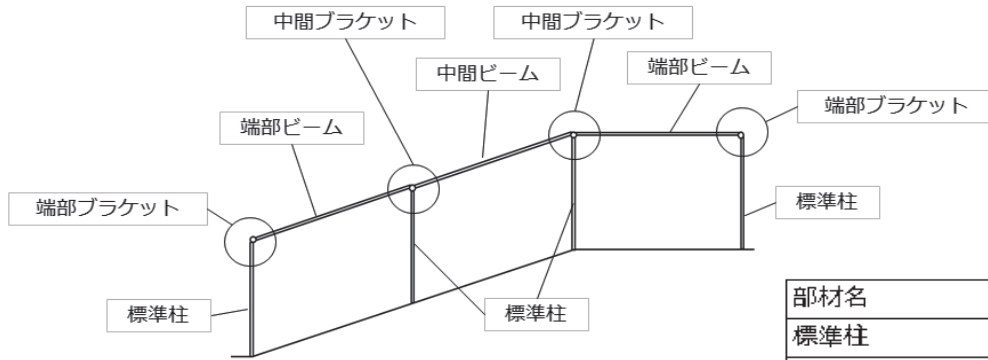
■ 拾いだし



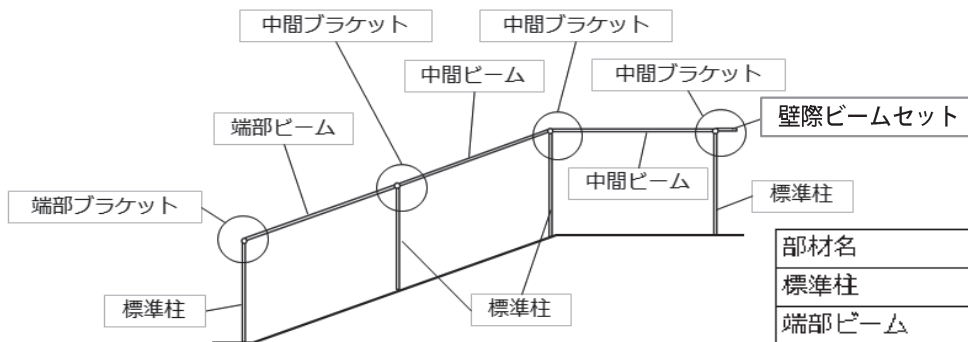
部材名	員数
単独セット	1



部材名	員数
標準柱	2
端部ビーム	1
壁際ビームセット	1
端部ブラケット	1
中間ブラケット	1



部材名	員数
標準柱	4
端部ビーム	2
中間ビーム	1
端部ブラケット	2
中間ブラケット	2

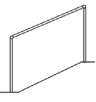


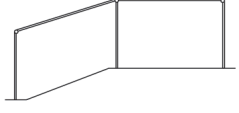
部材名	員数
標準柱	4
端部ビーム	1
中間ビーム	2
壁際ビームセット	1
端部ブラケット	1
中間ブラケット	3

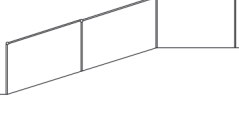



# アプローチ手すり


## ■セット価格

単独	部材名	員数	アルミタイプ	ステンレス
			小計	
	単独セット	1	¥21,200	¥36,000

2連	部材名	員数	アルミタイプ	ステンレス			
			小計				
				標準柱	3	¥11,100	¥24,300
			端部ビーム	2	¥8,400	¥20,400	
			端部ブラケット	2	¥9,600	¥9,600	
			中間ブラケット	1	¥6,200	¥6,200	
セット価格			¥35,300	¥60,500			

3連	部材名	員数	アルミタイプ	ステンレス			
			小計				
				標準柱	4	¥14,800	¥32,400
			端部ビーム	2	¥8,400	¥20,400	
			中間ビーム	1	¥4,200	¥10,200	
			端部ブラケット	2	¥9,600	¥9,600	
			中間ブラケット	2	¥12,400	¥12,400	
セット価格			¥49,400	¥85,000			

4連	部材名	員数	アルミタイプ	ステンレス			
			小計				
				標準柱	5	¥18,500	¥40,500
			端部ビーム	2	¥8,400	¥20,400	
			中間ビーム	2	¥8,400	¥20,400	
			端部ブラケット	2	¥9,600	¥9,600	
			中間ブラケット	3	¥18,600	¥18,600	
セット価格			¥63,500	¥109,500			

5連	部材名	員数	アルミタイプ	ステンレス			
			小計				
				標準柱	6	¥22,200	¥48,600
			端部ビーム	2	¥8,400	¥20,400	
			中間ビーム	3	¥12,600	¥30,600	
			端部ブラケット	2	¥9,600	¥9,600	
			中間ブラケット	4	¥24,800	¥24,800	
セット価格			¥77,600	¥134,000			

**施工される方へのお願い**

1)ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。

**⚠ 注意**

製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

**〈設置上の注意事項〉**

1)本製品は、屋外通路へ設置し、歩行補助を目的にするもので、転落防止の機能はありません。転落などの大きな事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・GL 1m以下の高さで、ご使用ください。
- ・高い階段の外側や崖など、転落してケガをするおそれのある場所には設置しないでください。
- ・おおぜいの人が集まるおそれのある場所に設置しないでください。

2)地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

3)寒冷地で凍上するおそれがある地域でのご使用の際には、凍上線の下まで基礎を設けてください。

**〈施工上の注意事項〉**

1)施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

2)水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

3)指定の組立てネジ・ボルトは指示に従って全て確実に締めてください。

4)指定の部品およびオプション品以外は、使用しないでください。

5)材料が固いので、ビスの取り外しを繰り返すと下穴が緩くなったり、ビスが折れる場合があります。

6)基礎は当社指示寸法以上にしてください。

7)コンクリート養生期間は十分(4~7日)にとり、養生期間中は重い物をのせたり、震動させたりしないよう支持してください。

8)基礎に海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。

9)凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食する恐れがあります。

**施主様へのお願い**

- 1)当社指定の付属部品以外は取付けないでください。
- 2)ボルト・ナット・ネジなどは絶対にゆるめないでください。  
(使用中にゆるんだ場合は締め直してください)

**梱包明細書(単独セット)**

名称	員数
柱(端部ブラケットA組付)	1
柱(端部ブラケットB組付)	1
ピーム(端部ブラケットA、B組付)	1
M6×30 キャップボルト	2
取付・取扱説明書	1

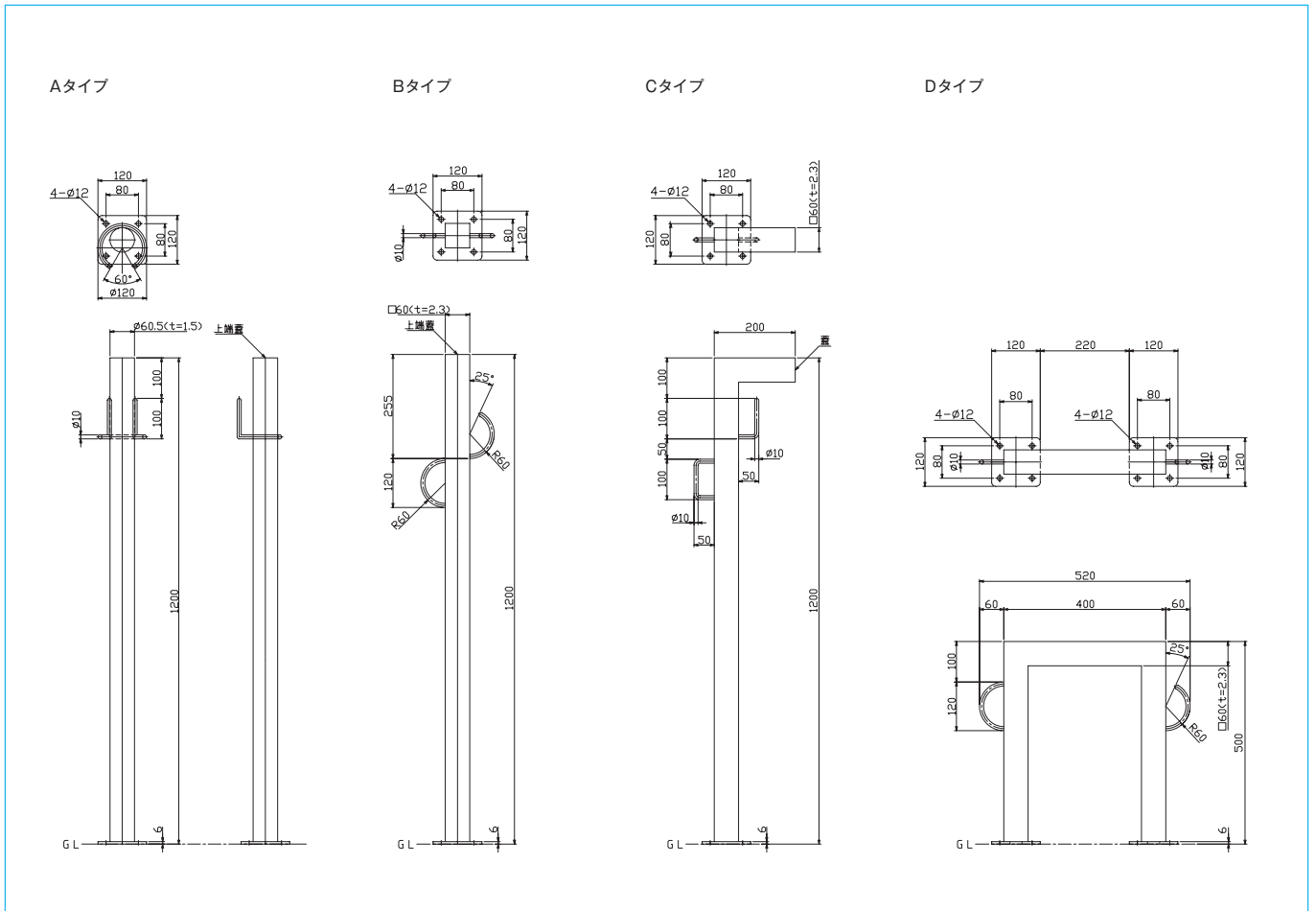
**梱包明細書(連続施工)**

名称	部品名称	員数
標準柱		1
ロング柱		1
端部ピーム		1
中間ピーム		1
壁際ピームセット	壁際ピーム(端部キャップ組付)	1
	φ4×25 特サラネジ	2
横棧セット	横棧(端部ブラケットA、B組付)	1
	柱取付ブラケットA	1
	柱取付ブラケットB	1
	M6×30 キャップボルト	2
端部ブラケット	φ4×12 特サラネジ	4
	端部ブラケットA	1
	端部ブラケットB	1
	M6×30 キャップボルト	1
	M4×16 六角穴付サラボルト	2
中間ブラケット	M4×16 六角穴付ボタンボルト	2
	取付・取扱説明書	1
	中間ブラケットA	1
	中間ブラケットB	1
	柱中間ブラケット	1
	M6×35 キャップボルト	1
	M4×16 六角穴付サラボルト	2
	M4×16 六角穴付ボタンボルト	4

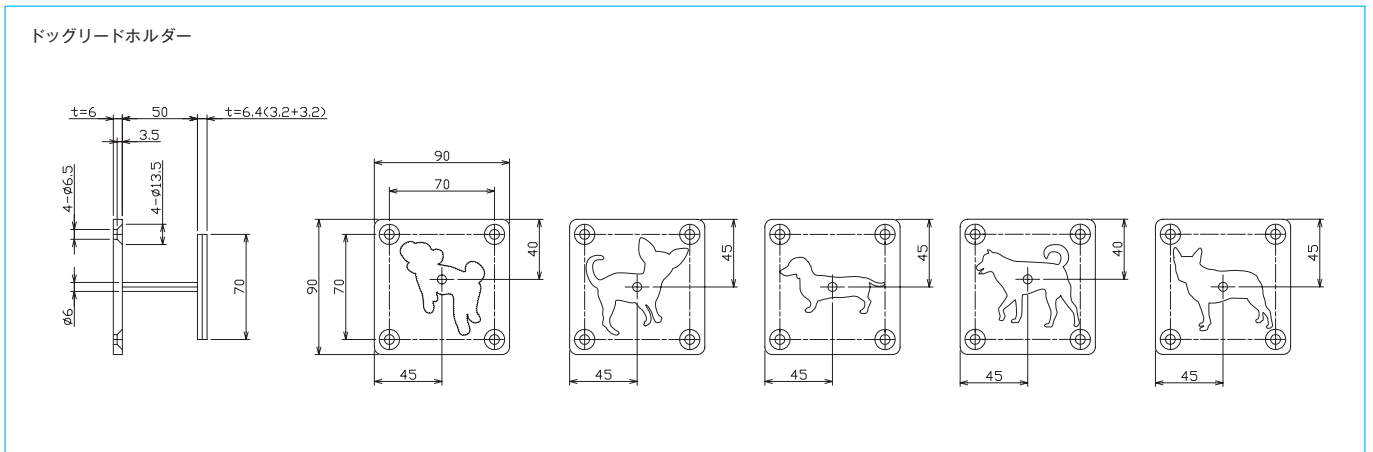
# ドッグボール／ドッグリードホルダー

寸法図

## 【ドッグボール】



## 【ドッグリードホルダー】



ガーデン

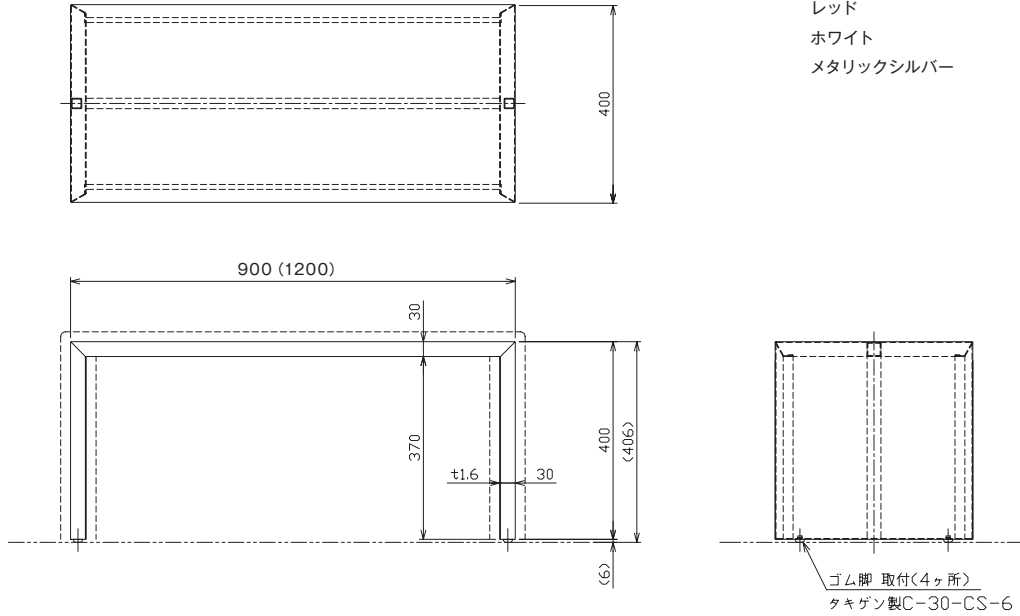
# モダンベンチ

寸法図

## 【モダンベンチ1型】

W900  
W1200

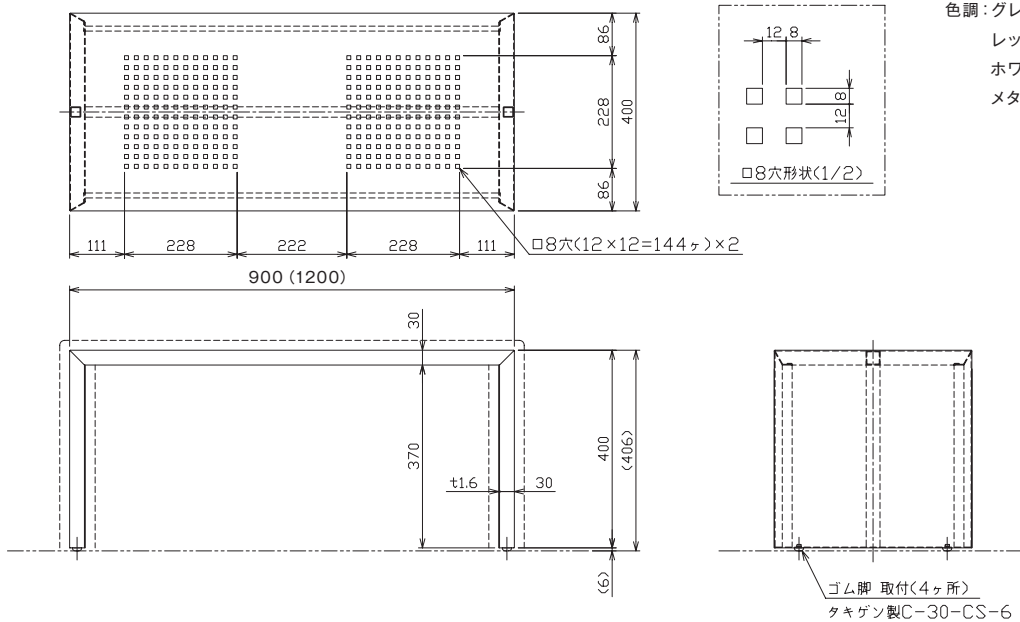
材質：SGCC t1.6  
STKMR 28×28×t1.6  
処理：焼付塗装 膜厚50μm以上 1～2分艶  
色調：グレー  
レッド  
ホワイト  
メタリックシルバー



## 【モダンベンチ2型】

W900  
W1200

材質：SGCC t1.6  
STKMR 28×28×t1.6  
処理：焼付塗装 膜厚50μm以上 1～2分艶  
色調：グレー  
レッド  
ホワイト  
メタリックシルバー



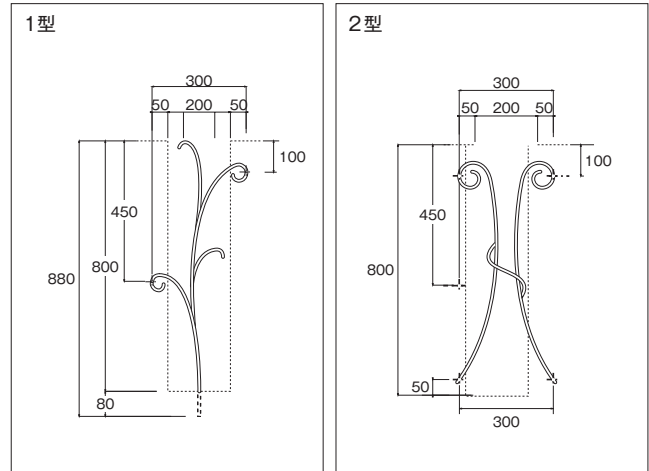
ガーデン

## 【1型・2型】

- 1 本体裏のねじ穴に寸切りボルトを差込みます。
- 2 本体取付け部の指定位置で、壁（RCの場合）に振動ドリルで穴（φ6、深さ50mm以上）をあけ、コンクリートボンド（市販品）を注入し、本体を差込み固定します。

※取付け面の素材が異なりますと取り付け方法も変わりますのでご注意ください。

### ■寸法図



### 1型

同梱部品	数量	単位
寸切りボルト(M4×50)	2	本

### 2型

同梱部品	数量	単位
寸切りボルト(M4×50)	4	本

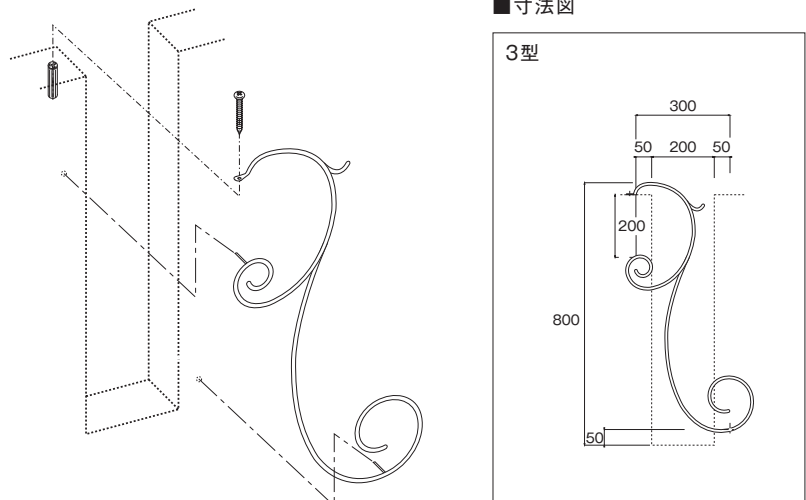
## 【3型】

- 1 本体裏のねじ穴に寸切りボルトを差し込みます。
- 2 本体取付け部の指定位置で、壁（RCの場合）に振動ドリルで穴（φ6、深さ50mm以上）をあけます。
- 3 上部取付け部は穴（φ6、深さ40mm以上）をあけ、プラグを差込みハンマーで打ち込みます。
- 4 取付け穴に、コンクリートボンド（市販品）を注入し、本体を差し込み固定します。

- 5 上部取付け部をタッピングねじで固定します。

※取り付け面の素材が異なりますと取り付け方法も変わりますのでご注意ください。

### ■寸法図

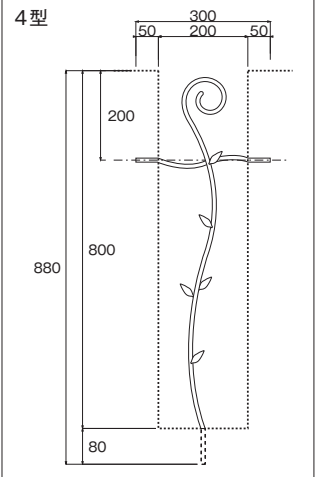
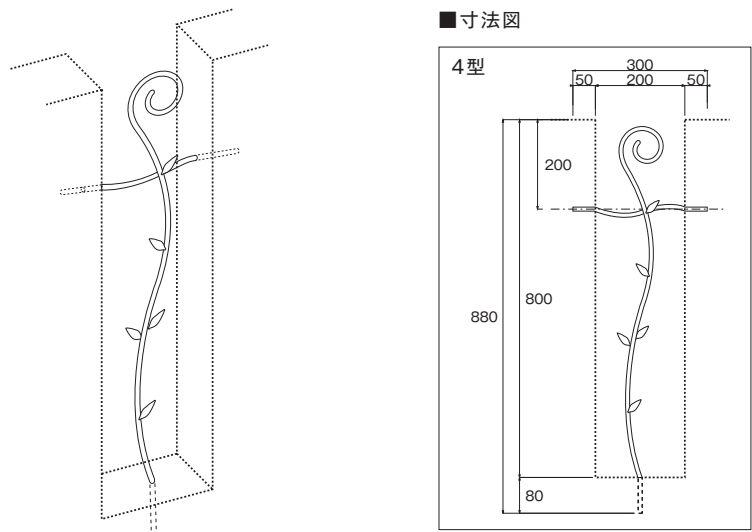


同梱部品	数量	単位
寸切りボルト(M4×50)	2	セット
トラス頭タッピングネジ(M4×30)	1	本
プラグ(6×32)	1	本

## 【4型】

- 1 本体の固定  
本体をコンクリートモルタルで固定します。

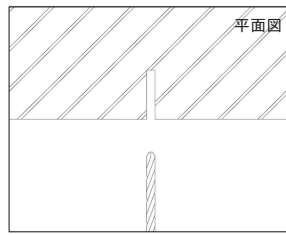
### ■寸法図



## 【グリーンパネルの施工要領】

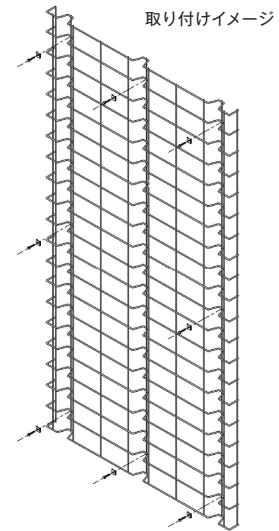
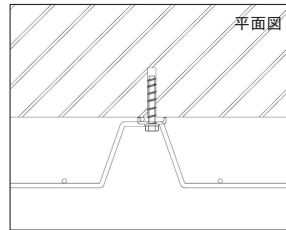
### ① 取り付け位置の確認、下穴開け加工

※グリーンパネルの取り付け位置を決めます。必要に応じて印をつけます。  
 ※RC塀やALC壁、コンクリートブロック塀に深さ30～35mmの下穴開け加工を行います。下穴開けに使用するドリルは直径6mmを推奨します。



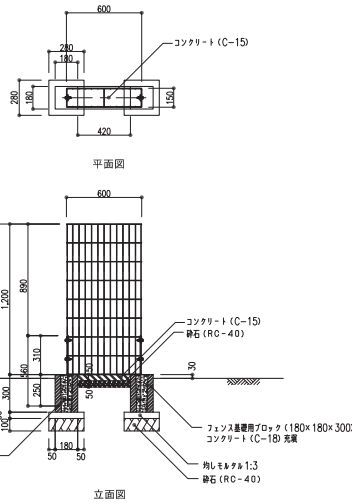
### ② 固定部材による取り付け

※固定金具とハイタップアンカーを使い固定します。  
 ソケットのサイズは8mmを使用します。

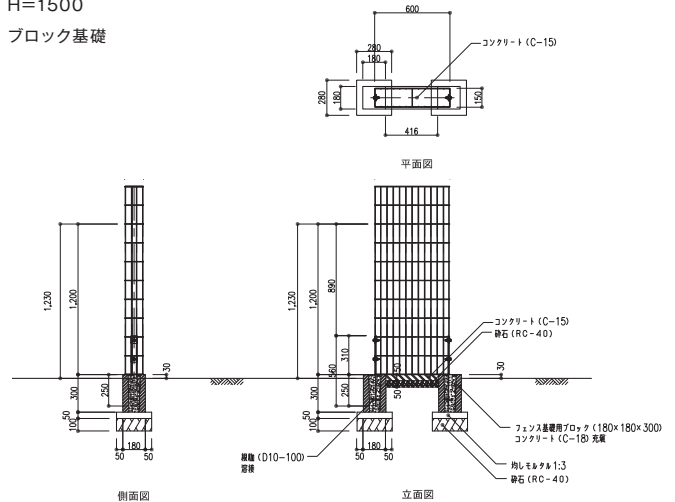


## 【ステナフラットバー緑化用の施工断面図】

FB支柱タイプ 砕石なし  
 H=1200  
 ブロック基礎



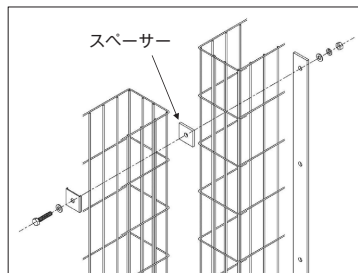
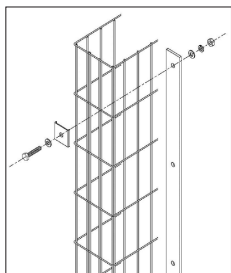
FB支柱タイプ 砕石なし  
 H=1500  
 ブロック基礎



## 【ステナの施工要領】

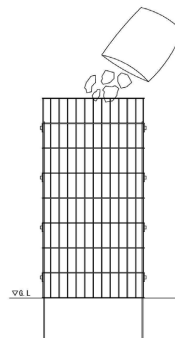
### ステナ本体とステナフラットバーの組み立て

※H1200タイプ・H1500タイプ共に埋め込み部250mmが下から出る位置でフラットバーを固定します。フラットバーと座金でメッシュフレームを挟み込む様に組み立てます。  
 ※連結設置中間部は隣接するメッシュの食い込みを防ぐため、スペーサーをメッシュフレームの間に使用します。  
 ※石材を投入せず緑化フェンスとしてご使用する際は、H1200タイプ・H1500タイプ共に緑化用フラットバーをご使用下さい。

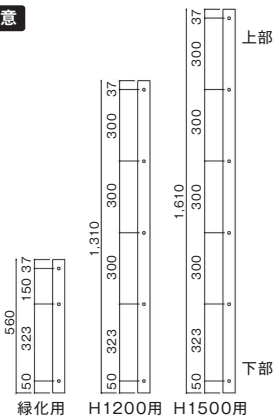


### 本体の取り付けと石材の投入

※フラットバーの埋め込み部を基礎へ固定します。養生したのち石材を投入し完成となります。



### 注意



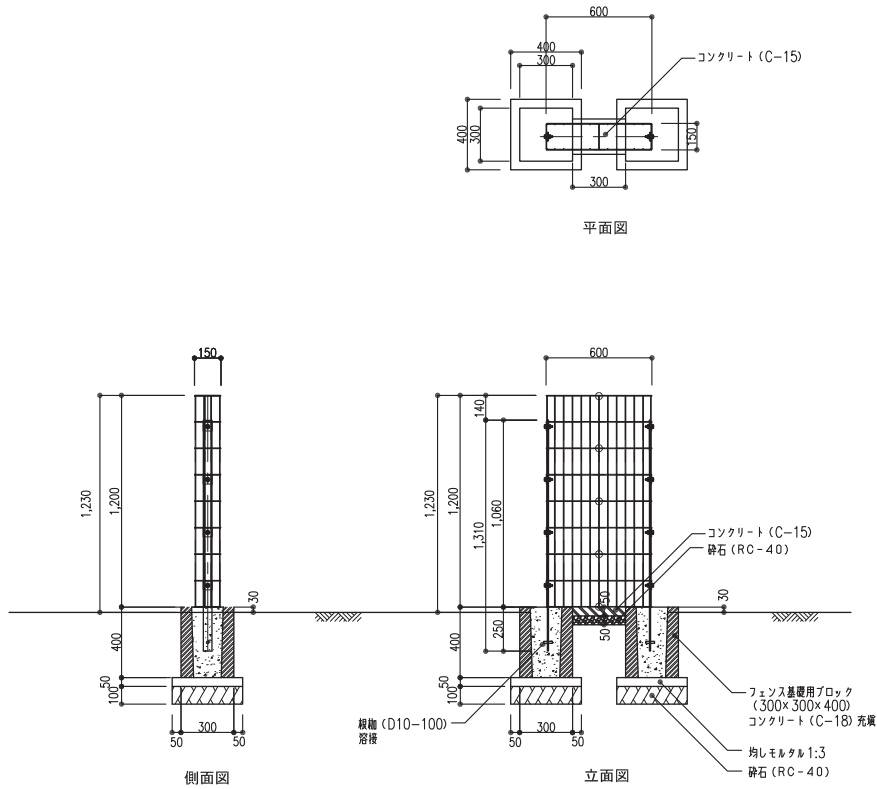
フラットバーは上下があり、端の穴位置が上下で異なります。組み立ての際はご注意ください。

# ステナ

## 【ステナの施工断面図】

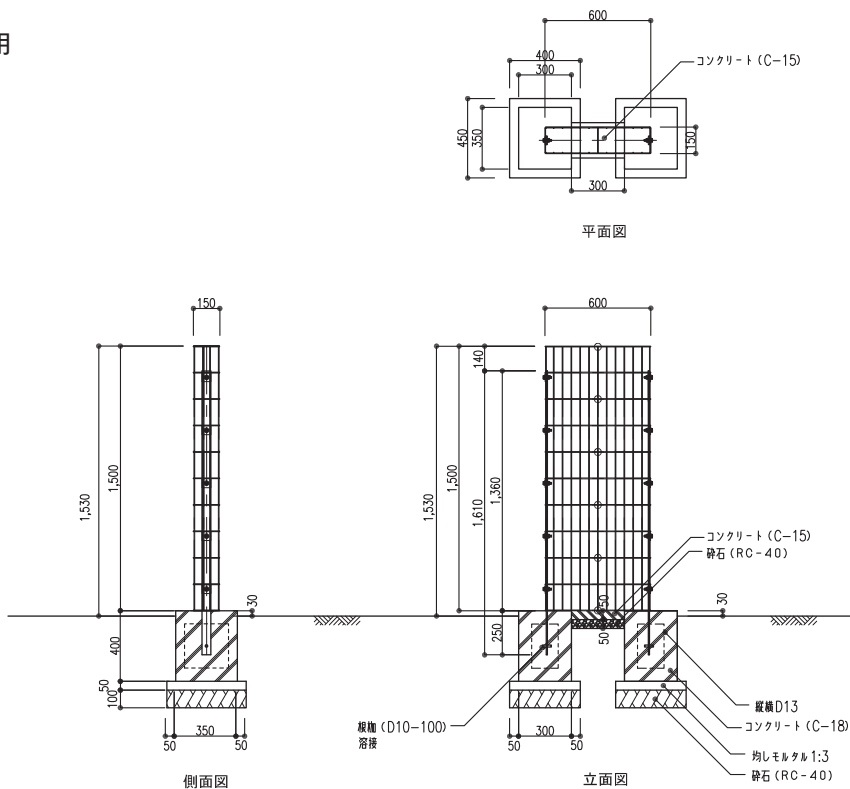
H=1200タイプ  
フラットバー仕様

ブロック基礎用



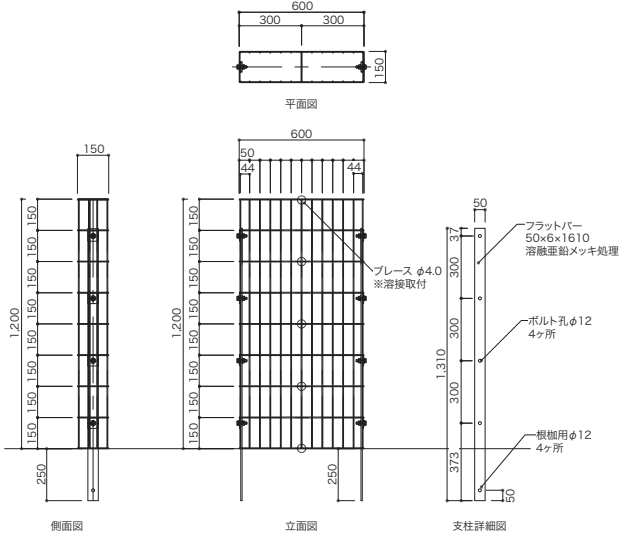
H=1500タイプ  
フラットバー仕様

コンクリート基礎用

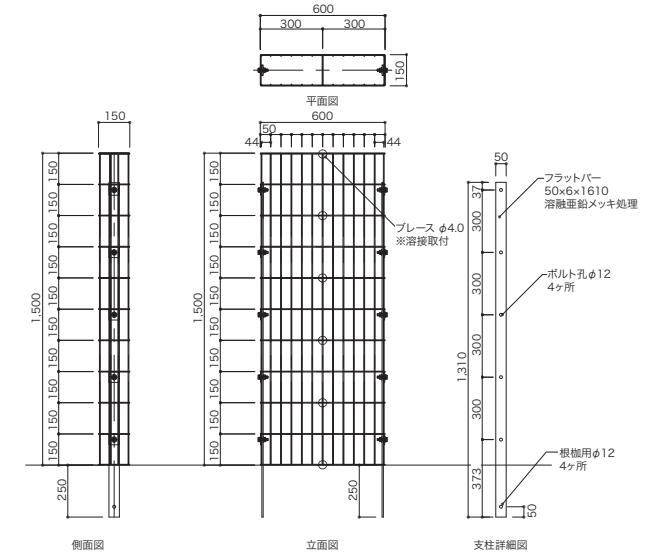


【ステナの寸法図】

H=1200タイプ  
フラットバー仕様

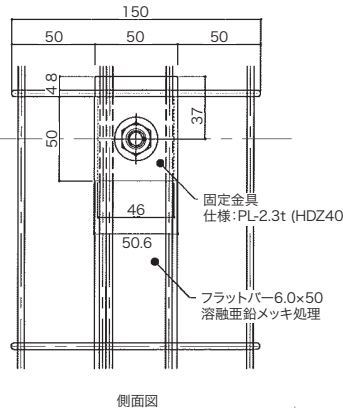
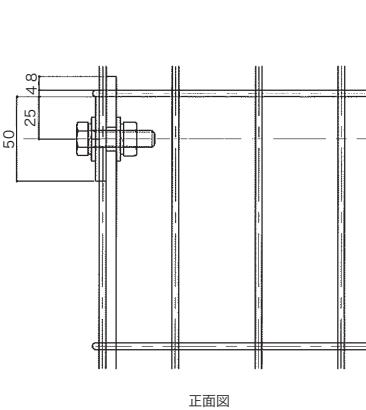
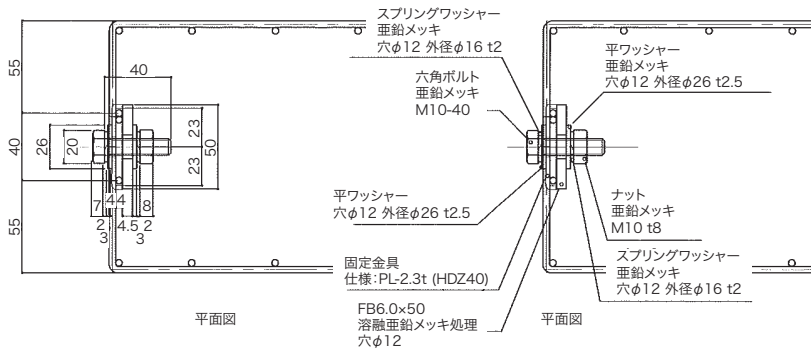


H=1500タイプ  
フラットバー仕様



フラットバー仕様  
端部・連結部

端部詳細図



連結部詳細図

